

DX を活用した四国遍路の受入環境整備  
に向けた調査事業

# 業務実施報告書

令和6年3月8日

国土交通省四国運輸局

## 目次

第1章 事業の概要.....	4
1. 事業の目的 .....	4
2. 対象地域 .....	4
3. 業務内容 .....	4
(1) 重点項目：テスト環境の構築と調査項目 .....	4
(2) 効果検証 .....	5
4. 実施内容 .....	5
第2章 事前調査.....	8
1. 四国遍路の課題解決へ向けた取組経緯.....	8
(1) 四国遍路の概要.....	8
(2) 四国遍路の構造的課題.....	8
(3) 課題解決へ向けた取組.....	11
(4) 課題認識 .....	12
2. アフターコロナにおける四国遍路の現状.....	12
(1) 外国人歩き遍路の急回復.....	12
(2) サービス提供体制の後退.....	14
(3) 受入環境整備へ向けた取組状況.....	14
3. 重要課題の整理.....	15
第3章 テスト環境の構築と調査項目.....	16
1. ワンストップサービス環境の整備の方針.....	16
(1) 「遍路店情報センター（統一窓口）」の強化・拡充.....	16
2. プッシュ型情報の配信体制の整備.....	20
(1) FBグループへ向けたメールマガジン配信先の募集.....	20
(2) 募集先とするFBグループの選定.....	20
(3) 募集対象先FBグループの概要.....	22
(4) メールマガジン配信先の募集結果.....	25
(5) メールマガジン配信体制の構築.....	27
(6) Webサイトの運営 .....	30
3. 独自のQR情報システムの開発と運用 .....	32
(1) 開発目的 .....	32
(2) 開発方針 .....	32
(3) QR情報システムの基本機能 .....	32
(4) 情報提供の多言語化.....	34
4. 登録制度（Check-In/Out）体制の整備.....	37
(1) 登録制度（Check-In/Out）体制の概要.....	37

(2) Check-In/Out 拠点の整備.....	37
(3) 登録制度 (Check-In/Out) 利用者に提供する情報、サポート内容.....	40
5. QR コードの作成・設置.....	42
(1) 四国八十八ヶ所霊場の各札所における QR コードの設置.....	42
(2) 宿泊施設・観光案内所等における QR コードの設置.....	46
6. 外国人モニターの採用.....	50
(1) 調査対象.....	50
(2) 調査目的.....	50
(3) 調査方法.....	50
(4) 外国人モニターの募集と採用.....	50
7. 宿泊施設・観光案内所等に対する調査協力への依頼.....	53
第4章 効果検証.....	54
1. 外国人モニターによる効果検証.....	54
(1) Web サポートの稼働実績と有用性.....	54
2. 外国人モニター等に対するアンケート調査結果.....	56
(1) 外国人モニターの属性.....	56
(2) 一般外国人旅行者の属性.....	58
(3) 外国人モニターによるテスト環境の評価.....	60
3. 宿泊施設・観光案内所等に対するアンケート調査結果.....	69
(1) 宿泊施設からの回答.....	69
(2) 観光案内所等からの回答.....	71
4. QR 情報システムによる収集データの分析と可視化.....	73
(1) ダウンロードデータの概要.....	74
(2) ダウンロードデータの利活用.....	75
5. 専門家、有識者を交えた有用性の評価.....	83
(1) 専門家・有識者の選定.....	83
(2) データ収集方法の適切性について.....	83
(3) 分析、可視化の有用性.....	83
(4) 今後の課題.....	83
6. 観光 DMP へのデータ提供の検討.....	84
(1) 観光 DMP について.....	84
(2) (一社) 四国ツーリズム創造機構の取組.....	84
第5章 本事業の総括.....	85
1. 本事業の成果.....	85
(1) 実施項目・実施状況.....	85
(2) 遍路道情報センター機能の全体像.....	86
(3) 遍路道情報センターの機能 (機能の強化・拡充後).....	87

2. 遍路道情報センターの持続的自走化へ向けた課題.....	88
(1) 遍路道情報センターの自走化へ向けたロードマップの進捗状況.....	88
(2) 今後の課題.....	89
(3) 新組織 DMC の構想 .....	89
3. 四国遍路シンポジウムの開催.....	90
(1) シンポジウムの概要.....	90
(2) プログラム.....	90
(3) 会議内容 .....	91
(4) 来場者アンケート結果.....	93

## 第1章 事業の概要

本事業は、以下の仕様に基づき実施した。

### 1. 事業の目的

新型コロナウイルスによる水際対策が終了し、歩き巡礼体験者、トレイル愛好家等四国遍路を目的とした訪日外国人旅行者が増え始めている。コロナ禍による約3年の空白期間により、宿泊・飲食施設の閉鎖、ボランティア人材の減少等、サービス提供体制が後退したこともあり、以前にも増して、きめ細かな情報提供やサポートを求める声が大きくなっている。本事業では各札所における多言語案内表示などの受入環境体制を整備すると同時に、独自のQR情報システムを活用した位置情報の取得等による動態分析など、DXを活用した情報整備のあり方やその効果等について調査を実施する。

### 2. 対象地域

四国4県（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）

### 3. 業務内容

四国遍路に興味・関心を抱いている若しくは今後抱く可能性のある海外在住の潜在層（以下、「海外潜在層」という。）を誘客する体制や国内での情報提供などのワンストップサービス環境を整備し、外国人モニターを活用するなど、その効果について調査する。また、外国人モニターを含む外国人旅行者の位置情報や属性情報を集積し、分析・可視化することで、その有用性についても評価する。

#### (1) 重点項目：テスト環境の構築と調査項目

- ① 現行システム（QR Translator）から新システムへ移行する。
  - ・運用コストを低減する
  - ・情報発信を改善する…有用情報を追加しアクセス数を向上させる
  - ・データ集積機能を改善する…ユニークキー取得による観光DMPへの対応
- ② QRコードの設置目的及び設置エリアを拡大する。
  - ・Check-In/Outの仕組みにより四国遍路を統一的回遊エリアとして設定する
  - ・登録証、完歩証の交付や情報提供、ワンストップサービスを提供する
  - ・遍路道情報センターによる情報一元化を行う
- ③ 遍路道情報センター運営の持続性確保
  - ・シンポジウム等を開催し本事業の主旨や進捗について関係者と意識共有を図る
  - ・四国遍路世界遺産登録推進協議会「受入態勢整備部会」に関わる団体との連携により持続可能な組織運営について検討する
  - ・Check-In/Outの体制や完歩証発行に関する課題について検討する

## (2) 効果検証

- ① 外国人モニター20名以上に対してアンケート調査を実施する。また、情報やサービスを提供する Check-In/Out の拠点、宿泊施設等の事業者 50カ所以上に対してもアンケート調査を実施し、効果を検証する。
- ② データ集積方法の適切性や分析・可視化の有用性について、専門家や有識者を交えて検証し評価を行う。

## 4. 実施内容

本事業の報告は以下の構成で行う。

第2章 事前調査	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 四国遍路の課題解決へ向けた取組経緯<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 四国遍路の概要</li><li>(2) 四国遍路の構造的課題</li><li>(3) 課題解決へ向けた取組</li><li>(4) 課題認識</li></ol></li><li>2. アフターコロナにおける四国遍路の現状<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 外国人歩き遍路の急回復</li><li>(2) サービス提供体制の後退</li><li>(3) 受入環境整備へ向けた取組状況</li></ol></li><li>3. 重要課題の整理</li></ol>
第3章 テスト環境の 構築と調査項目	<ol style="list-style-type: none"><li>1. ワンストップサービス環境の整備の方針<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 「遍路道情報センター（統一窓口）」の強化・拡充</li></ol></li><li>2. プッシュ型情報の配信体制の整備<ol style="list-style-type: none"><li>(1) FBグループへ向けたメールマガジン配信先の募集</li><li>(2) 募集先とするFBグループの選定</li><li>(3) 募集対象先FBグループの概要</li><li>(4) メールマガジン配信先の募集結果</li><li>(5) メールマガジン配信体制の構築</li><li>(6) Webサイトの運営</li></ol></li><li>3. 独自のQR情報システムの開発と運用<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 開発目的</li><li>(2) 開発方針</li><li>(3) QR情報システムの基本機能</li><li>(4) 情報提供の多言語化</li></ol></li><li>4. 登録制度（Check-In/Out）体制の整備<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 登録制度（Check-In/Out）体制の概要</li><li>(2) Check-In/Out 拠点の整備</li><li>(3) 登録制度（Check-In/Out）利用者に提供する情報、サポート内容</li></ol></li></ol>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>5. QR コードの作成・設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 四国八十八ヶ所霊場の札所における QR コードの設置</li> <li>(2) 宿泊施設・観光案内所等における QR コードの設置</li> </ul> </li> <li>6. 外国人モニターの採用 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 調査対象</li> <li>(2) 調査目的</li> <li>(3) 調査方法</li> <li>(4) 外国人モニターの募集と採用</li> </ul> </li> <li>7. 宿泊施設・観光案内所等に対する調査協力への依頼</li> </ul>
<p>第4章 効果検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 外国人モニターによる効果検証 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) Web サポートの稼働実績と有用性</li> </ul> </li> <li>2. 外国人モニター等に対するアンケート調査結果 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 外国人モニターの属性</li> <li>(2) 一般外国人旅行者の属性</li> <li>(3) 外国人モニターによるテスト環境の評価</li> </ul> </li> <li>3. 宿泊施設・観光案内所等に対するアンケート調査結果 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 宿泊施設からの回答</li> <li>(2) 観光案内所等からの回答</li> </ul> </li> <li>4. QR 情報システムによる収集データの分析と可視化 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ダウンロードデータの概要</li> <li>(2) ダウンロードデータの利活用</li> </ul> </li> <li>5. 専門家、有識者を交えた有用性の評価 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 専門家・有識者の選定</li> <li>(2) データ収集方法の適切性について</li> <li>(3) 分析、可視化の有用性</li> <li>(4) 今後の課題</li> </ul> </li> <li>6. 観光 DMP へのデータ提供の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 観光 DMP について</li> <li>(2) (一社) 四国ツーリズム創造機構の取組</li> </ul> </li> </ul>

第5章 本事業の総括	1. 本事業の成果 (1) 実施項目・実施状況 (2) 遍路道情報センター機能の全体像 (3) 遍路道情報センターの機能（機能の強化・拡充後） 2. 遍路道情報センターの持続的自走化へ向けた課題 (1) 遍路道情報センターの自走化へ向けたロードマップの進捗状況 (2) 今後の課題 (3) 新組織 DMC の構想 3. 四国遍路シンポジウムの開催 (1) シンポジウムの概要 (2) プログラム (3) 会議内容 (4) 来場者アンケート結果
---------------	---



## 第2章 事前調査

関係者の中で議論されてきた四国遍路の環境整備に関する構造的課題とその課題解決へ向けた取組状況を整理するとともに、アフターコロナにおける歩き遍路の人数や宿泊施設を中心にサービス提供体制の事前調査を行った。

### 1. 四国遍路の課題解決へ向けた取組経緯

#### (1) 四国遍路の概要

四国八十八ヶ所は、四国一円に点在する空海（弘法大師）ゆかりの88ヶ所の寺院の総称であり、それら寺院を巡礼することを「四国遍路」という。巡礼路は「遍路道」といい、四国一円に展開する回遊型となっている。総延長は約1,200kmに及び、全行程を歩くと50日前後を要し、最低でも40～50万円の費用が必要となる。

四国遍路文化は、巡礼を取り仕切る特定の団体、教団が存在せず、起点・終点にも特段の規則がない。巡礼順や回数も各人の自由意志に委ねられ、庶民信仰に根差した千年以上の歴史を有する類例のない巡礼文化として伝わっている。

現在、四国遍路世界遺産登録推進協議会を中心に世界遺産登録活動が進められている。

#### (2) 四国遍路の構造的課題

新型コロナウイルス感染症の流行以前から世界的に歩き巡礼体験がブームとなっており、既に世界遺産に登録されているスペインのサンティアゴ巡礼路や熊野古道など、多くの外国人旅行者が訪れており、コロナ禍以降、来訪者数は急速に回復している。四国遍路についても、世界遺産登録が実現すると外国人旅行者の急激な増加が予想されるため、早急に受入環境を整備していく必要がある。こうした問題意識のもと、四国経済連合会と四国アライアンス地域経済研究分科会が共同で四国遍路に関する調査を行った。調査結果として、令和元年6月に「新時代における遍路受入態勢のあり方～遍路宿泊施設の現状・課題等調査～」と題する報告書が公表され、今後の環境整備における課題と方向性が明確化された。

#### 「新時代における遍路受入態勢のあり方 ～遍路宿泊施設の現状・課題等調査～」 報告書要旨

四国遍路への入込客数は、バス遍路やマイカー遍路の減少により大幅に減少しており（図表 1-1）、受入態勢についても、遍路宿・古道の維持・お接待文化の担い手が不足するなど、構造的課題を抱えている。

それに対して、歩き遍路は底堅く推移しており、特に外国人遍路の増加が顕著である。（図表 1-2）。国内外の巡礼体験型観光地を見ると、外国人旅行者の入込数は増加傾向に

ある。(図表 1-1) 四国遍路についても、将来の世界遺産登録を視野に入れると更に多くの外国人の来訪が予想される。

外国人歩き遍路は、その渡航費用や移動日数まで考慮すると、資金と時間に余裕のある層と考えられる。一人当たりの消費額は大きく、その経済効果は山間部などにも行き渡り四国の地方創生に資するものと考えられる。

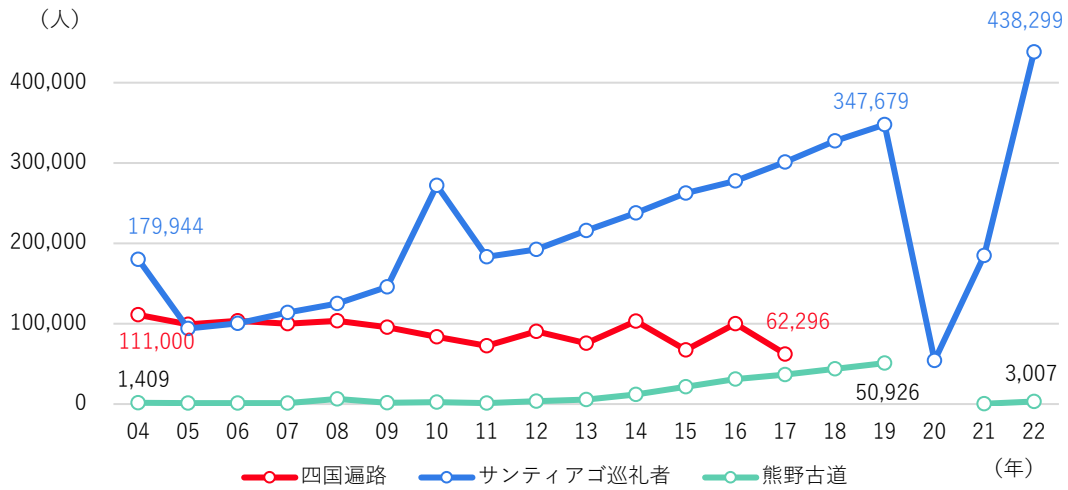
このような状況の中で、地域関係者が意識を共有し、四国遍路を訪れる外国人歩き遍路の受入環境を整備することが、構造的課題解決への糸口となり、遍路文化の維持・継承に寄与する可能性が高い。

#### ■四国遍路の課題と対応の方向性

提言事項	対応の方向性
1. 外国人遍路の受入体制整備を急ぐべき	
(1)宿泊施設不足への対応 宿泊施設の空白地帯が多く存在し、サービス内容も外国人のニーズに不適合。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公設民営等による宿泊施設の整備。</li> <li>・低コストで運営できる、スペインの「アルベルゲ」類似の宿泊施設の検討。</li> </ul>
(2)コンシェルジュ機能の整備 外国人が必要とする、移動・宿泊を中心とする情報不足。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフォメーションセンターの設置</li> <li>歩き旅に不可欠の移動、宿泊、装備等の基本情報を収集し、一元的に旅マエ、旅ナカで発信。</li> <li>・着地型旅行会社を設立</li> <li>宿泊施設や旅程の手配等を行う</li> </ul>
2. 駆け足型遍路から体験型・滞在型遍路へ転換するべき	
短時間で札所を巡るだけで、四国の魅力を十分に体験できていない。	地域ストーリーによる文化体験や食事の提供、周辺の見所を案内。
3. 地域を挙げた取組を推進するべき	
受入体制づくりに地域を挙げて取り組む	宿泊施設の運営、体験型・滞在型メニューの提供に、民間事業者を含めた地域の多様な主体を巻き込む。

資料：「新時代における遍路受入態勢のあり方～遍路宿泊施設の現状・課題等調査～」(2019年6月・四国経済連合会と四国アライアンス地域経済研究分科会の共同調査) から要旨抜粋

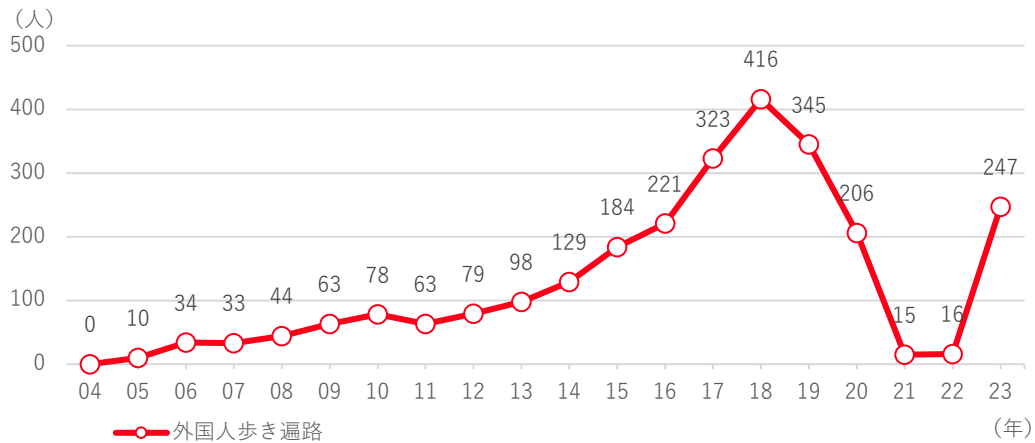
【図表 1-1】国内外の巡礼体験型観光地の入込客数



資料：令和元年「新時代における遍路受入態勢のあり方～遍路宿泊施設の現状・課題等調査～」報告書のデータに百十四経済研究所が2020年以降のデータを追加して作成

- ・ 四国遍路：太龍寺ロープウェイの輸送人数（ほぼ太龍寺に参拝する遍路の数と考えられる）
- ・ サンティアゴ巡礼路：サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼事務所が発行する巡礼証明書の発行数（巡礼事務所）
- ・ 熊野古道：田辺市における外国人宿泊者数（和歌山県観光交流課）

【図表 1-2】外国人歩き遍路の入込客数



資料：令和元年「新時代における遍路受入態勢のあり方～遍路宿泊施設の現状・課題等調査～」報告書のデータに百十四経済研究所が2020年以降のデータを追加して作成  
前山お遍路交流サロンにおける外国人遍路大使任命者数（NPO 法人遍路とおもてなしのネットワーク）

※2019年は西日本豪雨の被害、2020～2022年はコロナ禍中の渡航制限により外国人歩き遍路の数が減少した。

### (3) 課題解決へ向けた取組

四国運輸局では、上記報告書で示された四国遍路の課題等の調査結果を踏まえ、訪日外国人旅行者に対する受入環境整備を目的として、以下の事業に取り組んできた。令和3年度事業からは、インフォメーションセンターの試行を中心に、令和4年度事業では旅ナカサポートなどの機能を拡充した「遍路道情報センター（統一窓口）」の運営を実施してきた。

#### ■令和元年度～4年度の取組状況

調査・提言（令和元年）	課題解決へ向けた取組（令和元年～4年）
<b>【実施主体】</b> 四国経済連合会、四国アライアンス調査	<b>【実施主体】</b> 四国運輸局
<b>【調査概要】</b> 将来の世界遺産登録を見据え、遍路受入態勢の課題分析・整備の方向性が以下のとおり提言された。	<b>【実施概要】</b> 提言に基づき以下の実証事業等を通じて課題解決へ取り組んだ。
<b>【提言事項】</b> 外国人遍路の受入体制整備を急ぐべき 宿泊施設不足への対応 コンシェルジュ機能の整備 ・インフォメーションセンターの設置 ・着地型旅行会社の設立 駆け足型遍路から体験型・滞在型遍路へ転換するべき 地域を挙げた取組を推進するべき	<b>【事業概要】</b> 令和元年度事業*1 ・GPSによる回遊動態を確認 ・Webサポートの有効性と負荷検証 令和3年度事業*2 ・モデルコース設定（10コース） ・遍路道情報センター試行（Webサイト構築） ・旅マエ、旅ナカ情報発信 令和4年度事業①*3 ・モデルコースの見直し（10コース） ・遍路道情報センター試行（Webサイト拡充） ・自転車貸出、荷物預かり・搬送 令和4年度事業②*4 ・各札所情報の多言語化 ・各札所へQRコード設置（Web連携） ・動態把握に向けたシステム開発 ※事業を通じて地域関係者との信頼関係を構築

\*1 令和元年度 四国運輸局 “歩き遍路”を目的とした欧米豪からの訪日外国人旅行者の受入環境整備対策事業

\*2 令和3年度 四国運輸局 アドベンチャートラベル、ロングトレイルをテーマとする四国遍路の受入環境再構築に向けた実証事業

\*3 令和4年度 四国運輸局 ロングトレイルを想定した四国遍路を統括するセンター機能の構築に向けた実証事業

\*4 令和4年度 四国運輸局 「四国遍路」を基軸とする観光振興に向けた調査事業

#### (4) 課題認識

今後想定される外国人歩き遍路の増加に対応するためには、「遍路道情報センター（統一窓口）」の機能をより一層強化・拡充するだけでなく、“自走化”といった課題を解決する必要がある。例えば、着地型旅行会社の機能を備えた「遍路道情報センター（統一窓口）」など、資金面における持続的自走化の実現について、具体的な検討を進める必要がある。

## 2. アフターコロナにおける四国遍路の現状

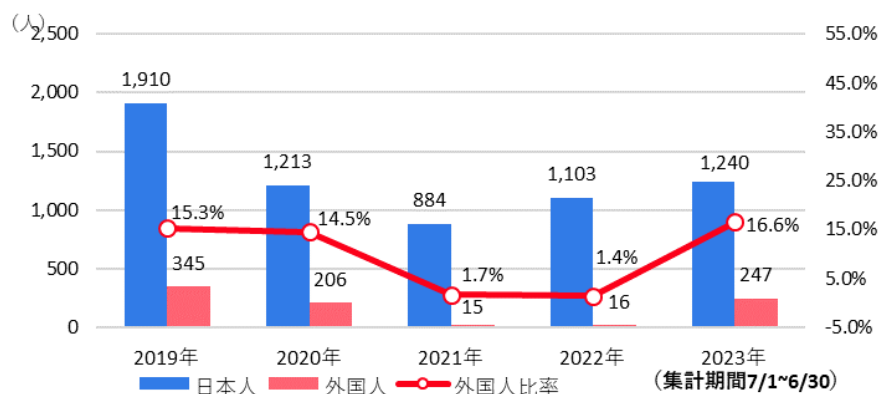
### (1) 外国人歩き遍路の急回復

「前山おへんろ交流サロン」と「へんろの里」の2施設は、外国人歩き遍路のデータを継続的に収集しており、そのデータ結果では、コロナ禍以前から四国遍路の完歩を目指す外国人が徐々に増加していることが示されている。

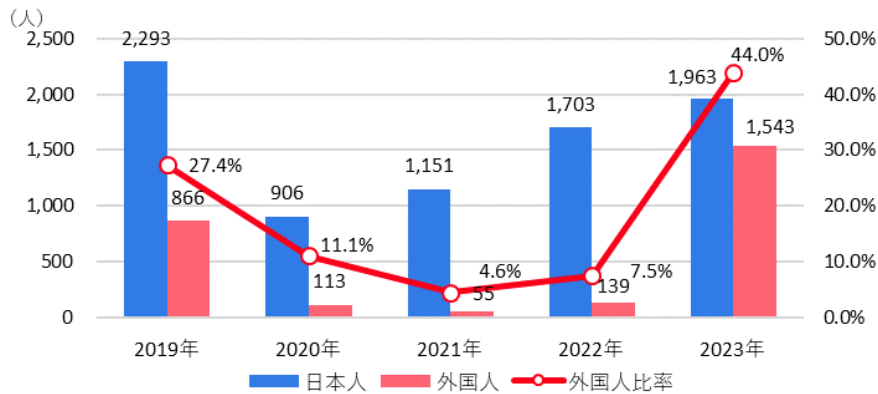
88番札所大窪寺付近に位置する休憩所「前山おへんろ交流サロン」における調査①では、2019年（2018年7月～2019年6月）には外国人完歩者345名（外国人比率15.3%）が確認された（図表2-1）。同じく11番札所藤井寺付近に位置する休憩所「へんろの里」における調査②では、外国人歩き遍路数866名（外国人比率27.4%）が確認された（図表2-2）。

コロナ禍の空白期間中にはその数は激減したものの、2022年10月の水際対策緩和後、急速な回復をみせた。①では、2023年（2022年7月～2023年6月）で外国人完歩者247名（外国人比率16.6%）（図表2-1）、②では、2023年間で1,543名（外国人比率44.0%）が確認された（図表2-2）。

【図表2-1 前山おへんろ交流サロンで確認された外国人歩き遍路】

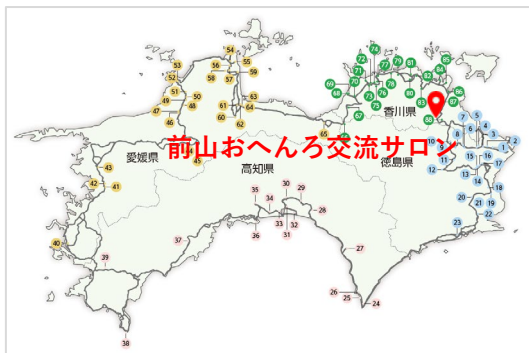


【図表 2-2 へんろの里 歩き遍路数の推移】



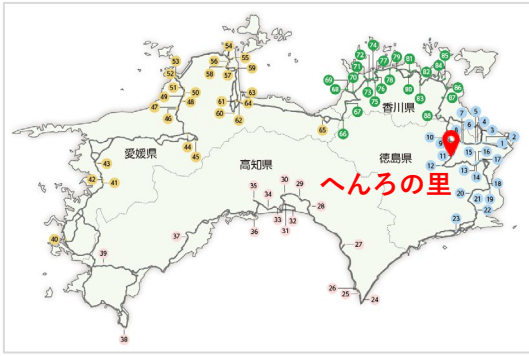
■ 「前山おへんろ交流サロン」について

香川県さぬき市前山地区に位置する「前山おへんろ交流サロン」は、第 88 番札所である大窪寺の手前にあり、四国遍路に関する歴史的資料を展示し、お遍路さんの交流の場を提供している。歩き又は自転車で四国八十八ヶ所を一周し、若しくは結願直前の来館時に申請すれば、四国八十八ヶ所遍路大使任命書とバッジが交付される。NPO 法人遍路とおもてなしのネットワークでは、その申請書枚数と記載内容から外国人歩き遍路人数を把握し同社ホームページ上で公開している（申請があった場合のみカウント可能）。



■ 「へんろの里」について

徳島県吉野川市の 11 番札所藤井寺門前、四国遍路道最大の難所である焼山寺古道の手前に位置する地域ボランティアが運営する遍路休憩所施設である。ボランティア活動の一環として独自の調査を行い、来訪する歩き遍路をカウントしている（地域ボランティア駐在時のみカウント可能）。



## (2) サービス提供体制の後退

コロナ禍におけるサービス提供体制の後退は、宿泊施設数の推移に顕著に現れている。外国人歩き遍路必携とされるガイドブックとして唯一「Shikoku Japan 88 Route Guide」(著・松下直行)が知られており、その2020年版と2023年版を比較すると、四国遍路の宿泊施設が過去3年間で70件減少したことが読み取れる。(図表 2-3)

【図表 2-3 コロナ禍前後の宿泊施設数】

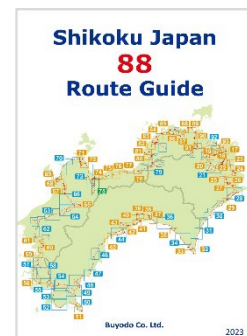
	2020年版	2023年版	増減
徳島県	137	125	▲12
高知県	243	212	▲31
愛媛県	189	170	▲19
香川県	118	110	▲8
合計	687	617	▲70

### ■ 「Shikoku Japan 88 Route Guide」について

測量士である松下直行氏によって執筆され、定期的(2年毎)に再調査され最新情報として更新されている。

(掲載内容)

- ・ 全88ヶ寺と四国別格二十霊場を含む巡礼路の詳細な地図
- ・ 各寺院の位置、距離、標高、代替ルート
- ・ 巡礼に必要な道具、寺でのマナー、鉄道の乗り継ぎ情報
- ・ 宿泊施設(民宿、旅館、ビジネスホテル)、レストラン、コンビニエンスストア、休憩所



## (3) 受入環境整備へ向けた取組状況

図表 2-1、2-2、2-3 で示したデータからは外国人歩き遍路が増加する一方で、宿泊施設が減少している様子(受入環境が弱体化している様子)が見受けられ、早急な対応が求められる。しかしこれら一面的なデータのみを根拠とした具体的な施策展開では課題の解

決は期待できず、依然として四国全体を包括した受入環境整備への取組は進められていないと考えられる。

### 3. 重要課題の整理

- ・ 外国人歩き遍路が増加する一方で、四国遍路の受入環境が脆弱化している現状を踏まえ、来訪する外国人歩き遍路に対し、旅マエ・旅ナカ情報を提供し、支援（サポート）体制を整備する必要があることから、本事業ではワンストップサービス環境の整備を実証する。
- ・ 四国遍路の受入環境整備と同時に、DX を活用した情報一元化の体制を整備する必要がある。DX の遅れという課題に対し、本事業では独自の QR 情報システムを活用した受入環境整備の体制構築に取り組む。



### 第3章 テスト環境の構築と調査項目

海外潜在層を誘客する受入体制やワンストップサービス環境（国内での情報提供等）を整備する。また、外国人モニターを含む外国人旅行者の位置情報や属性情報の集積体制を構築する。

#### 1. ワンストップサービス環境の整備の方針

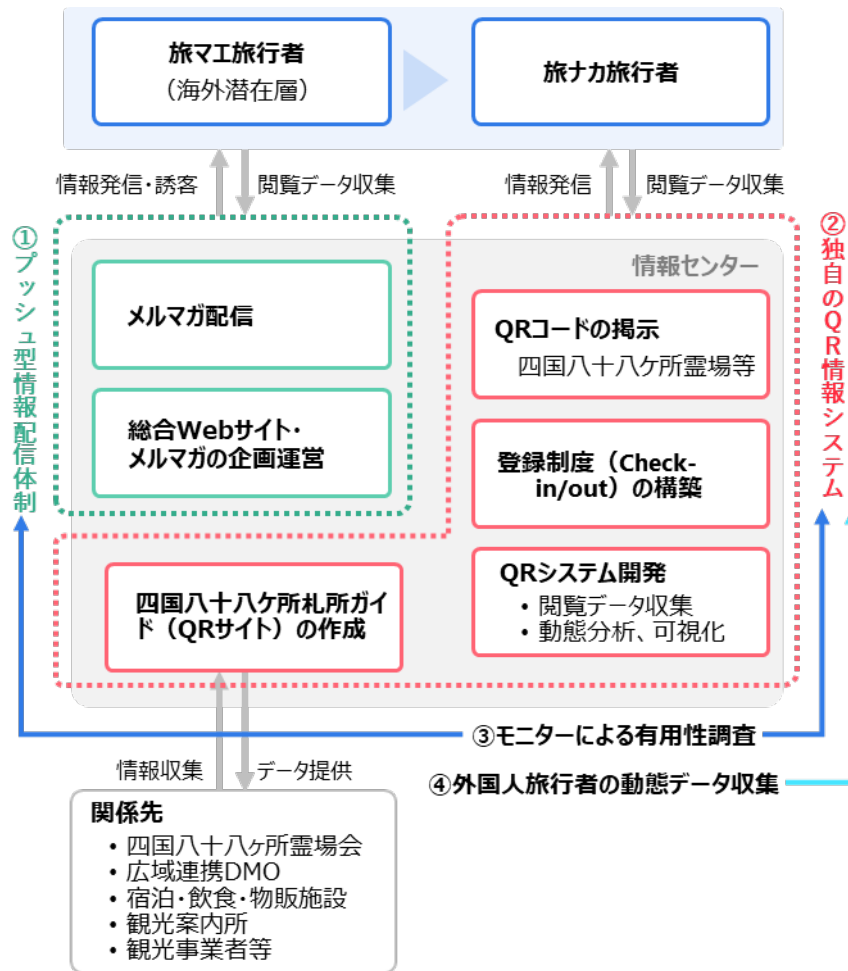
##### (1) 「遍路道情報センター（統一窓口）」の強化・拡充

過年度事業で構築した「遍路道情報センター（統一窓口）」の機能を強化・拡充してワンストップサービス環境を整備する。

##### ■ 「遍路道情報センター」の強化・拡充事項

強化・拡充事項	概要
<b>【強化】</b> ①プッシュ型情報発信体制の構築（Web サイト運営を含む）	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 海外在住外国人へ向け四国遍路の旅マエ情報を発信（旅マエ情報発信を通じて誘客に結び付ける）</li><li>・ 外国人歩き遍路へ向け四国遍路の旅ナカ情報を発信（旅ナカで発生した緊急対応、支援に取り組む）</li></ul>
<b>【拡充】</b> ②独自の QR 情報システムの構築	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 低コスト開発、運用が可能な独自のシステムを構築</li><li>・ ユニークキーを取得して動態を可視化</li><li>・ 札所 88 ケ所に QR コードを掲示して札所情報を 8 言語で提供（日・英・繁体・簡体・韓・仏・独・西）</li><li>・ 遍路道沿線の宿泊施設、観光案内所等 50 カ所以上に QR コードを掲示して先行き道情報を提供（日・英）</li></ul>
<b>【拡充】</b> ③登録制度（Check-In/Out）の構築	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 起点付近に設置した登録（Check-In）用の QR コードを通じて氏名、連絡先メールアドレス等を登録した外国人歩き遍路に対し、旅ナカ Web サポートを実施</li></ul>

【図表 3-1 テスト環境と調査項目の概念図（全体）】



①プッシュ型情報発信体制の構築（Web サイト運営を含む）

a)メールマガジン配信（情報発信）による誘客促進

メールマガジンの配信等を通じて、海外潜在層向けの旅マエ情報を発信し、誘客を促進するとともに、訪日外国人歩き遍路へ向けた旅ナカ情報（場合によっては、緊急連絡）などの発信体制を構築する。本事業ではメールマガジン配信先から外国人モニターを募集し、その効果を検証する。

実施項目	内容
メールマガジンの配信	四国遍路愛好者等へ向けた旅マエ、旅ナカ情報となる旅日記や現地の最新情報等のコラムを配信する。
メールによる緊急連絡の配信	外国人歩き遍路へ向けた山火事、地震、台風等の情報をメール配信する。（本事業では外国人モニターを対象に配信）
海外潜在層の誘客（外国人モニターの募集）	メールマガジン配信先の潜在層へ向けて本事業のためのモニター募集を行う。

b) Web サイトの運営

Web サイトを通じて、海外潜在層及び外国人歩き遍路向けに旅マエ・旅ナカ情報を発信する。四国各地の連携先から情報を収集し、記載事項を随時更新する。

Web サイト項目	内容
タイトル	HENRO The Shikoku Pilgrimage 四国遍路の総合サイト
URL	<a href="https://shikokuhenro.jp/">https://shikokuhenro.jp/</a>

Web ページ項目	内容
ホーム	概要
トピックス	センターからの告知、旅日記や現地の最新情報等のコラム記事
四国遍路とは	四国遍路の歴史、四国遍路のお寺、四国遍路の魅力
歩き方	プランニング、気候、費用、携行品、通信、交通、宿泊、ガイドブック
お役立ち情報	健康と安全、食事、習慣とマナー、トイレと休憩所、遍路用語とマメ知識、周辺観光
モデルコース	モデルコース 10 コースの紹介、ダウンロードマップ、レンタサイクル情報
お問い合わせ	問い合わせフォーム

②独自の QR 情報システムの開発

独自の QR 情報システムを開発して、QR コードを通じて多言語情報を発信するとともに、読み取りに使用した情報端末（スマートフォン等）の情報を収集してデータベースに蓄積する体制を整備する。

Web サイト項目	内容
タイトル	The Shikoku Pilgrimage Temple Guide 四国八十八ヶ所札所ガイド
URL	<a href="https://www.88temples.info/90/">https://www.88temples.info/90/</a>

QR コード掲示場所	情報提供内容
四国八十八ヶ所札所 境内（88 札所）	境内図、寺の歴史、見所、季節の行事、アクセス等の札所情報を 8 言語で提供（日・英・繁体・簡体・韓・仏・独・西）

遍路道沿線の宿泊施設、観光案内所等 (50カ所以上)	名所、難所、危険箇所等の先行き道情報を2言語で提供 (日・英)
-------------------------------	------------------------------------

情報収集方法	情報収集内容
QRコードを読み取った情報端末(スマートフォン等)から収集	UID、閲覧した施設名、緯度・経度、アクセス時刻、リファラー(参照元)

### ③登録制度(Check-In/Out)の構築

登録制度(Check-In/Out)の体制を構築して、外国人歩き遍路に対する旅ナカでのWebサポートを行う。

実施項目	業務内容
登録者の把握・管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>Check-In手続きを実施した登録者の連絡先(メールアドレス等)を管理</li> <li>メール送受信等を通じて可能な範囲で所在位置を把握</li> </ul>
Webサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>旅ナカにおける宿泊施設、行程、近隣観光等に関する情報提供や困りごと相談に対応</li> <li>病気、けが、事故等の緊急・トラブルの訴えに対応</li> </ul>

### ④その他

遍路道情報センターを運営するためにスタッフ3名(兼務)を配置する。

役割	業務内容
統括者	全体管理
顧客コーディネータ	内外の旅マエ、旅ナカの旅行者への情報発信、照会対応
Web管理者	Web情報の発信、サイトの修正・更新
情報コーディネータ	照会に対する地域の調査、各地協力先との情報連携
翻訳者	発信情報の英訳

## 2. プッシュ型情報の配信体制の整備

メールマガジンによる旅マエ情報の発信により、海外潜在層の誘客を促進するとともに、訪日外国人歩き遍路へ向けた旅ナカ情報（場合によっては、緊急連絡）などの発信体制を構築するに際して、有効な配信先を特定する。

### (1) FB グループへ向けたメールマガジン配信先の募集

募集方法については、二通りある。一つ目は、過去のメールマガジン配信先に対して、再開の可否を問い合わせる方法である。令和4年度事業では、四国遍路、巡礼、日本観光、トレイル等をテーマとするFBグループ（以下、FBグループという）の参加者を対象に募集を行い、381件のメールマガジン配信先を確保した。

二つ目は、運営状況・参加者人数・増加率などが良好と思われるFBグループを選定し、当該グループ管理者の承諾を得たうえで、新たなメールマガジン配信先を募集する方法である。

### (2) 募集先とするFBグループの選定

(1) で選定したFBグループ19件の管理者に対し、協力を依頼したところ、13件から承諾を得ることができた。

- a) 四国遍路、その他巡礼をテーマとするFBグループからは9件の許可
- b) アウトドアをテーマとするFBグループからは1件の許可
- c) 日本旅行をテーマとするFBグループからは3件の許可

#### FBグループ管理者に対する依頼内容（要約）

- ・ 貴グループには四国遍路の完歩を志すメンバーが多いと思われるが、その方々に対し四国遍路の旅マエ情報などを提供するためのメールマガジン配信を実施したい。
- ・ 本事業では完歩を目指す海外在住外国人のための受入環境整備に向けた取り組みを行う。構築した受入環境を試行するモニターを、メールマガジン配信先から募集したい。
- ・ メールマガジン配信申込者に対しその属性などを調査するためのアンケートを実施したい。

### a) 四国遍路、その他巡礼をテーマとするFBグループ

四国遍路はもとより、スペイン・サンティアゴ巡礼や熊野古道等、巡礼をテーマとするFBグループの参加者には海外潜在層が多く含まれると考えられる。巡礼をテーマとする13件のFBグループを抽出し、運営状況を確認したうえで、各グループの管理者等にグループ参加者への情報提供の可否について打診を行った。その結果、9件のグループから許可を得ることができた（以下、許可を得たグループを青色で表示）。

【図表 3-2】 四国遍路、その他巡礼をテーマとする FB グループ

番号	選定時調査					管理者 承諾	投稿後反響		参考（事業完了時）	
	コミュニティ名	管理者	参加者数 R4/6①	参加者数 R5/4②	増加率 ②/①		いいね 回数	コメン ト数	参加人数 R6/2③	増加率 ③/②
1	Ohenro San お遍路さん	Don Weiss	2,088	2,775	132.9%	有	43	11	3,237	116.6%
2	Nederlandstalige Henro-san (オランダ語の遍路さん)	Elly Jührend	149	160	107.4%	有	1	0	164	102.5%
3	Shikoku 88 Ohenro Pilgrimage	Oliver Dunskus	1,341	2,249	167.7%	有	29	0	5,248	233.3%
4	四国遍路同好会	Odili Lee	14,830	16,000	107.9%	有	-	-	17,000	106.3%
5	Camino de Santiago All Routes	JohnnieWalker Santiago	89,005	143,834	161.6%	有	12	2	335,956	233.6%
6	Shodoshima 88 temple walkers	Matthew Iannarone	317	363	114.5%	有	17	0	523	144.1%
7	四国遍路分亨處	嚴言殷 Chan Cheng	5,157	7,082	137.3%	有	134	11	15,045	212.4%
8	四国遍路分亨處（香港）	Maha Sukha	410	425	103.7%	有	5	1	507	119.3%
9	Buddhist Temples - Japan	Gabi Greve	不明	5,313	-	有	5	1	5,653	106.4%
10	Kumano Kodo Planning	Heather Knight	2,108	2,853	135.3%	無	-	-	5,218	182.9%
11	Camino Pilgrim International Discussion Group	JohnnieWalker Santiago	14,555	15,530	106.7%	無	-	-	16,126	103.8%
12	一起走上熊野古道? Let's hike the Kumano Kodo	Smalove Lin	2,036	4,338	213.1%	無	-	-	7,067	162.9%
13	Kumano Kodo ?? Santiago De Compostela - The Dual UNESCO Pilgrimage Routes	Carla Amorim	不明	1,160	-	無	-	-	1,673	144.2%

b)アウトドアをテーマとする FB グループ

四国遍路をトレイル等のアウトドア体験として楽しむ外国人にも海外潜在層が存在すると考えられることから、日本のハイキング、登山、キャンプ等アウトドアをテーマとし、運営状況が良好な FB グループ 1 件に対して同様の打診を行い、許可を得た。

【図表 3-3】 アウトドアをテーマとする F B グループ

番号	選定時調査					管理者 承諾	投稿後反響		参考（事業完了時）	
	コミュニティ名	管理者	参加者数 R4/6①	参加者数 R5/4②	増加率 ②/①		いいね 回数	コメン ト数	参加人数 R6/2③	増加率 ③/②
10	Hiking, Climbing and Camping in Japan	Dave Rowrand	18,348	26,445	144.1%	有	30	6	50,380	190.5%

c)日本旅行をテーマとする F B グループ

日本の隠れた名所、スポットを主とする日本旅行の情報をテーマとする F B グループの参加者にも海外潜在層が存在すると考えられ、運営状況が良好な FB グループ 1 件に対して同様の打診を行い、許可を得た。

【図表 3-4】日本旅行をテーマとする F B グループ

番号	選定時調査					管理者 承諾	投稿後反響		参考（事業完了時）	
	コミュニティ名	管理者	参加者数 R4/6①	参加者数 R5/4②	増加率 ②/①		いいね 回数	コメン ト数	参加人数 R6/2③	増加率 ③/②
11	Find Your Own Japan	Miya Mmy Todd Fong	774	1,504	194.3%	有	4	-	2,024	134.6%
12	Hidden Gems in Japan (Travel and Stay)	Pei Hong Ong	26,220	27,555	105.1%	有	3	2	52,567	190.8%
13	Go to Japan	オサリバン ジェラード	5,986	11,397	190.4%	有	13	5	15,341	134.6%
	Glimps of Japan	Donny Kimball	6,607	14,071	213.0%	無	-	-	19,681	139.9%
	Rural Japan Travelers	Judy Evans	5,225	5,664	108.4%	無	-	-	6,085	107.4%

### (3) 募集対象先 FB グループの概要

メールマガジン配信先の募集先として各グループ管理者から許可を得た 13 グループの概要は図表 3-5 のとおりで「四国遍路」「その他巡礼」を合わせると 178,201 名（72.7%）を占め、「ハイキング」が 26,445 人（10.8%）、「日本旅行」が 40,456 名（16.5%）となっている。

FB グループへ向けた募集投稿の例は図表 3-6、3-7 のとおり。


【図表 3-5】日本旅行をテーマとする F B グループ

分類	グループ数	参加者（R5.4 月）	構成割合
四国遍路	6	28,691	11.7%
その他巡礼	3	149,510	61.0%
ハイキング	1	26,445	10.8%
日本旅行	3	40,456	16.5%
合計	13	245,102	100.0%


【図表 3-6】 FB グループ「OhenroSan お遍路さん」 へ向けた募集投稿

**Ohenro San お遍路さん**

いいね数：43 いいね  
コメント数：11件



コミュニティ名：Ohenro San お遍路さん 参加者：2,940人（2023/7/4投稿日現在）  
管理者モデレーター：Galo Cheung, Don Weiss, Elly Jührend  
グループ情報：2008年からの古参グループ。参加者の年齢層は高めで回顧録が多い。管理者Don Weiss氏は徳島在住、四国遍路シンポジウムに参加。

 **松本 佳代子**  
18時間前

Hi, I am Kayoko, an analyst at 114 Economic Research Institute. We are a local bank think tank based in Kagawa Prefecture, Shikoku, Japan, and we primarily conduct surveys and research on local economies and tourism. We are planning to post various topics related to the pilgrimage again this year, starting in July, through our newsletter and website.

Suppose you are willing to help us with our project while walking the pilgrimage. In that case, we offer you information for lodgings, participate in various temple religious services, and unique experiences such as Buddhist Homa Ritual and Sutra Writing.

So, if any one of you is interested in joining the mailing list, please answer the questionnaire.  
Mailing List Application for "Shikoku Pilgrimage"  
<https://questant.jp/q/MailingList2023>  
Here is the website we created last year.  
Notices from the Shikoku Pilgrimage Information Center  
<https://shikokutrail.114eri.net/en/archives-en/>  
The 88 temples guide  
<https://shikokuhenro.114eri.net/en/temples-en/>

こんにちは、百十四経済研究所のアナリストをしている佳代子です。私たちは四国の香川県に拠点を置く地方銀行のシンクタンクで、主に地域経済や観光に関する調査・研究を行っています。今年も7月から、遍路に関する様々な話題をニュースレターやホームページで発信する予定です。

四国遍路旅をしながら、私たちの事業に協力して下さる方がいらっしゃれば、その代わりに私たちは宿の紹介や、お寺の法要への参加、法話や写経などのユニークな体験情報を紹介できます。

ご興味のある方は、下記のアンケートにお答えください  
四国遍路メーリングリスト参加者募集 <https://questant.jp/q/MailingList2023>  
昨年作成したホームページはこちらです。  
四国遍路情報センターからのお知らせ <https://shikokutrail.114eri.net/en/archives-en/>  
八十八ヶ所ガイド <https://shikokuhenro.114eri.net/en/temples-en/>



【図表 3-7】FB グループ「四國遍路分享處」へ向けた募集投稿

### 四國遍路分享處



いいね数：134いいね  
コメント数：11件  
シェア：4件

FB グループ管理者 ChanCheng 氏によるメルマガ配信先募集投稿文の中国語（繁体字）翻訳による投稿も行われた。

コミュニティ名：四國遍路分享處  
メンバー：8,060人（2023/7/4投稿日現在）  
管理者モデレーター：嚴言股, Chan Cheng  
グループ情報：台湾在住者を中心とする台湾語グループ。管理者Chan Cheng氏は著書「16歳の壯遊課」にて四國遍路を紹介。小豆島遍路関連書籍を発刊予定。

訊息提供 |  
嗨, 我是管理員 - 「CHAN」  
我的朋友 Kayoko Matsumoto 目前就職於百十四經濟研究所的分析師, 他們是一家位於日本四國香川縣的地方銀行智庫。主要針對當地經濟和旅遊業進行調查和研究。他們的公司計畫計劃從7月開始, 透過百十四經濟研究所所設立的通訊和網站, 再次發佈與四國遍路相關的各種主題遊程建議。  
#招募The Shikoku Trail 計畫國外體驗員  
假設你願意在走朝聖時幫助此項目, 計畫會為您提供  
一、民宿資訊、二、參與各項寺廟宗教服務、三、以及佛教禮儀體驗、四、宮經等獨特體驗...等。  
如果有剛好在這段時間要踏上遍路的朋友, 可以參考看看, 這是一個蠻有意義的活動, 我去年也有參與過, 有給一些建議的路線需要去完成跟拍照觀察, 並回報。其他相關的資訊, 可以再追蹤計畫網站的最新資訊喔。  
#意願申請期限 2023年7月(暫定) ! 申請不一定會通過喲! 就是先填寫意願。  
#檢查期(前往四國) 預計九月(八月會通知是否入選) ! 監測期並非全程, 詳細請密切注意後續官網資訊。  
◆如果大家有興趣加入申請監測員名單, 請回答問卷。  
[四國巡禮]郵寄列表申請 <https://questant.jp/q/MailingList2023>

◆這是去年創建的網站, 可以參考。  
◆四國朝聖信息中心的通知 <https://shikokutrail.114eri.net/en/archives-en/>  
◆88所寺院指南 <https://shikokuhenro.114eri.net/en/temples-en/>

情報提供  
こんにちは、管理人の「CHAN」です。私の友人、松本佳代子さんは現在、四國香川県にある地方銀行のシンクタンク、百十四經濟研究所でアナリストとして働いています。彼等は地域經濟や觀光に関する調査研究を行っており、7月に經濟研究所が立ち上げたニュースレターとウェブサイトを通じて、四國トレイルに関連する様々なテーマの旅程をお伝えする予定です。四國トレイル事業では、外国人旅行者を募集する予定です。遍路を歩きながらこの事業にご協力いただける方には、以下の情報を提供します。  
1. 宿泊施設 2. お寺での様々な宗教行事への参加 3. 仏教儀式の体験 4. 写経などのユニークな体験 など。この時期に偶然旅に出ることがあれば、ぜひチェックしてみてください。なかなか有意義な活動だと思います。詳しくはウェブサイトで最新情報をご確認ください。  
#応募締切 2023年7月(予定) 応募が承認されない場合もあります! 応募フォームから申し込んでください。  
#選考期間(四國遍路) 9月頃を予定(当選のご連絡は8月頃になります!)  
詳細はホームページをご確認ください! モニター期間は満席ではございませんので、詳細はホームページをご確認ください。  
モニターにご興味のある方は、アンケートにお答えください。  
\*四國周遊\*メーリングリスト募集要項 <https://questant.jp/q/MailingList2023>

◆昨年作成したウェブサイト、参考まで。  
◆四國遍路情報センターからのお知らせ <https://shikokutrail.114eri.net/en/archives-en/>  
◆八十八ヶ所遍路ガイド <https://shikokuhenro.114eri.net/en/temples-en/>

#### (4) メールマガジン配信先の募集結果

令和4年度調査事業でのメールマガジン配信先381件（令和4年6月募集）に対しメールマガジン再開の可否を尋ねたところ、全配信先から再開の承諾が得られた。また、新規メールマガジン配信先の募集（令和5年6月募集）については、126件の申込があった。本事業では、メールマガジン再開・新規合わせて、計507件に対して配信を実施した。

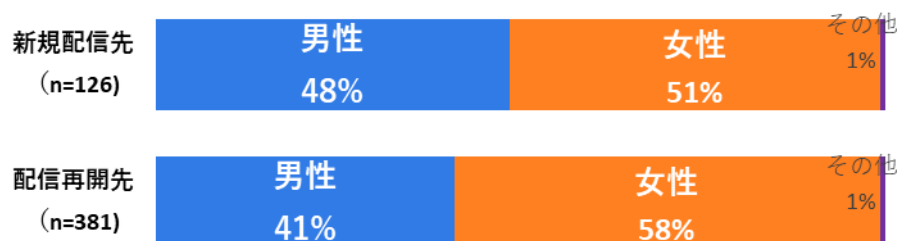
#### メールマガジン配信先の属性等について

メールマガジン再開先と新規メールマガジン配信先を比較すると、属性に異なる傾向が見受けられる。メールマガジン再開先の募集（令和4年6月）は新型コロナウイルスによる入国制限のもとで行われたことに対し、新規メールマガジン配信先の募集時（令和5年6月）には、既に解除されていたことが影響している。コロナ禍以降、具体的な旅行計画を検討するための旅マエ情報が海外潜在層に必要とされている可能性が推察される。

また、台湾を本拠地とするFBグループに対し、参加者の母国語（中国語（繁体字））で実施したことも、アジア諸国からの申込割合が高くなった要因と考えられる。

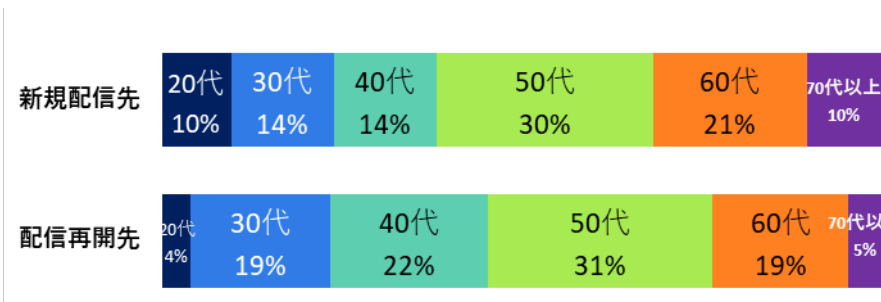
a) 性別：配信再開先の性別は女性の比率が若干高いが、新規配信先では概ね均等に分布している。

【図表 3-8】メールマガジン配信先の属性：性別



b) 年代：新規配信先は配信再開先に比べ20代の若年層と50代以上の高齢者層の比率が高く、30代、40代の現役世代層が低い。

【図表 3-9】メールマガジン配信先の属性：年代



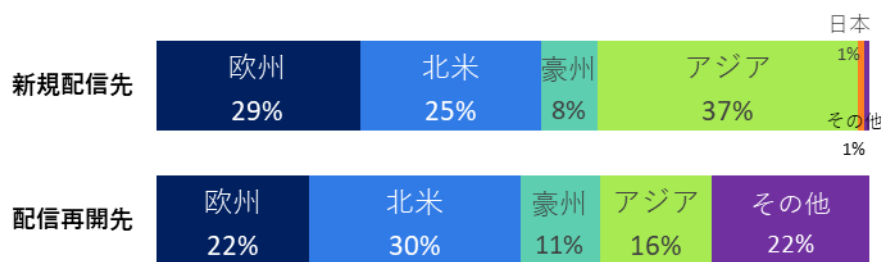
c) 職業：新規配信先は配信再開先に比べ会社員・役員と退職者・年金受給者の比率が高い。50歳代以上の高齢者層に会社員・役員や退職者・年金受給者が多いことが理由と考えられる。

【図表 3-10】 メールマガジン配信先の属性：職業



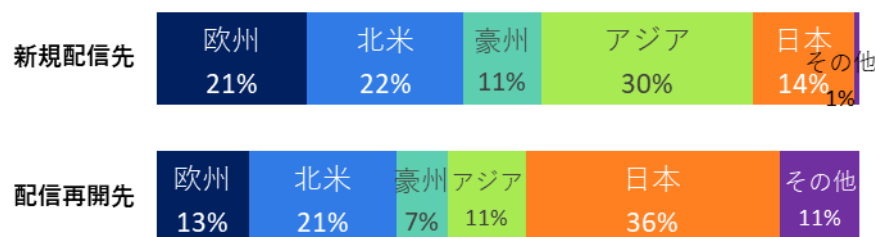
d) 出身国：新規配信先は配信再開先に比べアジアの比率が高い。

【図表 3-11】 メールマガジン配信先の属性：出身国



e) 居住国：新規配信先は配信再開先に比べ日本の比率が低い。

【図表 3-12】 メールマガジン配信先の属性：居住国



(5) メールマガジン配信体制の構築

メールマガジン配信システムを導入し、定期的にメールマガジンを発信する。

項目	内容・方針
システム	メール配信システム WiLLCloud ((株) サバナ)
配信対象	メールマガジン配信再開先 381 名及び新規メールマガジン配信先 126 件 (合計 507 件) に対し旅マエ情報を提供する。 メールマガジン配信先が来日し四国遍路を体験する間にもメールマガジンを配信し旅ナカ情報を提供する。
配信時期・回数	配信時期 7~12 月頃、配信回数 10 回
配信内容	体験記、現地情報等、テーマに応じて執筆者を選定し記事を作成する。メールマガジン内では一部の掲載にとどめ、リンクから記事全文が掲載された Web サイトへ誘導し、他のページの閲覧も促す。

【図表 3-13】メールマガジン配信の運用イメージ

メールマガジン

Web サイト (記事)

Web サイト (トップ)

メールマガジンから総合 Web サイトへ誘導し、体系的な四国遍路の情報を提供

【図表 3-14】 メールマガジン記事の一覧（全 10 回発信）

回	送信日	ジャンル	タイトル	執筆者	記事内容	情報分野
1	7/28	お知らせ	外国人モニター募集中！	遍路道情報センター	モニターの募集告知と応募要項	旅ナカサポート案内
		旅日記	わたしの四国旅(9) ベサニーさん	徳島県内観光協会所属 ベサニー・ジョンソン氏	英語教師として赴任した徳島の日本文化との出会い	四国遍路特有の事情（伝統、歴史、文化の魅力）
2	8/11	旅日記	わたしの四国旅(10) ドンさん	遍路 FB グループ管理人、過年度モニター、英語遍路本著者 ドン・ワイズ氏	なぜ何度も四国遍路を歩くのか	四国遍路特有の事情（伝統、歴史、文化の魅力）
		現地情報	へんろの人々(3) ホステルオーナー：持田直宏さん	「ホステル PAQ 徳島」代表 持田直宏氏	ホステルに來訪したあるイタリア人遍路との出会い	四国遍路特有の事情（住民交流）
3	8/25	お知らせ	モニター手順について	遍路道情報センター	モニター採用後の手順等説明	旅ナカサポート案内
		旅日記	わたしの四国旅(11) オリバーさん	遍路 FB グループ管理人、独語遍路本著者 オリバー・ダンスク氏	空海はあなたが当たり前だと思ふことを奪い、予期しないことを与えてくれる	ガイド本の案内 四国遍路特有の事情（住民交流）
		旅日記	わたしの四国旅(12) 田中秋月さん	中国語通訳ガイド 田中秋月氏	四国遍路は自分探しの旅、天と地と人との時間を共有する旅	四国遍路特有の事情（住民交流）
4	9/15	現地情報	へんろの人々(4) 休憩所運営：増田廣信さん	遍路休憩所「へんろの里」、ゲストハウス「お宿イレブン」運営者 増田廣信氏	四国遍路の現状と遍路宿の立ち上げ	宿泊施設情報
		旅日記	わたしの四国旅(13) バトリックさん	過年度モニター、仏語遍路本著者 バトリック・プーチ氏	四国遍路の精神性：手放すことでも与えることも受け取ることでもできる	四国遍路特有の事情（信仰、住民交流）
5	9/29	お知らせ	チェックインサービス（β版）のご案内	遍路道情報センター	チェックインした人が受けられるサービス内容	旅ナカサポート案内

回	送信日	ジャンル	タイトル	執筆者	記事内容	情報分野
5	9/29	現地情報	おすすめ宿 (2)愛媛県： ときわ旅館	「ときわ旅館」 代表 藤江修氏	遍路宿の詳細情報	宿泊施設情報
		旅日記	わたしの四 国旅(14) スタッフ村 尾	遍路道情報セン ター	84 番札所屋島寺 と周辺歩き情報	観光スポット情 報
6	10/13	現地情報	立寄りたい 四国の秋の イベント情 報	遍路道情報セン ター	10月～11月の 四国各地の秋祭 りやイベント情 報	観光スポット
		旅日記	わたしの四 国旅(15) ドンさん	遍路 FB グルー プ管理人、過年 度モニター、英 語遍路本著者 ドン・ワイス氏	四国遍路に向け て準備すべき携 行品	四国遍路特有の 事情（荷物）
7	10/27	旅日記	わたしの四 国旅(16) ビリオンさ ん	過年度モニタ ー、仏語通訳ガ イド、先達 ビ リオン・フラン シス氏	「一期一会」四 国には沢山の愛 がある	四国遍路特有の 事情（信仰、住 民交流）
		現地情報	へんろの 人々(5) 遍路用品 店：浅野敏 司さん	「スモトリ屋浅 野総本店」代 表 浅野敏司氏	遍路用品店「ス モトリ屋」の紹 介、日本政府観 光局認定の観光 案内所	四国遍路特有の 事情（遍路用 品、表装情報）
8	11/10	旅日記	わたしの四 国旅(17) エレノラさ ん	本年度モニタ ー、ジャーナリ スト エレノ ラ・フェージ氏	四国遍路で感じ た安全性、四国 の人々との出会 い	四国遍路特有の 事情（信仰、住 民交流）
		旅日記	わたしの四 国旅(18) レイモンド さん	過年度モニタ ー、元大手ホテ ル支配人 レイ モンド・タート 氏	四国遍路沿い （神山、上勝） のお薦めエリア	観光スポット情 報
9	11/24	旅日記	わたしの四 国旅(19) マルタさん	過年度モニタ ー、日本文化研 究者、ポルトガ ル語遍路本著者 マルタ・ムンド 氏	四国遍路に関す る自著について	四国遍路特有の 事情（信仰、住 民交流）
		現地情報	へんろの 人々(6) 四国霊場巡 拝先達：中 田さん	権中先達 中田 伊規雄氏	四国遍路での出 会い、別格二十 霊場第八番札所 の被災と再建物 語	四国遍路特有の 事情（信仰、先 達、住民交流）

回	送信日	ジャンル	タイトル	執筆者	記事内容	情報分野
10	12/8	旅日記	わたしの四国旅(20)ダンさん	過年度モニター、真言宗僧侶ダン・コーエイ氏	真言宗の僧侶、修験道の修行について	四国遍路特有の事情（信仰）
		現地情報	おすすめ宿(3)徳島県：お宿イレブン	遍路休憩所「へんろの里」、ゲストハウス「お宿イレブン」運営者 増田廣信氏	「お宿イレブン」の詳細情報	宿泊施設情報

## (6) Web サイトの運営

海外潜在層及び外国人歩き遍路へ向けた旅マエ、旅ナカ情報を発信するための Web サイト「HENRO The Shikoku Pilgrimage 四国遍路の総合サイト」を整備する。四国各地の連携先等を通じて情報を収集し、記載事項を随時更新する。

【図表 3-15】「HENRO The Shikoku Pilgrimage 四国遍路の総合サイト」の内容

大分類	小分類	内容
①ホーム		
②トピックス		モニター募集要項、旅行記、現地情報など
③四国遍路とは	四国遍路とは	四国遍路の概要
	四国遍路の歴史	遍路道の成り立ち
	四国遍路のお寺	八十八ヶ所霊場、別格二十霊場の概要と関連リンク
	四国遍路の魅力	四国遍路体験者のコメント
④歩き方	プランニング	通し打ち・区切り打ち、縦断図など
	気候	四国の四季、年間降水量・気温グラフ、天気予報リンク
	費用	各種費用の目安（宿、食事、遍路グッズ、通信費等）、ATM 利用法
	携行品	トレイルのウエアと携行品、巡拝の装束と携行品
	通信	国内通話、インターネット接続方法
	交通	日本各地から四国への主なアクセス方法
	宿泊	宿の種類、予約方法、無料宿泊施設について
	ガイドブック	英語/日本語遍路本、関連リンク
⑤お役立ち情報	健康と安全	けがや災害時の連絡先、飲料水、害獣害虫
	食事	宿の食事、コンビニ、各県ローカルフード
	習慣とマナー	日本の生活習慣、お接待の考え方、巡拝作法、トレイルのマナー
	トイレと休憩所	日本のトイレ事情、道の駅、遍路小屋

大分類	小分類	内容
⑤お役立ち情報	遍路用語とマメ知識	巡礼の言葉、お寺についての言葉、仏教のマメ知識、 仏像の種類、日常の言葉
	周辺観光	関連リンク
⑥モデルコース	モデルコース 1	徳島おためし遍路コース
	モデルコース 2	徳島 17 カ寺と雨乞の滝サイクリングコース
	モデルコース 3	鶴林寺と太龍寺を歩く、山と海満喫コース
	モデルコース 4	海辺を走る、室戸岬サイクリングコース
	モデルコース 5	高知の札所と仁淀川サイクリングコース
	モデルコース 6	郷愁の町並みを歩く、大洲・内子コース
	モデルコース 7	山岳霊場から道後温泉まで。愛媛歩き遍路ハイライト
	モデルコース 8	しまなみサイクリングと石鎚登山コース
	モデルコース 9	香川歩き遍路と半島サイクリングコース
	モデルコース 10	古道歩きとサイクリングで回るあがり八カ寺コース
	ダウンロードマップ	モデルコース 1~10 のマップとモデル旅程 (PDF)
	レンタサイクル	レンタサイクル事業者紹介
⑦運営主体	遍路道情報センター	遍路道情報センターの活動目的と運営組織
⑧お問合せ		問い合わせフォーム
⑨プライバシーポリシー		個人情報の利用、アクセス解析ツール、免責事項



### 3. 独自の QR 情報システムの開発と運用

#### (1) 開発目的

観光地域におけるプロモーションや受入環境を整備するに際して、当該地域の来訪者数や動態等の基礎データ分析、いわゆるマーケティング調査が必須である。近年では、観光 DMP を構築して情報一元化を図る取組みが各地で進められているが、四国遍路では、その広さゆえに、そのような取組みが進んでいない現状がある。

その問題意識から、独自の QR 情報システムを開発し、外国人歩き遍路へ向けた QR コードによる多言語情報提供の体制を整備すると同時に、読み取りに使用された情報端末から位置情報や UID などの属性情報を集積する。集積データの提供による観光 DMP との連携を図り、四国遍路情報の二次活用による観光振興を目指すことを目的とする。

システムの開発が完了した後、令和 4 年度事業で導入された多言語情報提供システム「QR Translator」（以下、現行システムという）に代わって運用を開始する。

#### (2) 開発方針

現行システムは多言語情報提供を主目的とした商用システムであり、データを収集・分析する機能が限定的であり、持続性・発展性に乏しいと言える。この課題を解決するため、QR 情報システムでは、機能強化を図る。（図表 3-16）

また、徳島文理大学理工学部との連携により、開発及び運用コストを抑制した持続可能なシステム構築についても取り組む。

【図表 3-16】 QR 情報システムと現行システムの機能比較

	QR 情報システム	現行システム
分析、可視化機能の発展性	発展性あり	発展性なし
UID の収集機能	可能	不可能
提供情報（文字数、画像数）	制限無し	制限有
運用コスト	比較的低コスト	比較的高コスト

#### (3) QR 情報システムの基本機能

##### ① 多言語情報の発信

8 ヶ国語（日本語、英語、（中国語）繁体字、簡体字、韓国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語）で札所の境内配置図、説明文、写真、周辺地図等を発信する。

外国人歩き遍路が情報端末（スマートフォン等）で四国八十八ヶ所霊場の各札所に掲示した QR コードを読み取ると、情報端末の設定言語を認識して自動表示。

また、外国人歩き遍路が遍路道沿線周辺に位置する宿泊施設、観光案内所等に掲示した QR コードを読み取ると、2 ヶ国語（日本語、英語）で行程の前方に位置する遍路古道、危険箇所、地図等を自動表示する。

さらに、外国人歩き遍路が登録制度（Check-In/Out）を利用する際、設置した QR コードを読み取ることで、四国遍路の事前ガイダンス（マナー、注意事項等）が、自動表示。

【図表 3-17】 QR コード掲示場所と提供する情報

QR コード掲示場所	情報項目	情報内容	構成
四国八十八ヶ所札所	札所情報	境内案内図、寺の歴史、見どころ、周辺地図等	88 頁×8 言語*1
宿泊施設、観光案内所、道の駅等	先行きの有用情報	行程前方に位置する遍路古道、危険箇所、観光情報、地図等	17 頁×2 言語
Check-In 拠点 Check-Out 拠点	登録手続	事前ガイダンス（マナー、注意事項等）、登録画面等	1 頁×2 言語*2

\*1 8 言語…日本語・英語・繁体字・簡体字・韓国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語

\*2 2 言語…日本語・英語

## ② アクセスデータの集積

QR 情報システムは、QR コードを読み取った情報端末の UID、言語情報、位置情報等の情報を収集し、データベースに格納する。

【図表 3-18】 QR 情報システムで集積する閲覧データ（CSV 形式）

データ項目	内容
①UID	アクセスした情報端末を識別する番号
②札所番号/施設番号	QR コードを掲示している札所番号/施設番号
③閲覧したお寺/施設	QR コードを掲示している札所名/施設名
④日時	アクセスした日時データ。日時分秒まで還元される。
⑤表示言語	アクセスした情報端末に表示された言語と端末に設定している言語種類 情報端末の言語に設定された世界各国、各地域の言語が還元されており出身国、居住国の推定も可能と考えられる。
⑥緯度	アクセスした情報端末のアクセス時の位置
⑦経度	位置情報取得を「許可」と設定した端末より取得可能
⑧リファラー	閲覧 Web ページの直前に閲覧していた Web ページ情報

#### (4) 情報提供の多言語化

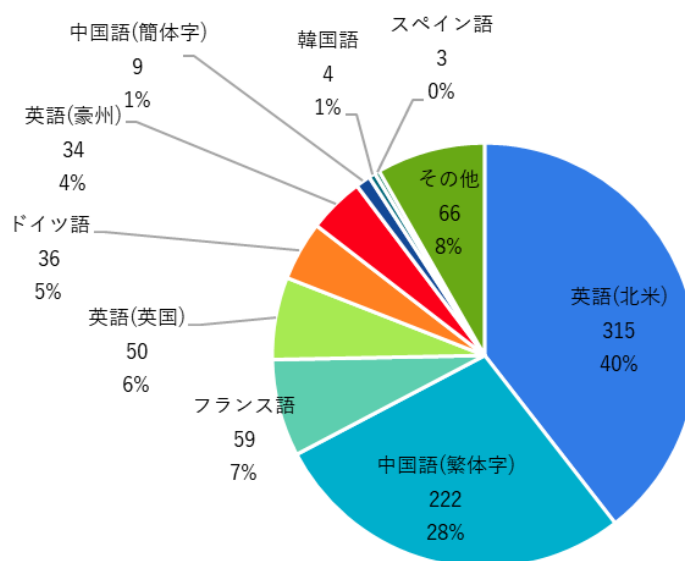
##### ① 現行システムにおける多言語化情報提供の実績

現行システムの Web ページには、2022 年 11 月 1 日から 2023 年 2 月 28 日までの調査対象期間において 1,452 名のユーザーからアクセスがあり、端末の設定言語が確認できたのは 1,389 名。うち、日本語以外の言語設定の情報端末からアクセスしたユーザー数は 798 名であった。

日本語以外の設定言語をみると、英語（北米）設定が 315 名と最も多く、次いで、中国語（繁体字）設定が 222 名と続く。その他、フランス語の設定ユーザー数が 59 名、英語（英国）が 50 名、ドイツ語が 36 名、英語（豪州）が 34 名、中国語（簡体字）では 9 名、韓国語では 4 名、スペイン語では 3 名、その他言語が 66 名という結果となった。

結論としては、日本語以外の言語の設定ユーザー 798 名のうち 732 名（91.7%）に対して、設定した 7 言語でカバーしており、現行システムの言語の選択は妥当だったと判断できる。

【図表 3-19】日本語以外の設定言語別ユーザー数（n=798）



##### ② 言語の選定

①の結果に基づき、QR 情報システムで行う多言語化についても日本語を含む、英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、フランス語、スペイン語、ドイツ語の 8 言語を引き続き設定する。

【図表 3-20】 選定した 8 言語と翻訳方法等

言語	翻訳方法	説明
英語	人力翻訳	翻訳者：Don Weise 氏 四国遍路有識者、元徳島文理大講師、徳島県在住
中国語 (簡体字)	人力翻訳	翻訳者：田中秋月氏 台湾出身、四国遍路通訳ガイド協会所属の香川県地域通訳案内士
中国語 (繁体字)	人力翻訳	近隣国言語として重要。台湾人は信仰心厚い歩き遍路が多い。
フランス語	人力翻訳	翻訳者：Patrick Puech 氏 「A l'abri sous les Henro Goya: Mes pèlerinages des 88 Temples de SHIKOKU」の著者、四国遍路経験 3 回
ドイツ語	人力翻訳	翻訳者：Oliver Dunskus 氏 「The 88 Temples of Shikoku: A Guide for the Walking Pilgrim」の著者、四国遍路経験多数、数年毎に来日
スペイン語	英語から 機械翻訳	世界的にみたスペイン語人口やサンティアゴ巡礼路との関係から重要な言語と考えられるが、適切なスペイン語ネイティブが見つからず機械翻訳にとどめた
韓国語	日本語から 機械翻訳	近隣国言語として重要と考えられるが、適切な韓国語ネイティブが見つからず機械翻訳にとどめた

### ③運用方法

- ・ 各札所に QR コードを掲示する。
- ・ 情報端末で QR コードを読み取ると、当該札所の情報が表示される。(多言語)
- ・ 読み取りに使用した情報端末のデータを収集しデータベースへ格納する。
- ・ 収集したデータを分析、可視化する。

【図表 3-21】 QR 情報システムの運用イメージ



【図表 3-22】各所の QR コード読み取り後に表示されるページ例

< 札所情報 >

日本語
▼

### 第六番 安楽寺



Check in

Check out

境内



**寺の歴史**

【古蹟調査報告書】(1899)には「祝儀の神札を人々に頒布する御札所に至り、十二門扉を穿し、堂の礎のひき継ぐ縁なし」と記されています。その礎は福山藩の御用所跡で焼けた石で出来ていました。焼けた石の長さ(15.76-15.86)や幅(10.66)の両方が整数(1896)など、敷石の構成も趣意に富んでいます。

ここ、石段には古くから温泉が湧き出、安楽寺は弘法大師が温泉湯治の利益を伝えた跡地にあり、山頂を福山山といわれます。現在も大正堂前から温泉が湧き出しています。

伊土山神社(1377-1603)に祝儀堂、修善寺温泉治の御札所と定め、弘法大師の御札、安楽寺の御札を奉じました。その記録である「御札所文書」(1598)が今も残されています。以来、温泉400年の歴史を歩みます。江戸時代(1603-1868)には、山内氏御用所跡の御札が入った土蔵が建てられ、寺域は拡張されました。寺裏に温泉の湧き出し、250年前に御用所跡により築かれたもので、真鍮製の笠や土蔵の遺構が残ります。

認知度低く西の山頂に立つ(1896)は、縁起の悪いとされ、縁起の悪いとされた山頂に建てられた。当時の御用所の敷石に、御用所跡の御札を奉じました。江戸時代(1603-1868)には、山内氏御用所跡の御札が入った土蔵が建てられ、寺域は拡張されました。寺裏に温泉の湧き出し、250年前に御用所跡により築かれたもので、真鍮製の笠や土蔵の遺構が残ります。

安楽寺の御札所には、温泉・修善寺の御札を奉じました。弘法大師(1244)が、御札のころから建てられた土蔵六十が建てられています。大正堂の弘法大師像は、御札所、不審堂などです。また、修善寺には弘法大師像、金剛菩薩像などが祀られ、石段には「古蹟」と記された弘法大師の足跡が刻まれているとされています。

**見どころ**



境内は御用所の弘法大師像で、浄土を表現しています。境内には八十八ヶ所の御用所があります。

大正堂の一角が修理  
古くから使われていた  
式 御札所  
弘法大師の御札

**詳細**

寺名: 福山山 福徳院 安楽寺 (おんせんざん じりこういん あんらくじ)  
 宗派: 福山宗 真言宗  
 本尊: 真言宗  
 開創: 弘法大師  
 創建: 1244  
 真鍮: 弘法大師 弘法大師 弘法大師

**アクセス**

所在地: 〒771-1311 徳島県板野郡上板野町大字寺ノ西北  
 電話: (087)64-2048  
 駐車場: 普通車約8台・大型(バス10台・軽自動車)あり(300人・遠慮あり)  
 公式サイト: <http://www.shikoku.or.jp>  
 公式LINE: [https://www.instagram.com/shikoku\\_pilgrimage](https://www.instagram.com/shikoku_pilgrimage)



Open in Google Maps

Previous Temple  
Next Temple

© Shikoku Pilgrimage Information Center / All Rights Reserved.

< 先行きの有用情報 >

日本語
▼

### おすすめの道 1

#### 12番への道 焼山寺道

焼山寺道は、11番札所福徳院から12番札所焼山寺までの山道の道です。焼山寺までの道を歩くと全長14.7キロ、きついアップダウンがありますが、よく整備されていて、お湯屋さんだけでなくハイカーやトレイルランナーにもよく利用されています。福山宗の御札所として日蓮上人が入り、気持ちよく歩ける道です。

11番札所から12番札所までは5〜6時間かかります。途中で温泉・福山寺・浄土堂(一本杉)という仏堂があるので、休憩するといいたく、途中で休憩がとれます。

12番札所から焼山寺までは1時間以上かかります。下りが続き、降りやすいところがあります。しばしば泥濘道も起きているので注意が必要です。途中で休憩がとれます。

休憩時間を入れたら、全体で温泉〜8時間かかります。日蓮上人に頂へ行くよう意気込んで出発してください。道は、体力に合わせたペースで歩きましょう。



● One of the 88 Temples  
 ● One of the 30 other temples  
 ● Related temples and shrines  
 ● Looking

11番山頂入り口  
 12番山頂入り口

11番札所福徳院の境内の焼山寺道の入口があります。



2番の道  
 弘法大師がこの地を巡遊されたとき、船の楫で加持して真実を講き出され、獲れと聞きで御札を奉じたという伝説がある場所です。



3番の道 (一本杉林)  
 弘法大師がこの地を巡遊されたとき、木の葉を衣に振舞われました。その木の葉が落ちて山頂に降り、置かれた弘法大師の御札所としてここにあり、お湯を飲むと次郎法師に弘法大師像が現れる感動の場所です。ここが焼山寺道の最高地点です。



4番の道  
 終結と体力に余裕があれば、12番焼山寺の裏の道で行くのがおすすめです。山頂に位置し、12番焼山寺からは往復1時間ほどかかります。



< 登録手続きの説明 >

日本語
▼

### チェックインサービス (β版) のご案内



ご存じのとおり、四国遍路は全長1,200キロメートル以上ある長い道のりです。これから先走る方は、事前に情報を収集して計画を立てることも多いですが、それらも実際に歩き始めることと結びついたり、言葉が通じず戸惑うことがあるかもしれません。

私たちは四国遍路の道しるべを予定している方が困ったときに英語でサポートする体制を整えたいと考えています。四国へ行ってきて四国遍路を歩かれるとき、下のチェックイン用シートから画像を撮って登録してください。名前や連絡先を入力し、簡単なアンケートに答えただけでチェックイン完了です。

チェックインしてくれた方には、宿泊予約の手伝いや、四国遍路エリア内の情報提供など、できる限りのサポートをします。困ったときはメールでもお気軽にご連絡ください。

費用はまったくかかりません。ただ、四国遍路の道が終わったら簡単なアンケートに答えてください。

私たちは遍路情報センターは、国の委託を受けて、外国人旅行者が四国遍路エリア内で資金・快通に利用できるよう、導入準備を進めることを目的として活動しています。現在、このサポートサービスをテストしています。あなたの協力も、私たちの活動の推進に、他の遍路者のために役立ち、四国遍路を後継へ伝えることに繋がります。ぜひご協力をお願いします。

Check in

**QRコードから札所情報を提供しています**

私たちは、四国遍路の八十八の寺で、各札所についての情報を多言語で提供するサービスも実施しています。

下の写真のように、お寺ごとにQRコードが表示されています。あなたのスマホでスキャンして内容を読んでみてください。札所の歴史や境内の地図などの情報を確認することができます。

表示場所はお寺によってさまざまで、経路の入口やカウンター、掲示板、作業室、山門や本堂の場合もあります。こちらすべて無料です。





© Shikoku Pilgrimage Information Center / All Rights Reserved.

## 4. 登録制度（Check-In/Out）体制の整備

### (1) 登録制度（Check-In/Out）体制の概要

外国人旅行者が四国遍路エリア内の各地に掲示した QR コードを読み取ることにより、スタート時には Check-In 手続き、ガイダンス、登録証の交付等を行い、回遊中には遍路道、宿泊施設、荷物預かり・搬送等の外国人旅行者が必要とする情報提供やサポートを行い、終了時には完歩証を交付して Check-Out 手続きを行う一連のサービス体制を構築した。

【図表 3-23】 チェックインからチェックアウトまでの旅ナカ支援のイメージ



### (2) Check-In/Out 拠点の整備


#### ① Check-In 拠点の整備

前述のとおり四国遍路に明確な起点、終点は存在しないが、多くの歩き遍路は札所番号に基づき 1 番札所靈山寺（徳島県鳴門市）を起点、88 番札所大窪寺（香川県さぬき市）を終点と考える。


従って、起点付近に位置する施設 4 カ所を選定し Check-In 拠点として整備した。4 カ所の Check-In 拠点には Check-In 専用の QR コードを掲示するとともに、総合 Web サイト「HENRO The Shikoku Pilgrimage」等を掲載したリーフレットを設置した。各施設に対しては事業の主旨、目的等について説明し、外国人モニターへの対応等、事業への協力についても理解を得られた。

【図表 3-24】 Check-In 拠点の概要

拠点名	トクシマウエルカムセンター（徳島市広域観光案内ステーション）
住所	徳島市元町1丁目24番地 アミコビル東館1階外側
掲示場所	カウンター
概略	観光案内所として、観光・交通情報を提供。英語ネイティブスタッフ Lance Kita 氏*が外国人歩き遍路に対応。 * Lance Kita 氏…ハワイ出身、徳島文理大学英語講師、語学センター長を経て現職。ブログ「Wanderful Tokushima」で徳島のイベント情報を発信中。全国通訳案内士。
選定理由	JR 徳島駅前に位置し多くの外国人観光客が訪れる。
設置状況	  <p>QR システムの案内チラシ</p>

拠点名	門前一番街
住所	徳島県鳴門市大麻町板東西山田 29-6
掲示場所	カウンター
概略	1 番札所霊山寺の門前に位置する遍路用品店
選定理由	1 番札所霊山寺を起点とする多くの外国人歩き遍路が立ち寄る。
設置状況	

拠点名	Hostel PAQ
住所	徳島県徳島市中通町2丁目5番
掲示場所	フロント横のカウンター
概略	徳島駅から5分程に位置するゲストハウス。
選定理由	英語のウェブサイト <a href="https://www.hostelpaq.com/">https://www.hostelpaq.com/</a> があり、オンラインで予約が可能ことから多くの外国人歩き遍路が利用する。
設置状況	

拠点名	6番札所安楽寺
住所	徳島県板野郡上板町引野寺ノ西北8
掲示場所	宿坊のチェックインカウンター
概略	歩き遍路の初日の宿泊施設としてよく利用される
選定理由	Webサイト <a href="https://shikoku6.or.jp/">https://shikoku6.or.jp/</a> を開設して多言語情報提供を実施している。外国人歩き遍路にも広く知られた宿坊
設置状況	

## ②Check-Out 拠点の整備

終点付近に位置し多くの歩き遍路が立ち寄る前山おへんろ交流サロンを選定した。



【図表 3-25】 Check-Out 拠点の概要

拠点名	前山おへんろ交流サロン（さぬき市へんろ資料館）
住所	香川県さぬき市前山 榎 936
掲示場所	玄関付近
概略	さぬき市の 87 番長尾寺から 88 番大窪寺の遍路道沿いに位置し、四国遍路に関する歴史的資料を展示するとともにお遍路さんの休憩、交流の場を提供している施設
選定理由	歩き遍路・自転車遍路で結願した方に「四国八十八ヶ所遍路大使任命書」・「自転車遍路大使任命書」と「同行二人バッジ」を授与し、遍路アンバサダーとして認定されるため、外国人のお遍路さんにも人気の場所。

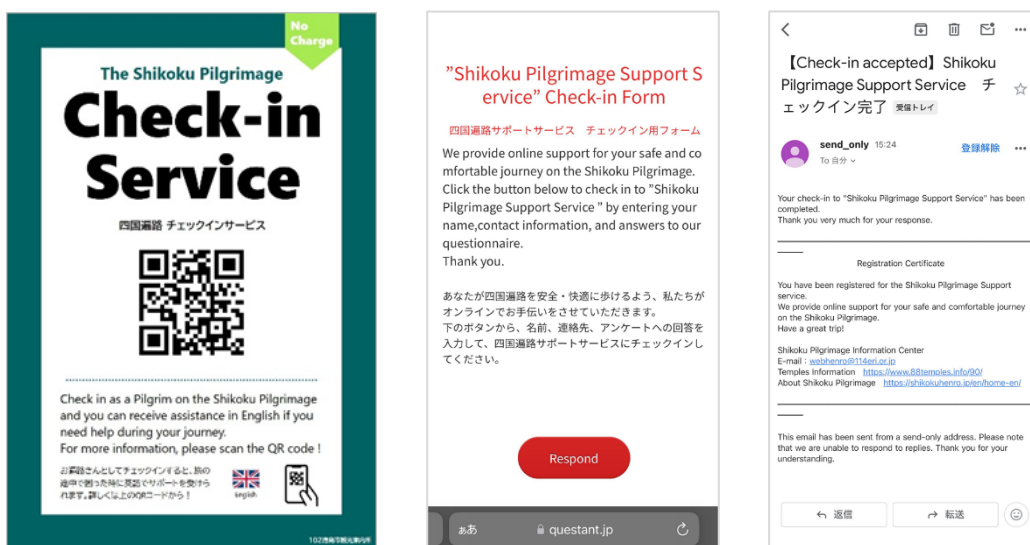
(3) 登録制度（Check-In/Out）利用者に提供する情報、サポート内容

遍路道情報センターは、登録制度（Check-In/Out）を利用する外国人歩き遍路に対し、旅ナカで想定されること、あるいは予期せぬ事態に応じた情報提供や Web サポートを実施する。目指す体制は以下のとおりである。

① Check-In 時：旅マエ情報（事前ガイダンス等）の提供

Check-In 時点（即ち歩き遍路のスタート時点）では、情報端末で QR コードを読み取る際に、旅ナカでのマナーや注意点等、歩き遍路を楽しむうえでの基本的なガイダンスを表示する。また、遍路道情報センターが提供する Web サポートについての説明とともに、登録制度利用者であることを示す「登録証（注.1）」を送信する。

【図表 3-26】 Check-In 用の QR コード掲示媒体と読み取り後に表示される画面、登録証



## ②旅ナカ：Web サポートの提供

旅ナカにおいては、電話、メール、メッセージ等を通じて遍路道情報センターからの Web サポートを提供する。

Web サポートの内容は、主に宿泊施設、行程、食事、トイレ休憩所、荷物、近隣観光、緊急トラブル時に関する相談・対応等を想定する。

遍路道沿線の各施設経営者や担当者は英語コミュニケーション力が不十分であり、近年はモバイルアプリケーションなどを活用することで日常会話、定型表現に関しては補強されつつあるものの、緊急トラブル時には適切かつ迅速に対応することは困難である。そのため、本事業では Web サポートで見守る体制を整備する。

また、Web サポートの実効性を目指し、遍路道沿線上の各施設との連携を強化する。

【図表 3-27】

サポート分野	サポート内容
宿泊施設関連	宿泊施設情報の提供及び代理予約
行程関連	高速バス、電車等公共交通機関の案内
食事関連	宿泊施設でのベジタリアン、ヴィーガン対応の確認
トイレ、休憩関連	善根宿、キャンプ地、遍路小屋情報の提供
荷物関連	難所、山越え前後での荷物の一時預かりや搬送
近隣観光関連	周辺観光施設の案内
緊急トラブル関連	病院情報の提供、宿泊施設などへの支援要請など
その他	その他質問に対する回答

## ③旅アト：完歩の確認とインセンティブの交付

遍路道情報センターは、登録制度利用者の Check-Out 手続きによって完歩を確認し完歩証（注.2）を交付して Web サポートを終了する。

（注.1）本事業では「モニター証」として扱う。将来的には登録証を提示することで各地各施設での特別サービスを提供する体制整備を想定。

（注.2）将来的には、QR 情報システムを通じて各歩き遍路の動態を確認することでデータに裏付けられた完歩証（それ自体がインセンティブ）の交付。

## 5. QRコードの作成・設置

四国八十八ヶ所霊場の各札所では、現行システム用QRコードを掲示しているため、本事業用のQRコードに交換する。また、外国人歩き遍路が利用する四国一円の宿泊施設、観光案内所等にもQRコードを設置する。

### (1) 四国八十八ヶ所霊場の各札所におけるQRコードの設置

#### ① 札所用のQRコードの作成

視認性や札所景観等に配慮した新たなQRコードをA4版（縦）で作成。

【図表 3-28】 各札所設置予定QRコード（第1番札所霊山寺の例）



#### ② 各札所へQRコードを設置

各札所にQRコードを用意し、四国八十八ヶ所霊場会経由で、全札所に以下の要領で設置することを依頼。

- ・ 風雨に晒されることを想定してQRコードにラミネート加工を行う。
- ・ 各札所に2枚送付し、希望する札所には適宜追加する。
- ・ 可能な限り外国人歩き遍路の目につきやすい門前等の視認性の良い場所に設置する。


後日、訪問して設置状況を確認したところ、各札所により設置状況は異なるが、おおむね山門、納経所所内の作業用テーブル、納経所内のカウンター、納経所窓口等、札所の事務に支障がなく視認性が良い場所に設置されていた（図表 3-29）。

【図表 3-29】 QR コード設置先

分類	設置場所	件数	札所
A	納経所内部（窓口、カウンター等）	59	1 霊山寺、2 極楽寺、3 金泉寺、5 地藏寺、6 安楽寺、7 十楽寺、8 熊谷寺、10 切幡寺、11 藤井寺、13 大日寺、14 常楽寺、15 国分寺、16 観音寺、17 井戸寺、19 立江寺、20 鶴林寺、21 太龍寺、23 薬王寺、27 神峯寺、29 国分寺、30 善楽寺、32 禅師峰寺、33 雪蹊寺、34 種間寺、38 金剛福寺、41 龍光寺、42 佛木寺、44 大寶寺、48 西林寺、49 浄土寺、50 繁多寺、51 石手寺、52 太山寺、53 圓明寺×2 箇所、54 延命寺、55 南光坊、56 泰山寺、60 横峰寺、61 香園寺、62 宝寿寺、63 吉祥寺、65 三角寺、66 雲辺寺、68 神恵院、69 観音寺、70 本山寺、74 甲山寺×2 箇所、75 善通寺、78 郷照寺、80 國分寺、81 白峯寺、83 一宮寺、84 屋島寺、85 八栗寺、86 志度寺、87 長尾寺、88 大窪寺
B	境内（本堂、門、掲示板等）	23	3 金泉寺、18 恩山寺、22 平等寺、26 金剛頂寺、31 竹林寺、32 禅師峰寺、37 岩本寺、39 延光寺、40 観自在寺、47 八坂寺、52 太山寺、57 栄福寺、58 仙遊寺、59 国分寺、64 前神寺、67 大興寺、72 曼荼羅寺、76 金倉寺、77 道隆寺、82 根香寺、86 志度寺、88 大窪寺×2 箇所
C	納経所外周（入口玄関、窓口、外壁、掲示板等）	20	4 大日寺、9 法輪寺、12 焼山寺、21 太龍寺×2 箇所、24 最御崎寺、27 神峯寺、28 大日寺、35 清瀧寺、45 岩屋寺、46 浄瑠璃寺、51 石手寺、54 延命寺、61 香園寺、62 宝寿寺、71 弥谷寺、72 曼荼羅寺、73 出釈迦寺、74 甲山寺、79 天皇寺
D	その他（境内外周、門前掲示板等）	3	25 津照寺、46 浄瑠璃寺、75 善通寺
E	宿坊（フロント等）	1	6 安楽寺
計			106 ケ所 (86 札所*)

\*36 番津照寺、43 番明石寺については、訪問時点では確認できなかったが、QR 情報システムへのアクセス履歴から掲示されていることを確認できた。

【図表 3-30】各札所での QR コードの設置状況（一部）

分類	A
掲示場所	納経所内のカウンター
札所名	19 番 立江寺
住所	徳島県小松島市立江町若松 13
設置状況	

分類	B
掲示場所	本堂の扉
札所名	26 番 金剛頂寺
住所	高知県室戸市室戸町元乙 523
設置状況	

分類	C
掲示場所	納経所の入口扉
札所名	45 番 岩屋寺
住所	愛媛県上浮穴郡久万高原町七鳥 1468
設置状況	 

分類	D
掲示場所	遍照会館案内板、納経所内パンフレット棚
札所名	75 番 善通寺
住所	香川県善通寺市善通寺町 3-3-1
設置状況	

分類	E
掲示場所	納経受付兼宿坊フロントのカウンター
札所名	6 番 安楽寺
住所	徳島県板野郡上板町引野 8
設置状況	

## (2) 宿泊施設・観光案内所等における QR コードの設置

### ①設置する施設の選定

遍路道沿線周辺に位置し「Shikoku Japan 88 Route Guide」掲載先である等、外国人歩き遍路がよく利用すると考えられる宿泊施設及び観光案内所等（道の駅、遍路休憩所等を含む）を選定し、交渉した結果、宿泊施設 38 件及び観光案内所等 15 件の協力を得た。

【図表 3-31】 QR コードの掲示施設

所在地（県名）	宿泊施設	観光案内所等	計
徳島県	13	5	18
高知県	8	4	12
愛媛県	10	4	14
香川県	7	2	9
合計	38	15	53

※観光案内所等には以下を含む（案内所 10、休憩所 1、遍路小屋 1、遍路用品店 1、道の駅 2）。

### ②宿泊施設・観光案内所等用の QR コードの設置

掲示方法について各施設の経営者や担当者との意見交換を行い、外国人歩き遍路の目につきやすく施設担当者が案内しやすい位置、サイズなどについて協議した結果、A5 版の亚克力製スタンドを用いて各施設の受付カウンターに設置することとした。

設置後、各施設の経営者や担当者に対し効果検証のためのアンケート調査を依頼した。

【図表 3-32】 宿泊施設・観光案内所等への QR コードと案内チラシ、設置例



【図表 3-33】 QR コード設置先リスト（宿泊施設、観光案内所等）

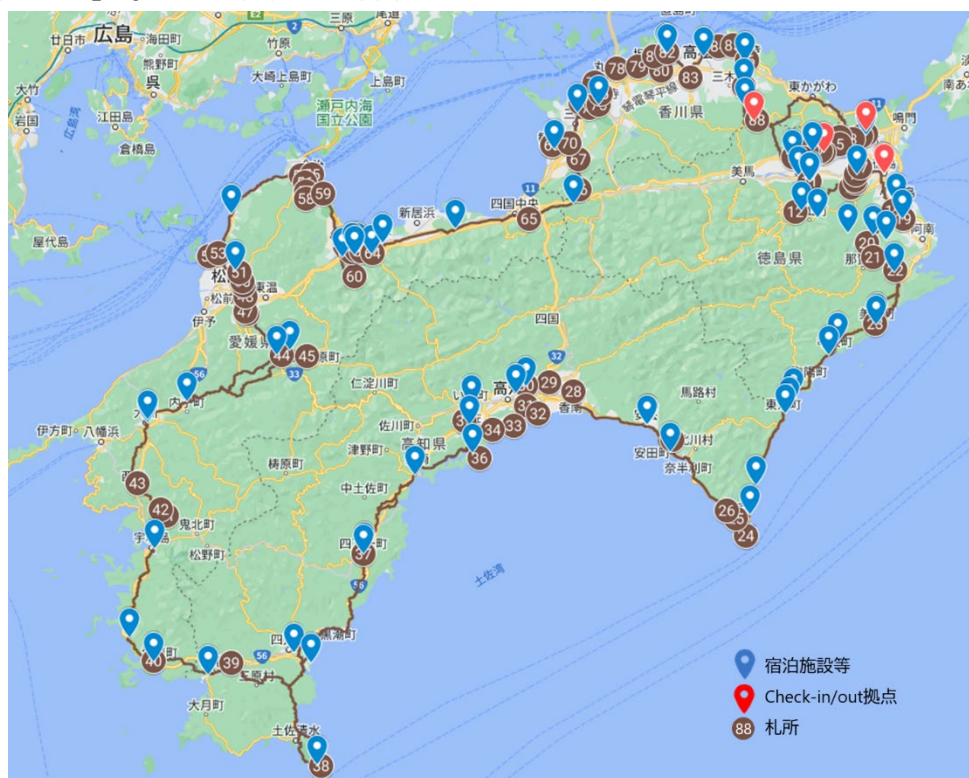
No.	施設名	施設区分	QR No.	QR 内容	住所	最寄札所
1	お遍路ハウス 一番門前通り	宿泊施設	111	①焼山寺道	徳島県鳴門市大麻町坂 東字西山田 1-1	1-2
2	観梅苑	宿泊施設	112	①焼山寺道	徳島県鳴門市大麻町板 東広塚 9	0-1
3	越久田屋	宿泊施設	113	①焼山寺道	徳島県阿波市土成町宮 川内字宮ノ下 31-1	7-8
4	(有)スモトリ屋浅野 総本店	遍路用品 店	114	①焼山寺道	徳島県阿波市市場町切 幡字観音 173	10-11
5	旅館吉野	宿泊施設	116	①焼山寺道	徳島県吉野川市鴨島町 飯尾 1444-1	10-11
6	へんろの里	休憩所	117	①焼山寺道	徳島県吉野川市鴨島町 飯尾 1484-1	10-11
7	お宿イレブン	宿泊施設	118	①焼山寺道	徳島県名西郡神山町神 領本上角 80-2	10-11
8	神山温泉四季の里	宿泊施設	122	②立江寺道 他	徳島県徳島市国府町中 268-1	11-12
9	鱗楼	宿泊施設	123	②立江寺道 他	徳島県小松島市南小松 島町 7-43	16-17
10	小松島市観光案内所	案内所	124	②立江寺道 他	徳島県小松島市立江町 江ノ上 41-1	17-18
11	民宿 鮎の里	宿泊施設	125	②立江寺道 他	徳島県勝浦郡勝浦町・ 大字生名字月ノ瀬	18-19
12	ひなの里かつうら	道の駅	131	③土佐浜街 道	徳島県勝浦郡勝浦町坂 本字宮平 1-5	18-19
13	ふれあいの里さかも と	宿泊施設	132	③土佐浜街 道	徳島県海部郡美波町奥 河内字寺前 114-8	19-20
14	壱 THE HOSTEL	宿泊施設	135	③土佐浜街 道	徳島県海部郡美波町奥 河内寺前 493-6	22-23
15	美波町観光協会	案内所	136	③土佐浜街 道	徳島県海部郡牟岐町大 字河内 189	23-24
16	へんろ宿 南天	宿泊施設	141	④八坂八浜 古道	徳島県鳴門市大麻町坂 東字西山田 1-1	23-24
17	お宿・キッチンみつ 佳	宿泊施設	143	④八坂八浜 古道	徳島県海部郡海陽町穴 喰浦穴喰 145	23-24
18	サウスショア	宿泊施設	212	⑤神峯寺道	高知県安芸郡東洋町大 字生見 12-10	23-24
19	民宿徳増	宿泊施設	213	⑤神峯寺道	高知県室戸市佐喜浜町 107-5	23-24
20	Hostel 東風ノ家	宿泊施設	221	⑥竹林寺道 他	高知県安芸市矢ノ丸 1- 9-28	27-28
21	安芸観光情報センタ ー	案内所	222	⑥竹林寺道 他	高知県安芸市矢ノ丸 1- 4-32	27-28



No.	施設名	施設区分	QR No.	QR 内容	住所	最寄札所
22	お宿 花鳥風月	宿泊施設	223	⑥竹林寺道 他	高知県高知市一宮しな ね 2-18-15	30-31
23	かつおゲストハウス	宿泊施設	224	⑥竹林寺道 他	高知県高知市比島町 4- 7-28	30-31
24	いの町観光協会	案内所	231	⑦青龍寺道	高知県吾川郡いの町 1692-9	34-35
25	ゲストハウスジョン	宿泊施設	241	⑧大坂そえ みみず	高知県須崎市浦ノ内灰 方 4-17	34-35
26	道の駅かわうその里 すさぎ	道の駅	242	⑧大坂そえ みみず	高知県須崎市下分甲 263-3	34-35
27	岩本寺宿坊	宿泊施設	252	⑨鯨道	高知県高岡郡四万十町 茂串町 3-13	36-37
28	四万十市観光協会	案内所	253	⑨鯨道	高知県四万十市駅前町 8-3	38-39
29	ペンションひらの	宿泊施設	254	⑨鯨道	高知県四万十市平野 4097	38-39
30	山代屋旅館	宿泊施設	301	⑪鳥坂峠	愛媛県南宇和郡愛南町 御荘平城 2270	40-41
31	愛南町内海支所 DE あい 21	案内所	302	⑪鳥坂峠	愛媛県南宇和郡愛南町 柏 390	40-41
32	宇和島市観光情報 センターシロシタ	案内所	303	⑪鳥坂峠	愛媛県宇和島市丸之内 5-1-4	43-44
33	大洲まちの駅あさも や	案内所	311	⑫岩屋寺道	愛媛県大洲市大洲 649- 1	43-44
34	ときわ旅館	宿泊施設	312	⑫岩屋寺道	愛媛県大洲市中村 629	43-44
35	古民家ゲストハウス 内子晴れ	宿泊施設	313	⑫岩屋寺道	愛媛県喜多郡内子町内 子 3025	43-44
36	いやしの宿 八丁坂	宿泊施設	321	⑬千本峠	愛媛県上浮穴郡久万高 原町 下畑野川甲 1609- 7	43-44
37	久万高原町観光協会	案内所	322	⑬千本峠	愛媛県上浮穴郡久万高 原町入野 1855-6	45-46
38	シナモンゲストハウ ス道後	宿泊施設	331	⑭仙遊寺道	愛媛県松山市道後湯之 町 4-50	51-52
39	カフェと御宿 まほろば	宿泊施設	332	⑭仙遊寺道	愛媛県松山市北条 1063-2	53-54
40	ビジネス旅館小松	宿泊施設	342	⑮佐野道	愛媛県西条市小松町新 屋敷 201	61-62
41	石鎚神社会館	宿泊施設	343	⑮佐野道	愛媛県西条市西田甲 797	63-64
42	旅館 五葉松荘	宿泊施設	345	⑮佐野道	愛媛県四国中央市土居 町上野 1480-1	64-65
43	民宿岡田	宿泊施設	346	⑮佐野道	徳島県三好市池田町佐 野牛頭 586	65-66

No.	施設名	施設区分	QR No.	QR 内容	住所	最寄札所
44	Nojima House	宿泊施設	347	⑮佐野道	香川県三豊市三野町大見甲 436-1	61-62
45	遊心庵	宿泊施設	348	⑮佐野道	香川県善通寺市善通寺町 3 丁目 3-1	61-62
46	BED N CHILL Shippoya 七宝屋	宿泊施設	402	⑯曼荼羅寺道	香川県高松市中山町 1501-9	70-71
47	善通寺宿坊いろは会館	宿泊施設	411	⑰根香寺道	愛媛県西条市西田甲 797	74-75
48	喝破道場	宿泊施設	412	⑰根香寺道	愛媛県四国中央市土居町上野 1480-1	81-82
49	ヘンロ小屋第 51 号 五色台子どもおもてなし処	遍路小屋	413	⑰根香寺道	香川県高松市中山町 1501-9	81-82
50	ゲストハウス若葉屋	宿泊施設	421	⑱大窪寺道	香川県高松市観光町 603-1	83-84
51	たいや旅館	宿泊施設	422	⑱大窪寺道	香川県さぬき市志度 547	85-86
52	宿 Inn tek-tek	宿泊施設	423	⑱大窪寺道	香川県さぬき市長尾西 979-4	87-88
53	おへんろ交流サロン	案内所	424	⑱大窪寺道	香川県さぬき市前山 936-3	87-88

【図表 3-34】 QR コード設置先分布図



## 6. 外国人モニターの採用

本事業で構築するテスト環境「①遍路道情報センター（プッシュ型情報発信体制）」及び「②独自の QR 情報システム」について、第3章2.（2）で選定した海外潜在層等から外国人モニターを募集し、実際に歩き遍路を行う際のモニタリング調査を実施する。

また、海外在住、国内外在住を問わず外国人旅行者に幅広く②のテスト環境を周知し、データ数の集積を図る。

### (1) 調査対象

- ① 完歩を目指す海外在住外国人
- ② その他四国八十八ヶ所霊場の札所に来訪する一般外国人旅行者

### (2) 調査目的

「①遍路道情報センター（プッシュ型情報発信体制）」及び「②独自の QR 情報システム」について評価する。

評価項目	内容
①遍路道情報センター（プッシュ型情報発信体制）	メールマガジンによる誘客から旅ナカでの情報提供までのワンストップ対応
②QR 情報システム	QR コード読み取りによる登録制度（Check-In/Out）で提供する Web サポート等を通じた情報提供やサポート体制

### (3) 調査方法

調査対象	調査方法
① 完歩を目指す海外在住外国人	アンケート調査及び適宜インタビューを実施
② 一般外国人旅行者	QR 情報システムの利用件数や QR コードの読み取り件数など、データ数の確保を目的とする。コンタクトが取れた場合はアンケートやインタビューを実施

### (4) 外国人モニターの募集と採用

海外潜在層に提供するワンストップサービスの初期段階として、メールマガジン配信先の海外在住外国人 353 名に対し、プッシュ型による旅マエ情報等の発信及び外国人モニターの募集（誘客）を実施した。募集人数 20 名に対し 48 名から応募があり、図表 3-35 の方針に基づき外国人モニター 25 名を採用することとした。

なお、メールマガジン配信先ではないが、Check-In 拠点（Hostel PAQ）に掲示の QR コードを通じて Check-In 登録した外国人のなかから外国人モニター採用基準に照らし、1 名追加し、外国人モニターは計 26 名となった。

【図表 3-35】調査（モニタリング）の対象・内容・方法

項目	外国人モニター	一般の外国人旅行者
目的	テスト環境①②の有用性調査	テスト環境②のデータ数確保
対象	メールマガジン購読者で、本年9月～11月頃に四国を訪れ、歩き遍路を行う予定の海外在住の外国人	外国人モニター以外の外国人旅行者。居住地は不問
実施期間	6月～11月頃	9月頃～11月頃
募集方法	海外潜在層へ発信するメールマガジン内でモニター募集	情報センターや事業協力者から周知し利用を促す ・ SNS、メール、掲示物等を活用 ・ 外国人旅行者が Check-In 拠点等を訪れた際に直接説明
選定方針	応募者の中から以下の基準に合致するものを優先して旅マエ段階で採用 ・ 完歩を目指している ・ スペイン巡礼路、熊野古道等について経験・知見がある ・ ライター、ブロガー等で四国遍路の情報拡散が期待できる ・ 観光事業者等で国元における四国への送客が期待できる ・ 過年度事業のモニター経験者等で、信頼関係がある	データサンプル数の確保を目的としていることから選定はせず、任意の利用とする
モニタリング内容	①プッシュ型情報発信体制…メールマガジンによる誘客から旅ナカでの情報提供までのワンストップ対応について ②独自の QR 情報システム…QR コード読み取りによる登録制度 (Check-In/Out) の利用、旅ナカで情報提供やサポート体制について	② 独自の QR 情報システム…QR コード読み取りによる登録制度 (Check-In/Out) の利用、旅ナカで情報提供やサポート体制について
調査方法	テスト環境①②についてアンケート及び聞き取りを実施	Check-In/Out 手続きを行い、コンタクトが取れた外国人旅行者については、アンケート及び聞き取りを実施

【図表 3-36】外国人モニター一覧

No	性別	国籍	居住国	職業	四国遍路 開始日
1	男性	台湾	台湾	ツアーガイド	10/23
2	男性	デンマーク	ドイツ	年金受給者	11/3
3	女性	オランダ	オランダ	精神衛生医	9/27
4	男性	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国	年金受給者	10/2
5	女性	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国	年金受給者	10/2
6	女性	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国	公務員／教師	10/23
7	女性	オランダ	オランダ	自営業／個人事業主	8/28
8	女性	ニュージーランド	ニュージーランド	年金受給者	9/2
9	男性	イギリス	フランス	広告業	9/19
10	男性	フランス	フランス	自営業／個人事業主	12/1
11	男性	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国	年金受給者	9/9
12	女性	オーストラリア	オーストラリア	退職	10/7
13	男性	ドイツ	ドイツ	写真家	11/5
14	男性	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国	年金受給者	10/11
15	男性	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国	-	9/28
16	女性	ドイツ	ドイツ	公務員／教師	10/16
17	男性	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国	年金受給者	10/1
18	男性	香港	香港	会社員	8/25
19	女性	イギリス	イギリス	-	9/19
20	男性	オーストラリア	オーストラリア	年金受給者	10/7
21	男性	ニュージーランド	ニュージーランド	研究者	11/4
22	男性	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国	自営業／個人事業主	10/7
23	男性	オーストリア	オーストリア	会社員	9/27
24	女性	オランダ	オランダ	自営業／個人事業主	9/20
25	女性	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国	会社員	9/4
26	女性	イギリス	イギリス	自営業／個人事業主	10/25

## 7. 宿泊施設・観光案内所等に対する調査協力への依頼

本事業は、四国遍路の受入環境整備に向けた調査事業であり、外国人モニターによる来訪者目線からの評価に加え、受入側からの評価も重要である。

外国人歩き遍路に日常的に対応している四国一円の宿泊施設や観光案内所等に対しても QR 情報システムの有用性及び外国人歩き遍路の接遇に関する意識調査も実施し、今後の受入環境整備の参考とする。

調査対象は、本事業における QR コードの設置に協力する宿泊施設、観光案内所等とする。

## 第4章 効果検証

### 1. 外国人モニターによる効果検証

本事業で採用した外国人モニター26名は2023年9月より順次来日して登録制度の利用を開始（Check-In 手続を実施）して歩き遍路を開始。遍路道情報センターは旅ナカにおけるWebサポートを提供しながら随時メール、メッセージなどで連絡を取り所在地の把握に努めた。外国人モニターが83番札所一宮寺を過ぎ、香川県高松市を訪れる頃に直接インタビューを実施して意見、感想などを聴取。最後にWebアンケートを実施してモニタリングを終了。

#### (1) Webサポートの稼働実績と有用性

Webサポートの稼働実績の面からその有用性を検証する。

外国人モニターから遍路道情報センターに寄せられた問い合わせ、支援要請は5ヵ月間（2023年9月～2024年1月）で延べ761件にのぼり、対応には13,840分（約230時間）を要した。その中でも「宿泊」に関する問い合わせが199件と最も多く対応に3,560分（17.8分/件）を要した。また、「緊急・トラブル」に関しては31件と少なかったが1件あたりの対応に約42分を必要とした。

この稼働実績からは、Webサポートは外国人モニターが旅ナカで課題解決を図るうえで有用だったと評価できる。

【図表 4-1】 Webサポートの稼働実績

		宿泊	行程 相談	近隣 観光	緊急・ トラブ ル	道案内	食事	トイレ 休憩所 善根宿	その他 の情報 ※	合計
2023年 9月	件数	40	44	20	8	10	11	11	77	221
	時間	670	680	270	120	120	200	180	1,240	3,480
10月	件数	85	46	42	8	18	9	4	64	276
	時間	1,570	770	600	740	260	100	40	970	5,050
11月	件数	57	30	25	11	8	9	8	35	183
	時間	1,010	590	470	390	130	170	80	950	3,790
12月	件数	17	12	6	4	5	2	8	18	72
	時間	310	200	110	50	90	30	90	500	1,380
2024年 1月	件数	0	7	1	0	0	0	0	1	9
	時間	0	100	20	0	0	0	0	20	140
合計	件数	199	139	94	31	41	31	31	195	761
	時間	3,560	2,340	1,470	1,300	600	500	390	3,680	13,840

時間の単位：分 ※その他の情報…習慣やマナー、健康、装備、ウェアの紹介を含む様々な問い合わせ

## 「宿泊」に関する問い合わせ

「宿泊」に関する問い合わせが 199 件と最も多く対応に 3,560 分（17.8 分/件）を要した。事前調査で把握したとおり宿泊施設は不足しており、特に歩き遍路にとって気候が適していると考えられる 10 月には外国人歩き遍路が自分自身で予約することが困難であった。このような中、Web サポートは外国人モニターからの感情的な意見、感想も受けとめながらの支援活動となった。

### Web サポート事例①（一部抜粋して翻訳 以下同）

外国人モニターK氏からのメール
宿泊予約、助けてくれてありがとうね。 教えてくれた宿はかなり良かったよ！ それと、日曜夜の 37 番の宿坊予約もありがとうね。 足が痛いけど、休んだり、1 日の距離を短くすると、ちょっとマシだよ。
遍路道情報センターからのメール
足の具合はどう？まだ痛いかな？ お大事にね。 22 日の日曜の夜、37 番札所・岩本寺の予約（1 泊 2 食付き）が取れたよ。それでは、よい夜を！

### ②「緊急・トラブル」の支援要請

「緊急・トラブル」の支援要請は 31 件寄せられた。件数は少ないが体調悪化、病気など現地医療機関との連携を要する場合もあり、対応に 1,300 分（41.9 分/件）を要した。日常会話であれば翻訳機、翻訳アプリが機能するが、緊急・トラブルの際には細部のニュアンスが伝わる英会話コミュニケーションが必須であり、Web サポートの支援が必要とされた。

### Web サポート事例②

外国人モニターJ氏からのメール
どういうわけか股関節を痛めてしまい、ここ 10 年以上で、最悪の痛みなんだ。 救急車を呼んでほしい。 昨日、病院の ER で医師に相談にのるよう懇願したんだけど「申し訳ない」と言うばかりなんだ。今日中に治らなかったら、大阪にある米国領事館にも助けを求めなければならないな。この 96 時間のうち 4 時間しか眠れてないんだ…。
遍路道情報センターの対応
本人と病院、ソーシャルワーカー、米国領事館、宿泊ホテルの間に遍路道情報センターが入り、電話で通訳と事情説明を行なった。 ・ ホテル・救急車を呼ぶよう依頼、宿泊費や荷物預かりについて交渉



- ・ 病院とソーシャルワーカー…病状と医療費支払い等の説明
- ・ 米国領事館…状況説明と援護依頼
- ・ 本人は約 1 週間の入院で回復し、四国遍路を続行。遍路道情報センターのサポートに感謝して帰国した

③緊急情報の発信（プッシュ型情報発信）

自然災害（台風、地震、山火事など）の情報は外国人歩き遍路には伝わりにくいと考えられることから、モニタリング期間中に発生した自然災害などについては、外国人モニターに対し随時プッシュ型情報発信として情報提供した。

Web サポート事例③

遍路道情報センターよりメールを一斉発信

四国遍路を歩いている方にお知らせです。

11月1日に愛媛県大洲市で発生した山火事は、2日の朝も延焼を続けています。現場は山の頂上付近で、地上からの消火は難しいようです。そこで自衛隊などはヘリコプターを出動させ、上空から放水することにしました。

※Teller Report In English NHK In Japanese  
<https://www.tellerreport.com/life/2023-11-01>…(日英のニュースサイトの URL)

最寄りの札所は、43 番札所明石寺、別格霊場 7 番札所出石寺です。

大洲市の遍路宿、ときわ旅館のご主人藤江さんによると、今のところ遍路道には問題はないようですが、「歩くときは注意してほしい」とのことです。

また詳細がわかり次第、追ってお知らせします。

2. 外国人モニター等に対するアンケート調査結果

(1) 外国人モニターの属性

採用した外国人モニター26 人に対し、2023 年 8 月 30 日（火）～11 月 7 日（月）に Web アンケートを行い外国人モニターの属性を把握した。（n=26）

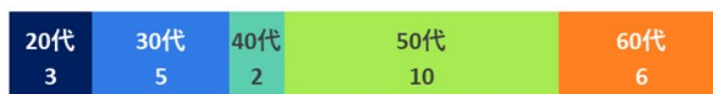
性別：男性 15 人、女性 11 人と男性が多い。

【図表 4-2】外国人モニターの性別（n=26 以下同）



年代：年齢層では「50 代」が最多となっており次いで「60 代」が多い。

【図表 4-3】外国人モニターの年代



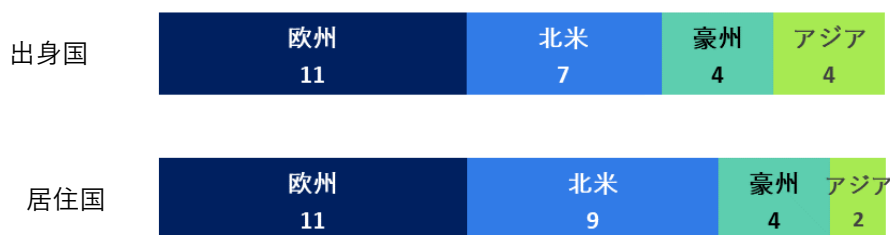
職業：「退職者」が最多となっており、時間的制約が低い「フリー・自営業」が多い。

【図表 4-4】外国人モニターの職業



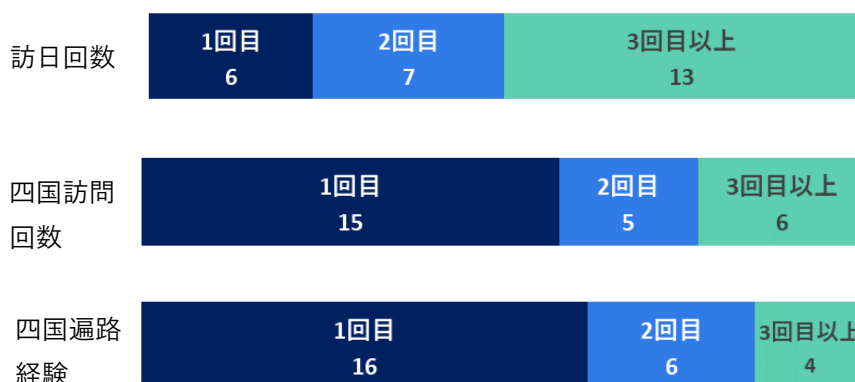
出身国・居住国：「欧州」が最も多く、次いで「北米」が多い。メールマガジンの新規配信先では台湾人を主とする「アジア」が最も多かったが、外国人モニターとしての採用は少なかった。欧米諸国に比べアジア諸国は長期休暇を取得しにくいことが理由として考えられる。

【図表 4-5】外国人モニターの出身国、居住国



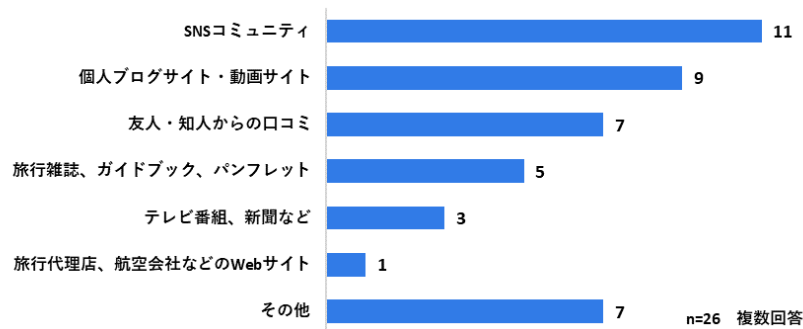
訪日回数等：「3 回以上」が最も多く、「1 回目」は最も少なかったが、四国訪問回数及び四国遍路経験では「1 回目」が最も多かった。

【図表 4-6】外国人モニターの訪日回数、四国訪問回数、四国遍路経験（今回含む）



四国遍路を知ったきっかけ：「SNS コミュニティ」が最も多く、「個人ブログサイト・動画サイト」、「友人、知人からの口コミ」が後に続く。一方、「テレビ番組、新聞など」「旅行代理店、航空会社などの Web サイト」といった商業プロモーションをきっかけとする回答は少数であった。

【図表 4-7】外国人モニターが四国遍路を知ったきっかけ



## (2) 一般外国人旅行者の属性

一般外国人旅行者 86 名が、Check-In 拠点を訪れた際に登録制度について知り、Check-In 手続きを実施してアンケートに回答した。

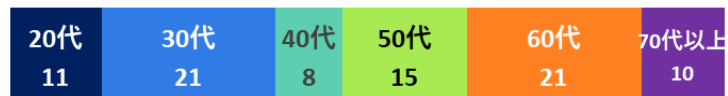
性別：男性 43 名、女性 42 名（回答なし 1 名）と、概ね均等に分布している。

【図表 4-8】一般外国人旅行者の性別（n=86 以下同）



年代：各年代がおおむね均等に分布している。

【図表 4-9】一般外国人旅行者の年代



職業：「退職者」が最多となり次いで「会社員」、「フリー自営業」が後に続く。

【図表 4-10】一般外国人旅行者の職業



出身国・居住国：いずれも「欧州」が最も多く、次いで「北米」が多い。

【図表 4-11】一般外国人旅行者の出身国



【図表 4-12】一般外国人旅行者の居住国



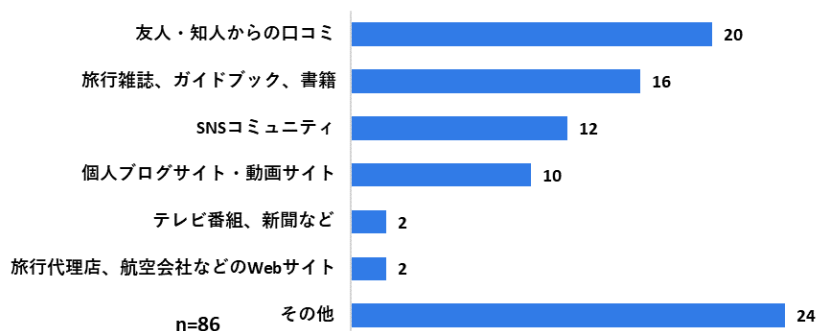
四国遍路の経験：「1回目」が最も多く、「2回目」、「3回目」は少数であった。

【図表 4-13】一般外国人旅行者の四国遍路経験



四国遍路を知ったきっかけ：「友人・知人からの口コミ」が最も多い。「旅行雑誌、ガイドブック、書籍」が後に続く。「SNSコミュニティ」は3位にとどまり、外国人モニターとは傾向が異なった。「友人・知人からの口コミ」から四国遍路を知り、「1回目」の来訪者は旅マエ情報が不足していると推察される。

【図表 4-14】一般外国人旅行者の四国遍路を知ったきっかけ



(3) 外国人モニターによるテスト環境の評価

外国人モニターに対するアンケート調査項目については以下の通り設定し、モニタリングの開始前と終了後に Web アンケートを実施した (n=26)。

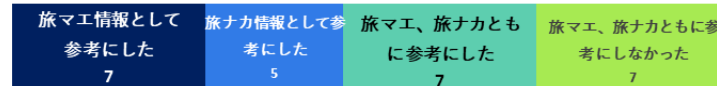
【図表 4-15】外国人モニターに対するアンケート内容

分野	質問項目	実施時期
①プッシュ型情報配信体制の構築	a) メールマガジンの有用性	開始前・ 終了後
	b) 参考になったメールマガジンの記事	終了後
	c) Web サイト項目毎の有用性	開始前・ 終了後
	d) 遍路道情報センターが強化すべき情報提供、サポート	終了後
	e) 遍路道情報センターが追加すべき機能	終了後
	f) 遍路道情報センターの担当者の対応	終了後
	g) 遍路道情報センターの必要性	終了後
②独自の QR 情報システムの開発と運用	a) Check-In 手続き実施場所	終了後
	b) Check-In 手続きの円滑性	終了後
	c) QR コードでの札所情報閲覧状況	終了後
	d) QR コード情報の評価	終了後
③旅程	a) 公共交通機関の利用度	終了後
	b) 札所への立ち寄り度	終了後
	c) 四国遍路所要日数	終了後
	d) 今回の旅の日本滞在期間	終了後
	e) 四国遍路に要した総費用	終了後
④四国遍路の感想	a) 四国遍路への期待度	開始時
	b) 四国遍路の満足度	終了後
	c) 再訪目的	終了後
	d) サポート施設の有用度	終了後
	e) 旅ナカで最も重要性を感じた情報	終了後
⑤自己変革	a) 生き方に影響した出来事	終了後
	b) 出来事が動機になったか	終了後
	c) 自己変革を感じるか	終了後
	d) この経験を人に伝えたいか	終了後

①プッシュ型情報配信体制の構築についての評価

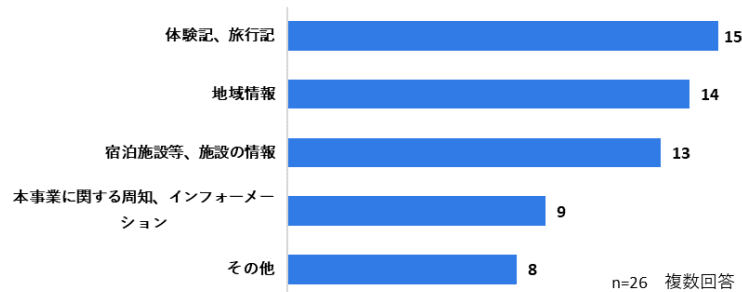
a) メールマガジンの有用性：評価が分かれたが、19名の外国人モニターが旅マエ、旅ナカのいずれかまたはその両方で参考にしたと答えた。

【図表 4-16】メールマガジンの有用性 (n=26 以下同)



b) 参考になったメールマガジンの記事：評価が分かれ、15名が「体験記、旅行記」、14名が「地域情報」、続いて13名が「宿泊施設等、施設の情報」と答えた。

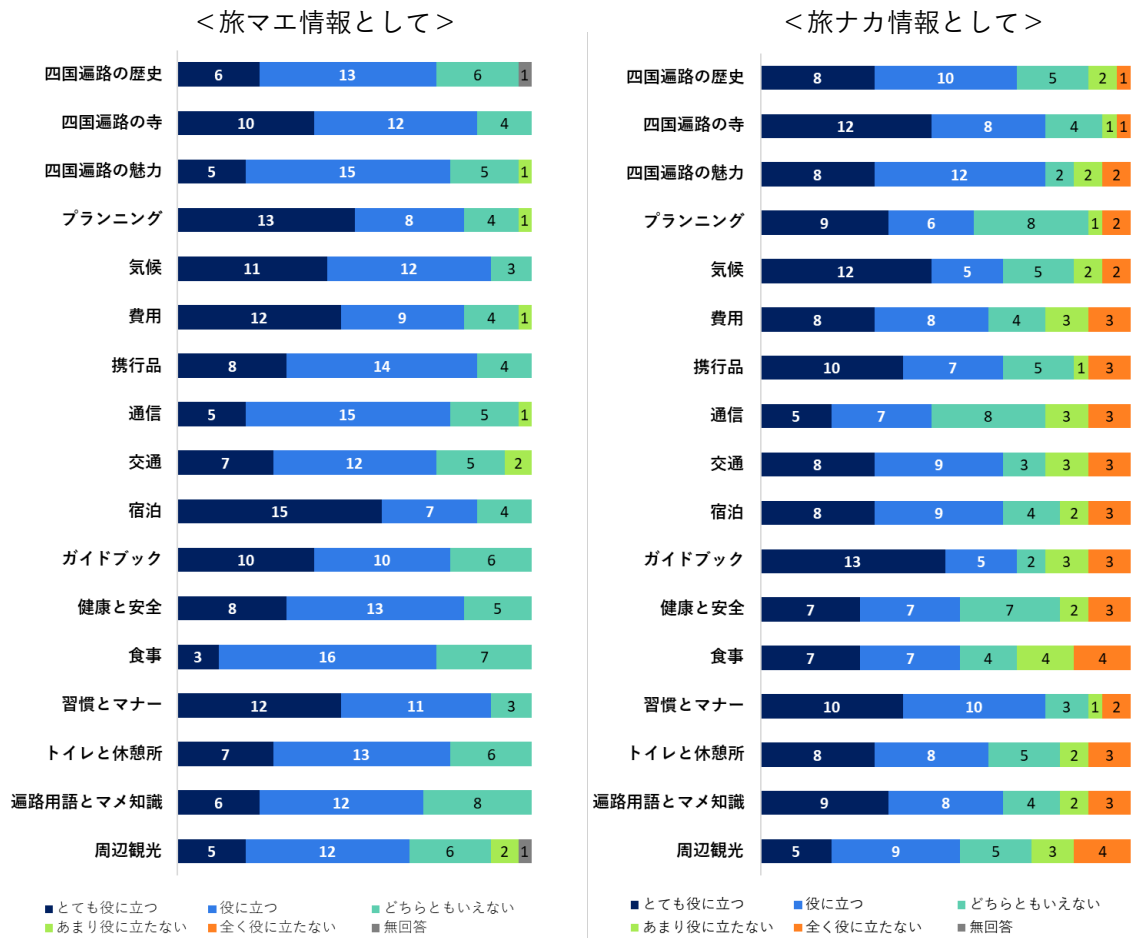
【図表 4-17】参考になったメールマガジンの記事



c) Web サイト項目毎の有用性：モニタリングの開始前に旅マエ情報としての評価を尋ね、終了後に旅ナカ情報としての評価を尋ねた。

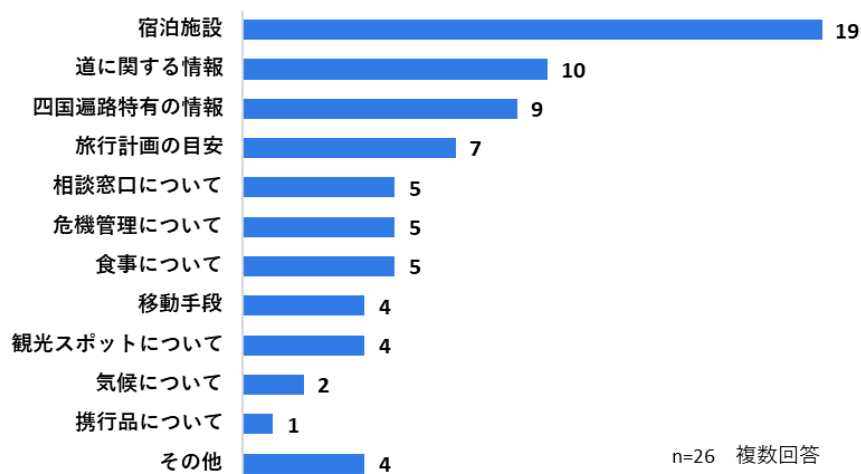
旅マエ情報としては評価があったものの、旅ナカ情報としてはいずれの項目も「全く役に立たない」との評価も散見された。旅ナカで遭遇する様々な出来事に対し、更新頻度の低い Web サイトの情報では対応できなかったと考えられる。

【図表 4-18】 ウェブサイト項目毎役立ち度・事前



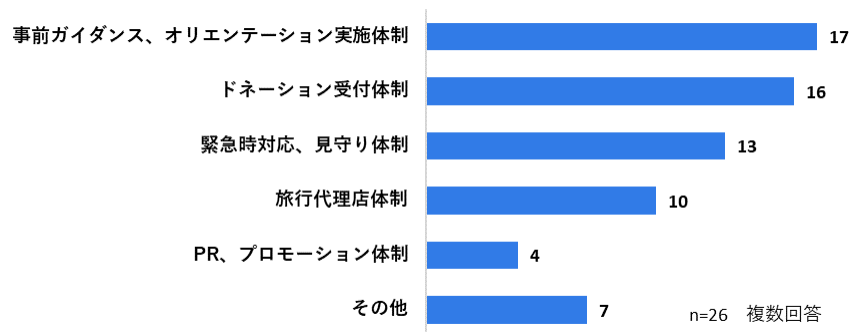
d) 遍路道情報センターが強化すべき情報提供、サポート：19名が「宿泊施設」と答え最も多く、続いて10名が「道に関する情報」と答えた。

【図表 4-19】 遍路情報センターが優先して強化すべき情報提供、サポート



e) 遍路情報センターが追加すべき機能：17名が「事前ガイダンス、オリエンテーション実施体制」と答えており、現地でなければ入手できない旅マエ情報提供の必要性が窺える。13名が「緊急時対応、見守り体制」と答えており、医療機関や行政機関と連携した Web サポートの必要性が窺える。16名が「ドネーション受付体制」と答えているが、その厚意を無駄にしないための責任ある組織体制が必要だと考えられる。

【図表 4-20】 遍路情報センターが追加すべき機能



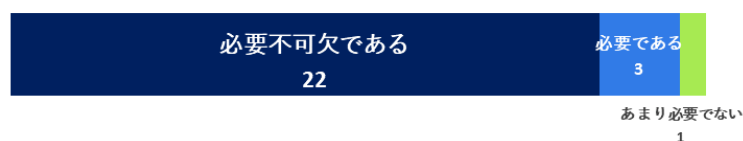
f) 遍路道情報センターの担当者の対応：19名が「とてもよい」、4名が「よい」と答え好評価であった。

【図表 4-21】 遍路道情報センターの担当者の対応



g) 遍路道情報センターの必要性：22名が「必要不可欠」、3名が「必要」と答え、好評価であった。

【図表 4-22】 遍路道情報センターの必要性



## ②独自の QR 情報システムについての評価

a) Check-In 手続き実施場所：10名が「門前一番街」と答え最も多く、その他は少数であった。多くの歩き遍路が起点とする1番札所霊山寺門前に位置することから、外国人モニターが多くが Check-In を行うにふさわしい場所だと考えた可能性がある。将来的な構想として四国遍路専門のインフォメーションセンターの設立を計画する場合、当地が最善の立地と考えられる。



【図表 4-23】 Check-In 手続きを実施した場所



b) Check-In 手続きの円滑性：18 名が「スムーズにできた」と答えた。Check-In 拠点担当者の理解と協力によるものと推察される。

【図表 4-24】 Check-In 手続きはスムーズにできたか



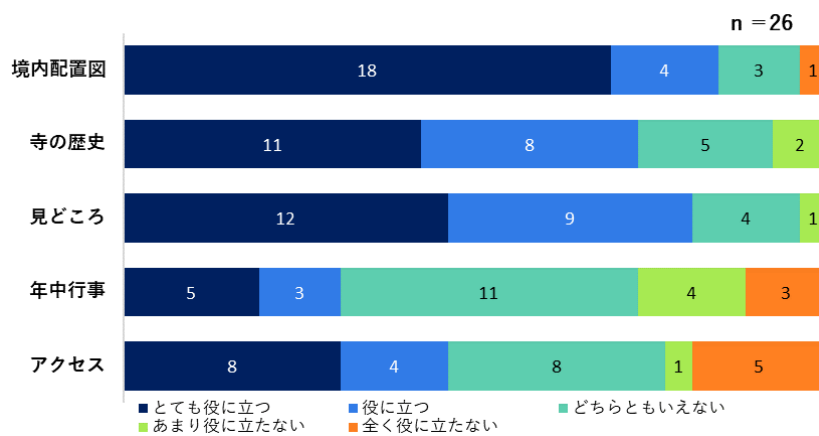
c) QR コードでの札所情報閲覧状況：15 名が「できるだけ閲覧した」、6 名が「時々閲覧した」と答えた。本事業の外国人モニターには旅マエ段階から事業主旨を説明し可能な限りの閲覧を依頼していたが「見つからなかった」との声も聞かれており、掲示場所、位置等については改善の余地が大きいと考えられる。

【図表 4-25】 QR コードで札所情報を閲覧したか



d) QR コード情報の評価：「境内配置図」の評価が最も高く、18 名が「とても役に立つ」4 名が「役に立つ」と答えた。その他「見どころ」「寺の歴史」の評価が高い。「境内配置図」については、令和 4 年度事業で実施したアンケートからも必要との意見が多く本事業でも同様の結果となった。

【図表 4-26】 QR コードの情報の評価



③旅程

a)公共交通機関の利用度：18名が「歩きと公共交通機関を併用」と答え、「全て歩いた」は3名であった。

【図表 4-27】公共交通機関の利用度



b) 札所への立ち寄り度：21名が「ほとんどの札所に立ち寄った」と答えており、外国人歩き遍路の多くが札所への立ち寄りを重視していることが窺える。

【図表 4-28】札所への立ち寄り度



c) 四国遍路所要日数：18名が「40日以上」と答えたが、2名が「20日未満」であった。

旅マエには完歩を目指す意向であっても、柔軟に公共交通機関を利用する場合や日程を短縮する場合があることが確認された。旅ナカでの諸事情により行程が変わったと推察される。

【図表 4-29】四国遍路の所要日数



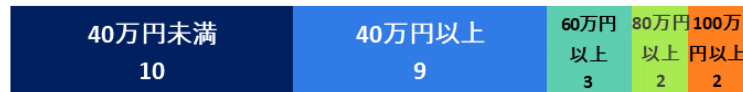
d) 今回の旅の日本滞在期間では、12名が「2ヵ月以上3ヵ月未満」、10名が「1ヵ月以上2ヵ月未満」と答えている。外国人歩き遍路は、四国島内でも一定期間滞在し、各地札所を巡り、相応の旅行消費を行うが、四国遍路のないその他の地域も訪れると言える。四国遍路の受入環境整備を進めることで、四国島内での滞在期間や旅行消費額を引き上げることは十分可能だと考えられる。

【図表 4-30】今回の旅行の日本滞在期間



e) 四国遍路に要した費用：10名が「40万円未満」と答えたが、9名が「40万円以上」と答え、続いて3名が「60万円以上」となり「80万円以上」「100万円以上」もそれぞれ2名が答えている。

【図表 4-31】 四国遍路に要した費用

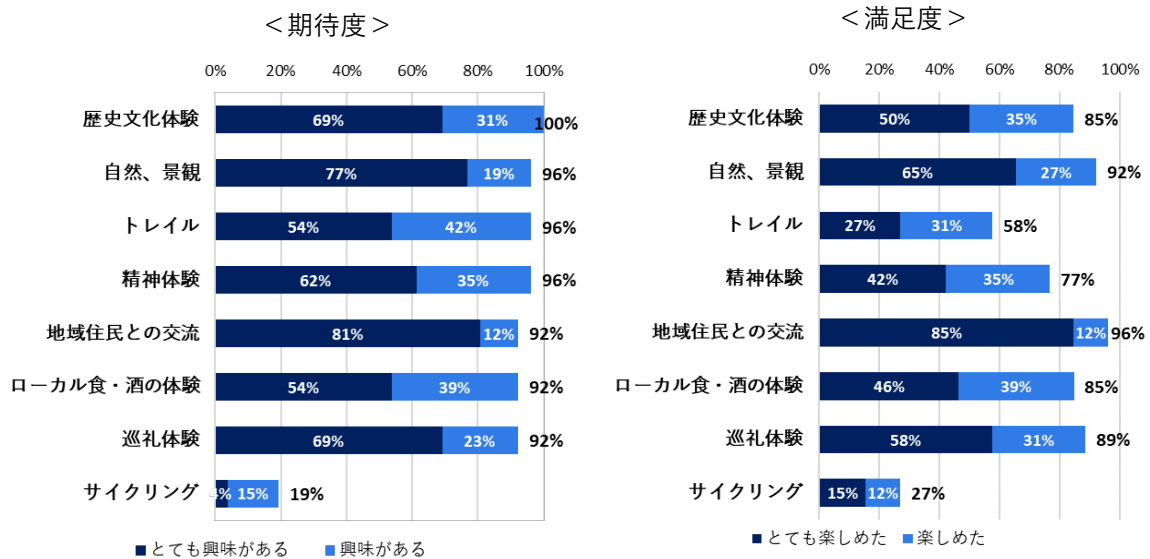


④四国遍路の感想

a)四国遍路への期待度、b)四国遍路の満足度

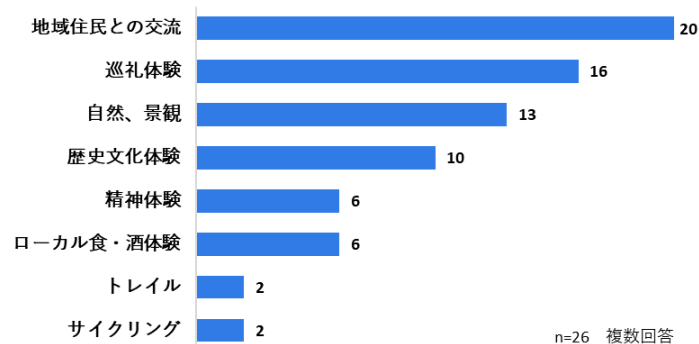
モニター開始前のアンケートで「四国遍路への期待度」、終了後には「四国遍路の満足度」について尋ね、両者を比較したところ、ほとんどの項目で「満足度」が「期待度」を下回った。旅ナカでの宿泊施設不足が満足度を引き下げた可能性がある。一方、「地域住民との交流」については「満足度」が「期待度」を上回った。

【図表 4-32】 四国遍路への期待度と満足度



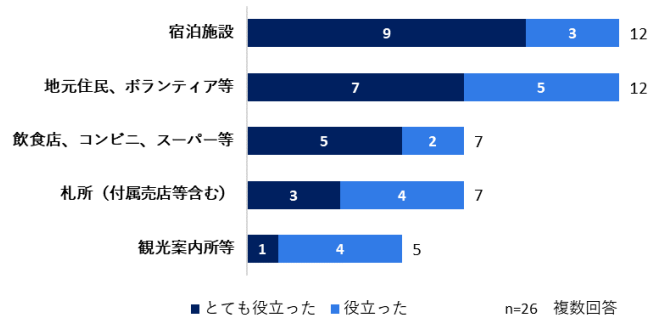
c)再訪目的：四国遍路を再訪するとしたらその目的は何かと尋ねたところ、20名が「地域住民との交流」と答え、次いで16名が「巡礼体験」と答えた。

【図表 4-33】 四国遍路の再訪目的



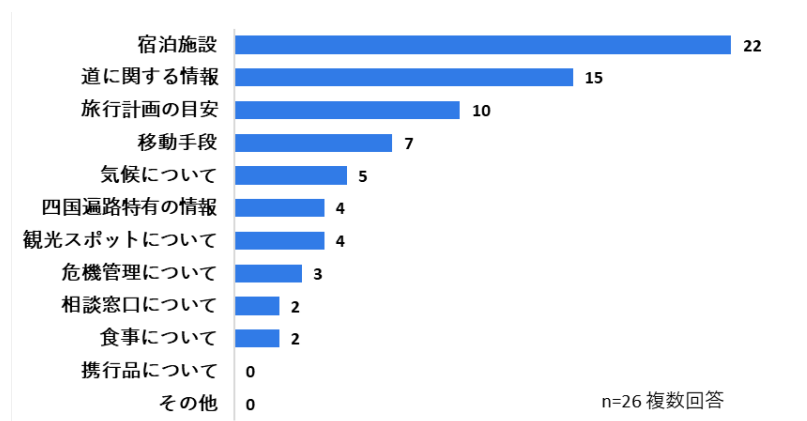
d) サポート施設の有用度：旅ナカでサポートを必要としたとき役に立った施設を尋ねたところ、12名が「宿泊施設」と「地元住民、ボランティア等」と答えた。

【図表 4-34】 サポート施設の有用度



e) 旅ナカで重要だった情報提供：旅ナカで受けた情報提供で最も重要だった項目を尋ねたところ、22名が「宿泊施設」と答え最も多く、次いで15名が「道に関する情報」と答えた。

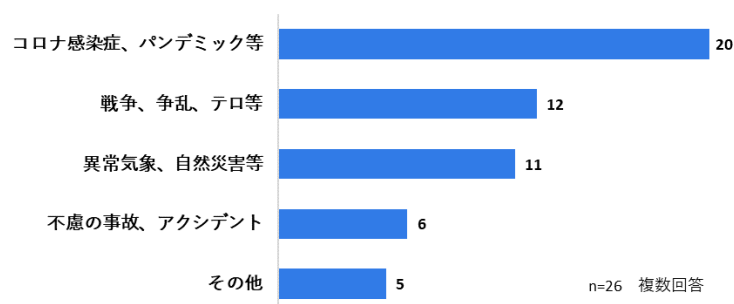
【図表 4-35】 施設で受けたサポート内容



### ⑤自己変革

a) 生き方に影響した出来事：意識や生き方に影響を与えた近年の出来事を訪ねたところ、20名が「コロナ感染症、パンデミック等」と答えた。

【図表 4-36】



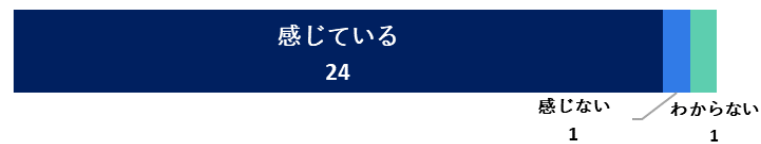
b)出来事が動機になったか：前出の出来事が四国遍路へ行く動機になったかを尋ねたところ、半数の13名が動機になったと「思う」と答えた。

【図表 4-37】



c)自己変革を感じるか：四国遍路を体験した後に自分が変わったと感じるかを尋ねたところ、24名が「感じている」と答えた。

【図表 4-38】



d)この経験を人に伝えたいか：四国遍路の経験を人に伝えたいと感じるかを尋ねたところ、全員が「思う」と答えた。

【図表 4-39】



### 3. 宿泊施設・観光案内所等に対するアンケート調査結果

宿泊施設・観光案内所等に対するアンケート調査項目については以下の通り設定し、2023年12月12日（火）～2024年1月6日（土）にWebアンケートを実施した。宿泊施設39件、観光案内所17件から回答を得た。

【図表 4-40】 宿泊施設に対するアンケート内容

分野	質問項目
①属性	施設形態
	業歴
	経営者年代
	宿泊施設経営の経緯
②外国人歩き遍路対応	宿泊者全体における外国人歩き遍路の割合
	外国人歩き遍路からよく聞かれること
	外国人歩き遍路に対し旅マエにガイドンスしておくべきこと
③その他	自由意見

【図表 4-41】 観光案内所等に対するアンケート内容

大項目	中項目
①属性	施設形態
	回答者の勤務・担当歴
	回答者の年代
	回答者の役割・立場
②外国人歩き遍路対応	来訪者全体における外国人歩き遍路の割合
	外国人歩き遍路からよく聞かれること
	外国人歩き遍路に対し旅マエにガイドンスしておくべきこと
③その他	自由意見

#### (1) 宿泊施設からの回答

##### ①属性

施設形態：旅館・民宿・ゲストハウスからバランスよく回答を得ることができた。

【図表 4-42】 宿泊施設の属性（n=39 以下同）



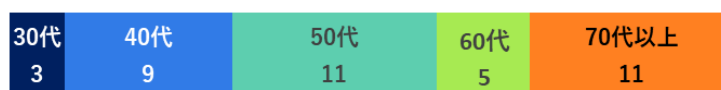
業歴：20年超が18軒、10年超が4軒と業歴が長い施設がやや多い。

【図表 4-43】 宿泊施設の業歴



経営者の年代：70代以上が11軒、60代以上が5軒あり、合わせて4割を占める。

【図表 4-44】 宿泊施設の経営者の年代



宿泊施設経営の経緯：「現経営者が創業」が18軒、親族から継承が11軒となっている。家族、親族が中心となって経営する小規模な施設が多いと窺える。

【図表 4-45】 宿泊施設の経営の経緯



## ②外国人歩き遍路対応

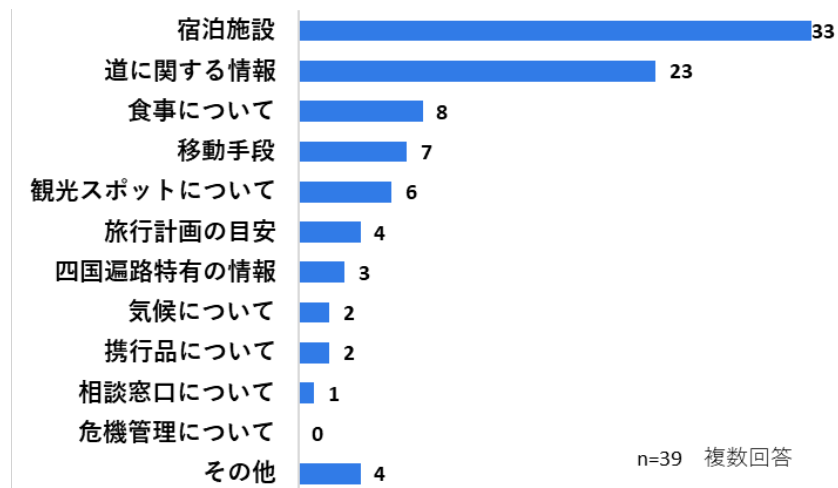
宿泊者全体における外国人歩き遍路の割合：「20%以内」が最も多く23軒、次いで「60%以内」が9軒となっており「80%超」と答えた施設が1軒となり、外国人歩き遍路の受入に積極的と思われる施設の存在が確認された。

【図表 4-46】 宿泊施設の外国人歩き遍路の割合



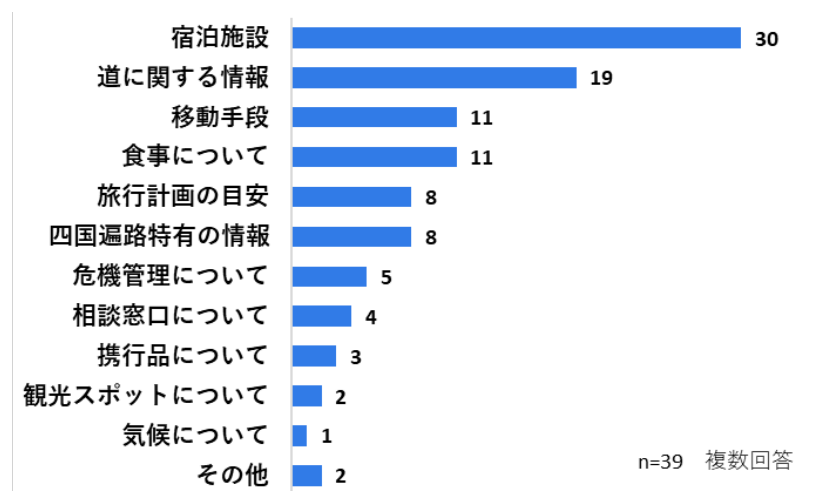
外国人歩き遍路からよく聞かれること：33軒が「宿泊施設」と答え、続いて23軒が「道に関する情報」、8軒が「食事」と答えた。「観光スポットについて」は6軒にとどまり、外国人歩き遍路にとっての重要事項は先行きの宿泊施設や道の情報であり、有益な情報提供のためにその役割を宿泊施設が担っていることが推察される。

【図表 4-47】 宿泊施設の外国人歩き遍路からよく聞かれること



外国人歩き遍路に対し旅マエにガイダンスしておくべきこと；30軒が「宿泊施設」と最も多く、次いで19軒が「道に関する情報」と答えており、宿泊施設経営者の個々の努力では対応が難しい状況が窺える。

【図表 4-48】 宿泊施設の外国人歩き遍路に対し旅マエにガイダンスしておくべきこと



## (2) 観光案内所等からの回答

### ①属性

施設形態：「観光案内所」が10軒、「道の駅」が2軒であり公的施設が多いが地域ボランティアが運営する「遍路休憩所」からの回答も2軒あった。

【図表 4-49】 観光案内所等の施設形態





回答者の勤務・担当歴：「5年以内」が8名と最も多く、「10年以内」が4名であった。

【図表 4-50】観光案内所等の回答者の勤務・担当歴



回答者の年代：幅広い年代層が観光案内所等の担当者として外国人歩き遍路に対応していることが推察される。

【図表 4-51】観光案内所等の回答者の年代



回答者の役割・立場：「従業員・担当者」が11名と最も多い。

【図表 4-52】観光案内所等の回答者の役割・立場



## ②外国人歩き遍路対応

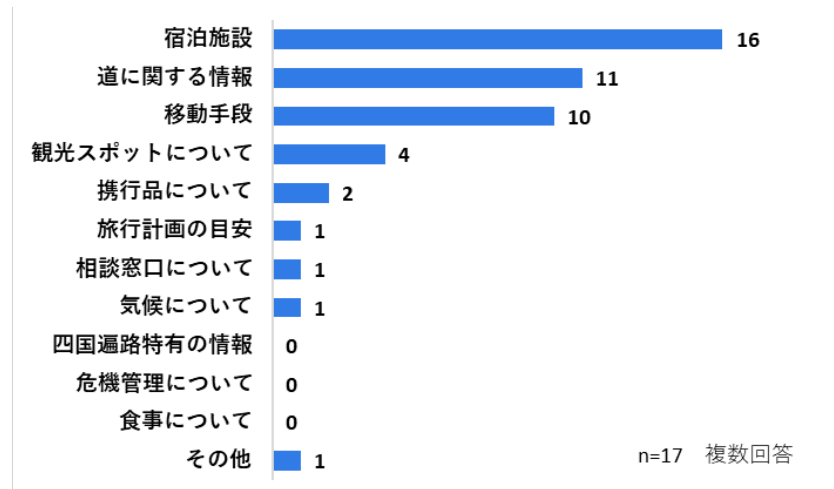
来訪者全体における外国人歩き遍路の割合：「20%以内」が13軒と最も多い。

【図表 4-53】観光案内所等の外国人歩き遍路の割合



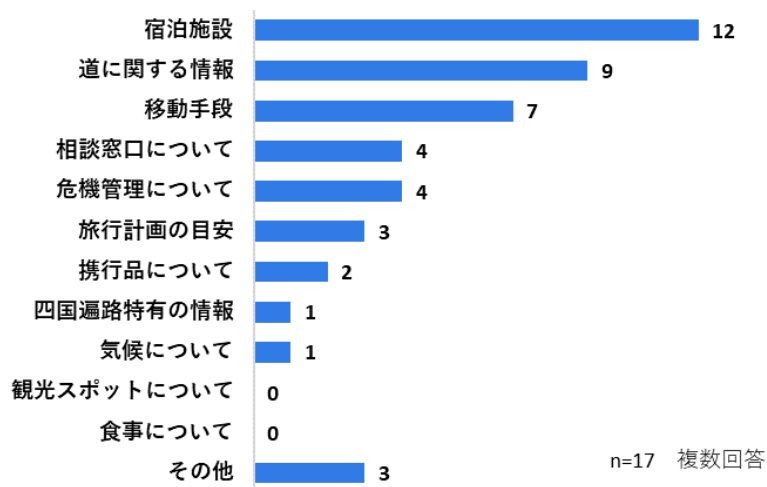
外国人歩き遍路からよく聞かれること：16軒が「宿泊施設」と答え最も多く、続いて11軒が「道に関する情報」となり宿泊施設に対するアンケート結果と同様の傾向であった。「観光スポットについて」は4軒と少数であった。

【図表 4-54】 観光案内所等の外国人歩き遍路からよく聞かれること



外国人歩き遍路に対し旅マエにガイダンスしておくべきこと：12軒が「宿泊施設」と答え最も多く、9軒が「道に関する情報」と答えた。宿泊施設に対するアンケート結果と同様の傾向であった。

【図表 4-55】 観光案内所等の外国人歩き遍路に対し旅マエにガイダンスしておくべきこと



#### 4. QR 情報システムによる収集データの分析と可視化

本章では、本事業で開発する QR 情報システムを通じて、四国遍路を回遊する外国人旅行者の位置情報や属性情報の収集、分析を行い、その可視化方法を明確化する。収集方法の妥当性、分析・可視化の有用性について専門家や有識者を交えて評価、検証した。

(1) ダウンロードデータの概要

QR 情報システムのアクセス履歴のダウンロード機能により、QR 情報システム Web ページへのアクセスデータを CSV ファイル形式でダウンロードすることが可能であり、図表 4-55 のデータを取得できる。

【図表 4-56】 ダウンロードした CSV ファイル形式データの構造

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
UID	札所番号	閲覧したお寺/施設	日時	言語	緯度	経度	リファラー
b4a00a83b47c5bc23ce3a65c58b9f28913b696bb	31	竹林寺	2023/10/16 11:46	zh-TW	33.545989	133.57706	android-app://jp.naver.line.android/
df09d42ef517c662d12056ddcd5485f25aad951f	37	岩本寺	2023/10/16 11:50	en-GB	33.208382	133.13471	
7b9179856c1fb9fd4d180998a40fe5e3c4569202	11	藤井寺	2023/10/16 11:52	en-GB	34.053113	134.35035	
caac6ad4ab2f8f4c1ae604321bc94183629cc7f9	18	恩山寺	2023/10/16 11:58	ja	34.085456	134.48538	
1c595e5c13cdc7939f26968fd21ab26a44b04e22	53	圓明寺	2023/10/16 12:08	en-US			
5496b7880c0ffaca0ac92fd9bb7d2fe929283c6e	29	国分寺	2023/10/16 12:10	en-US	33.598767	133.6406	
1f2b3a439210939422ed9503db3f90a17bdbfab9	50	繁多寺	2023/10/16 12:15	ja	33.80804	132.83303	https://www.88temples.info/
d23aa8aeeb6bcb73d1d84e03c1d20d2495e682ad	4	大日寺	2023/10/16 12:16	en-US	34.151619	134.43076	
d9adb4e690ed550df5468b228aa6042a3ab4d58c	45	岩屋寺	2023/10/16 12:18	de-DE	33.658824	132.98116	

■用語説明

データ表記	データ内容
①UID	アクセスした情報端末を識別する番号
②札所番号/施設番号	QR コードを掲示している札所番号/施設番号
③閲覧したお寺/施設	QR コードを掲示している札所名/施設名
④日時	アクセスした日時データ。日時分秒まで還元される。
⑤表示言語	アクセスした情報端末に表示された言語と端末に設定している言語種類（en-GB の場合、端末表示は英語で設定言語はイギリス英語） 情報端末の言語に設定された世界各国、各地域の言語が還元されており出身国、居住国の推定も可能と考えられる。
⑥緯度⑦経度	アクセス時の位置 位置情報取得を「許可」と設定した場合のみ取得可能
⑧リファラー	閲覧 Web ページの直前に閲覧していた Web ページ情報

## (2) ダウンロードデータの利活用

### ①ダウンロードデータの取得・データクレンジング

2023年9月1日から2024年2月22日までの調査対象期間において、QR情報システムからダウンロードしたCSVデータを使用して、データクレンジングを行ったうえでデータの分析を実施した。

CSV元データから、同期間におけるPV数は20,158件であることが判明した。内、日本語使用者と関係者を除くPV数は12,557件で、UID数は3,311名であった。この結果を用いて分析する。

なお、短時間の間に数十回の閲覧を繰り返すユーザーの存在が確認されており、クレンジングのルールをどのように設定するかが今後の課題となる。

【図表 4-57】データクレンジング後のPVデータ（サンプル）

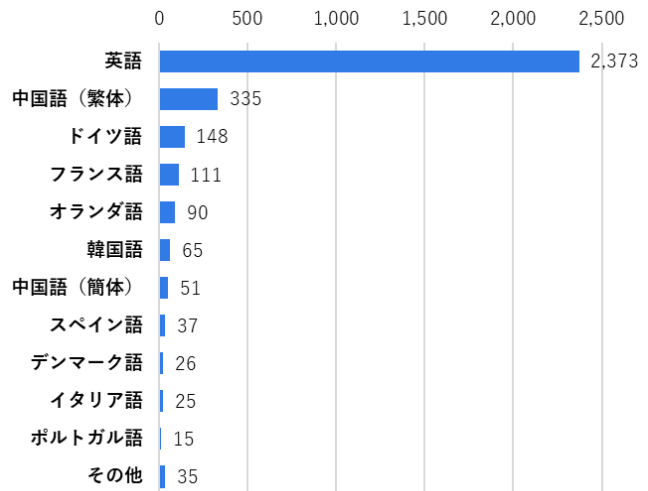
ID	住所番号	閲覧した日	日時	言語	緯度	経度	リファラー
75a1641f-1bec-4223-8415-58361d30583e	51	石手寺	2023/9/1 6:06	ja	33.84671	132.7966	
63ffcb9-68a0-4e18-a306-f873718dbd9d	45	岩屋寺	2023/9/1 9:00	en-US			
169e6371-c00a-4be3-8df1-01fda803f3af	51	石手寺	2023/9/1 9:32	ja			
912bb20a-b1da-4d16-8428-d56b3528ca0a	4	大日寺	2023/9/1 9:51	ja	34.15156	134.4307	
169e6371-c00a-4be3-8df1-01fda803f3af	51	石手寺	2023/9/1 9:59	ja			
169e6371-c00a-4be3-8df1-01fda803f3af	51	石手寺	2023/9/1 10:00	ja			
46e1260a-0e4d-4940-b4e1-013f67bbfe00	2	極楽寺	2023/9/1 10:25	en-GB			
9f3abbd7-d3d8-4aff-816b-7681b656d09b	77	道隆寺	2023/9/1 11:32	ja	34.27665	133.7627	
316a5dac-f345-447d-bff5-ada4a2bad53	54	延命寺	2023/9/1 12:34	ja-JP			
ccaf640d-908e-4dd5-9d19-a3eb036ddf89	4	大日寺	2023/9/1 13:38	ja			
22078580-8da5-4d68-ad85-0680c76213a2	4	大日寺	2023/9/1 13:51	ja			
15ba6ca3-a23d-48d4-b38c-8f6e32eedb01	84	屋島寺	2023/9/1 15:29	ja			
82769142-93bd-4e32-964a-85d9a6cb6168	25	津照寺	2023/9/1 15:43	ja			
32ff1194-d261-48d1-a3b1-b531527150e3	86	志度寺	2023/9/1 16:10	ja			
25d8fe5c-5424-4dc0-8c50-9623e14a9d14	86	志度寺	2023/9/1 16:10	en-AU	34.32357	134.1795	
25d8fe5c-5424-4dc0-8c50-9623e14a9d14	86	志度寺	2023/9/1 16:11	en-AU	34.32357	134.1795	
25d8fe5c-5424-4dc0-8c50-9623e14a9d14	86	志度寺	2023/9/1 16:11	en-AU	34.32357	134.1795	
32ff1194-d261-48d1-a3b1-b531527150e3	86	志度寺	2023/9/1 16:11	ja			
25d8fe5c-5424-4dc0-8c50-9623e14a9d14	86	志度寺	2023/9/1 16:11	en-AU	34.32357	134.1795	
25d8fe5c-5424-4dc0-8c50-9623e14a9d14	85	八栗寺	2023/9/1 16:11	en-AU	34.32357	134.1795	
aa192e90-9aef-45f2-98c3-fbafc15cee26	25	津照寺	2023/9/1 16:17	ja-JP			
a1ba5c8e-cc40-405d-86cc-37945c42b444	51	石手寺	2023/9/1 18:28	en-AU	33.84712	132.7967	
169e6371-c00a-4be3-8df1-01fda803f3af	51	石手寺	2023/9/2 6:09	ja			
169e6371-c00a-4be3-8df1-01fda803f3af	51	石手寺	2023/9/2 6:49	ja			
b116a65f-deb2-4d96-ad7d-f29e7d34c3a	51	石手寺	2023/9/2 6:50	ja			
30383512-2430-48b9-ae53-093aadd04563	31	竹林寺	2023/9/2 8:48	ja	33.5463	133.5765	
30383512-2430-48b9-ae53-093aadd04563	31	竹林寺	2023/9/2 8:53	ja	33.54651	133.5776	
074000dc-a79b-41f2-9b41-70984829ecea	76	金倉寺	2023/9/2 9:00	en-US			
63ffcb9-68a0-4e18-a306-f873718dbd9d	32	禪師峰寺	2023/9/2 9:00	en-US			
63ffcb9-68a0-4e18-a306-f873718dbd9d	83	一宮寺	2023/9/2 9:00	en-US			
63ffcb9-68a0-4e18-a306-f873718dbd9d	64	前神寺	2023/9/2 9:00	en-US			
63ffcb9-68a0-4e18-a306-f873718dbd9d	78	郷照寺	2023/9/2 9:00	en-US			
074000dc-a79b-41f2-9b41-70984829ecea	48	西林寺	2023/9/2 9:00	en-US			
30383512-2430-48b9-ae53-093aadd04563	31	竹林寺	2023/9/2 9:00	ja	33.54815	133.578	
2e1c8119-9d9a-4c33-894a-a86efdaa371d	31	竹林寺	2023/9/2 9:20	ja	33.54631	133.5766	
cf594eab-cf43-40fc-bafc-89ea1bd1447a	51	石手寺	2023/9/2 9:55	ja	33.8474	132.7966	
1f9649c4-def8-496e-a804-218c0627a8bd	51	石手寺	2023/9/2 10:25	ja			
820f3425-9149-454c-b7cd-1a70a9d601e4	13	大日寺	2023/9/2 10:56	zh-TW			

### ②言語別ユーザー数分析

情報端末に設定されている言語別のPV数をみると、圧倒的に「英語-アメリカ合衆国」（英語表示-米国英語設定）が多い。QR情報システム構築に採用した7言語のほかに、オランダ語、デンマーク語、イタリア語が上位にみられる。

【図表 4-58】言語別閲覧者数とグラフ

言語	閲覧者数	閲覧回数
英語	2,373	6,809
中国語（繁体）	335	1,871
ドイツ語	148	1,481
フランス語	111	803
オランダ語	90	275
韓国語	65	265
中国語（簡体）	51	427
スペイン語	37	173
デンマーク語	26	121
イタリア語	25	171
ポルトガル語	15	76
その他	35	85
合計	3,311	12,557

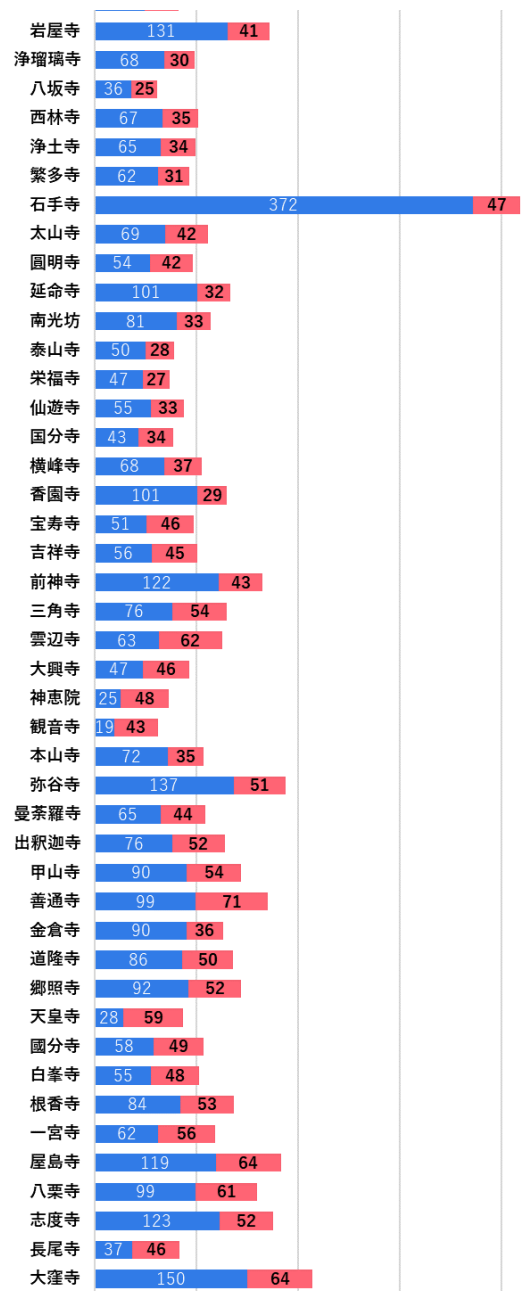
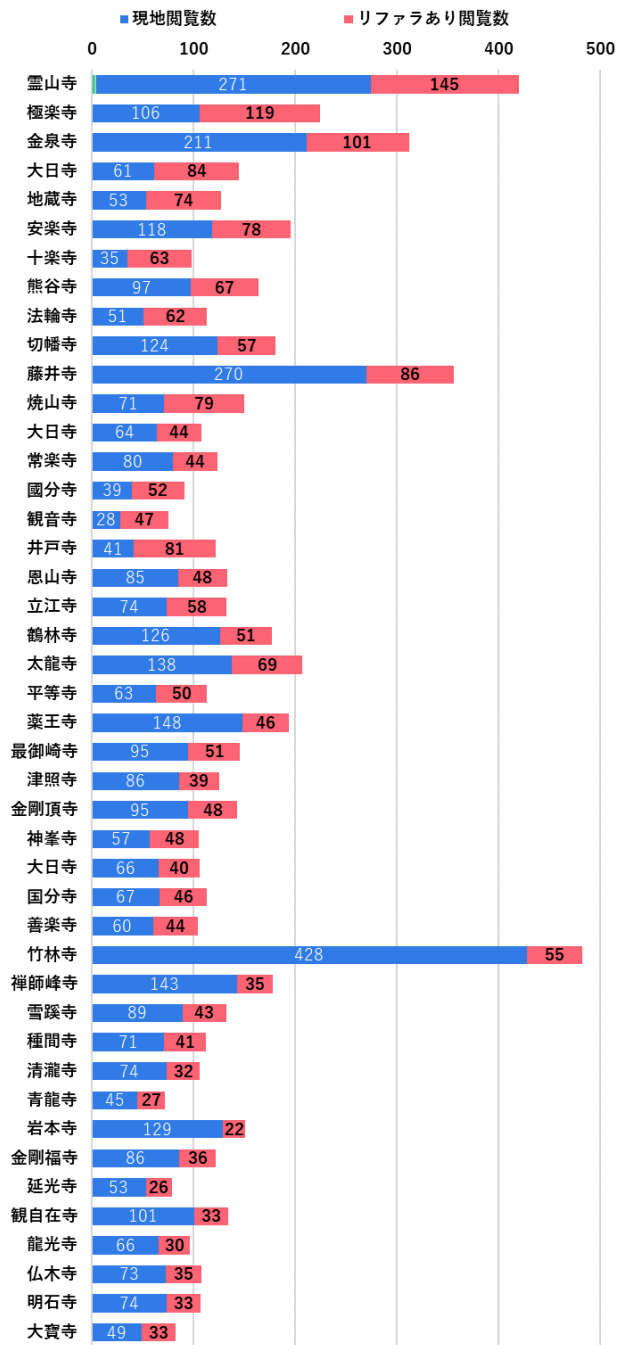


③札所別 QR 閲覧集計結果

札所別 PV 数をみると、総閲覧数では竹林寺が 483 件と最も多く、次いで石手寺が 419 件、霊山寺が 416 件、藤井寺が 356 件であった。JR 四国の主要駅近隣に位置、近隣に他の観光スポットが存在する等の立地条件や QR コード掲示が目につきやすい場所に掲示されている等の要因が考えられる。

【図表 4-59】札所別 PV 数とグラフ

札所番号	札所	外国人閲覧数	ウチ現地閲覧数	リファラあり閲覧数
1	霊山寺	416	271	145
2	極楽寺	225	106	119
3	金泉寺	312	211	101
4	大日寺	145	61	84
5	地藏寺	127	53	74
6	安楽寺	196	118	78
7	十楽寺	98	35	63
8	熊谷寺	164	97	67
9	法輪寺	113	51	62
10	切幡寺	181	124	57
11	藤井寺	356	270	86
12	焼山寺	150	71	79
13	大日寺	108	64	44
14	常楽寺	124	80	44
15	国分寺	91	39	52
16	観音寺	75	28	47
17	井戸寺	122	41	81
18	恩山寺	133	85	48
19	立江寺	132	74	58
20	鶴林寺	177	126	51
21	太龍寺	207	138	69
22	平等寺	113	63	50
23	薬王寺	194	148	46
24	嚴御崎寺	146	95	51
25	津照寺	125	86	39
26	金剛頂寺	143	95	48
27	神峯寺	105	57	48
28	大日寺	106	66	40
29	国分寺	113	67	46
30	善楽寺	104	60	44
31	竹林寺	483	428	55
32	禅師峰寺	178	143	35
33	雪隠寺	132	89	43
34	種間寺	112	71	41
35	清瀧寺	106	74	32
36	青龍寺	72	45	27
37	岩本寺	151	129	22
38	金剛福寺	122	86	36
39	延光寺	79	53	26
40	観自在寺	134	101	33
41	龍光寺	96	66	30
42	仏木寺	108	73	35
43	明石寺	107	74	33
44	大寶寺	82	49	33
45	岩屋寺	172	131	41
46	浄瑠璃寺	98	68	30
47	八坂寺	61	36	25
48	西林寺	102	67	35
49	浄土寺	99	65	34
50	繁多寺	93	62	31
51	石手寺	419	372	47
52	太山寺	111	69	42
53	圓明寺	96	54	42
54	延命寺	133	101	32
55	南光坊	114	81	33
56	泰山寺	78	50	28
57	栄福寺	74	47	27
58	仙遊寺	88	55	33
59	国分寺	77	43	34
60	横峰寺	105	68	37
61	香園寺	130	101	29
62	宝寿寺	97	51	46
63	吉祥寺	101	56	45
64	前神寺	165	122	43
65	三角寺	130	76	54
66	雲辺寺	125	63	62
67	大興寺	93	47	46
68	神恵院	73	25	48
69	観音寺	62	19	43
70	本山寺	107	72	35
71	弥谷寺	188	137	51
72	曼荼羅寺	109	65	44
73	出釈迦寺	128	76	52
74	甲山寺	144	90	54
75	善通寺	170	99	71
76	金倉寺	126	90	36
77	道隆寺	136	86	50
78	郷照寺	144	92	52
79	天皇寺	87	28	59
80	国分寺	107	58	49
81	白峯寺	103	55	48
82	根香寺	137	84	53
83	一宮寺	118	62	56
84	屋島寺	183	119	64
85	八栗寺	160	99	61
86	志度寺	175	123	52
87	長尾寺	83	37	46
88	大窪寺	214	150	64



#### ④施設別 QR 閲覧結果

Check-In 拠点 4 施設（番号 102~105）では、172 回の閲覧数が確認された。徳島県内での PV が多い。

【図表 4-60】施設別 PV 数

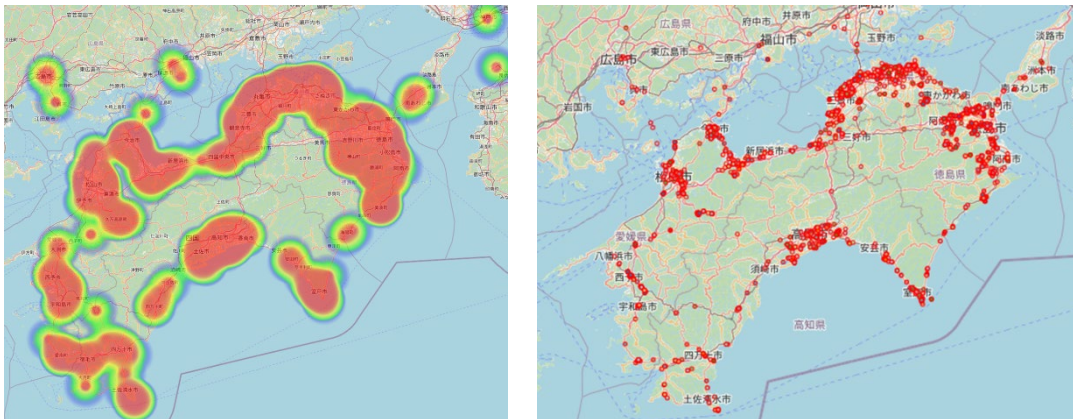
番号	施設	住所	外国人閲覧数	併その場で閲覧数
102	徳島市広域観光案内ステーション	徳島県徳島市元町1-24	53	53
103	安楽寺宿坊	徳島県板野郡上板町宇寺の西北8	12	9
104	門前一番街	徳島県鳴門市大麻町坂東字西山田29-6	20	20
105	HOSTEL PAQ tokushima	徳島県徳島市中通町2-5	92	90
111	お遍路ハウス一番門前通り	徳島県鳴門市大麻町坂東字西山田1-1	23	23
112	観梅苑	徳島県鳴門市大麻町坂東字広塚9	3	3
121	すだち庵	徳島県名西郡神山町下分鍋岩180	2	2
123	鱗楼	徳島県徳島市国府町中268-1	2	2
131	ひなの里かつら	徳島県勝浦郡勝浦町大字生名字月ノ瀬	2	2
132	ふれあいの里さかもと	徳島県勝浦郡勝浦町坂本字官平1-5	4	4
134	民泊バンダヤ	徳島県阿南市新野町宮ノ北36	2	2
141	へんろ宿 南天	徳島県海部郡牟岐町大字河内189	5	5
143	お宿・キッチンみつ佳	徳島県海部郡海陽町穴喰浦穴喰145	2	2
144	内妻荘(うちづまそう)	徳島県海部郡牟岐町内妻丸山3	1	1
212	サウスショア	高知県安芸郡東洋町大字生見12-10	2	2
223	お宿 花鳥風月	高知県高知市一宮しなね2-18-15	3	3
241	ゲストハウスジョン	高知県須崎市浦ノ内灰方4-17	2	2
251	Sou. Town Hostel (ソウ タウン ホステル)	高知県四万十町琴平町15-20	1	1
252	岩本寺宿坊	高知県高岡郡四万十町茂串町3-13	14	14
253	四万十市観光協会	高知県四万十市駅前町8-3	2	2
254	ペンションひらの	高知県四万十市平野4097	11	11
301	山代屋旅館	愛媛県南宇和郡愛南町御荘平城2270	1	1
303	宇和島市観光情報センターシロシタ	愛媛県宇和島市丸之内5-1-4	2	1
311	大洲まちの駅あさもや	愛媛県大洲市大洲649-1	1	1
312	ときわ旅館	愛媛県大洲市中村629	3	3
313	古民家ゲストハウス内子晴れ	愛媛県喜多郡内子町内子3025	1	1
331	シナモンゲストハウス道後	愛媛県松山市道後湯之町4-50	2	2
332	カフェと御宿 まほろば	愛媛県松山市北条1063-2	2	2
342	ビジネス旅館小松	愛媛県西条市小松町新屋敷201	1	1
347	Nojima House	西条市小松町新屋敷甲2320-1	1	1
412	喝破道場	香川県高松市中山町1501-9	6	5
413	へんろ小屋第51号 五色台子どもおもてなし処	香川県高松市中山町1501-9	1	1
424	おへんろ交流サロン	香川県さぬき市前山936-3	3	3

#### ⑤可視化分析の例

CSV データをもとに、言語別の位置情報ヒートマップ表示を実施した。言語毎に異なる傾向が見受けられるが、本事業期間内で得られたデータ総数はまだ少なく分析結果から何らかの結論を導き出すことは難しい。

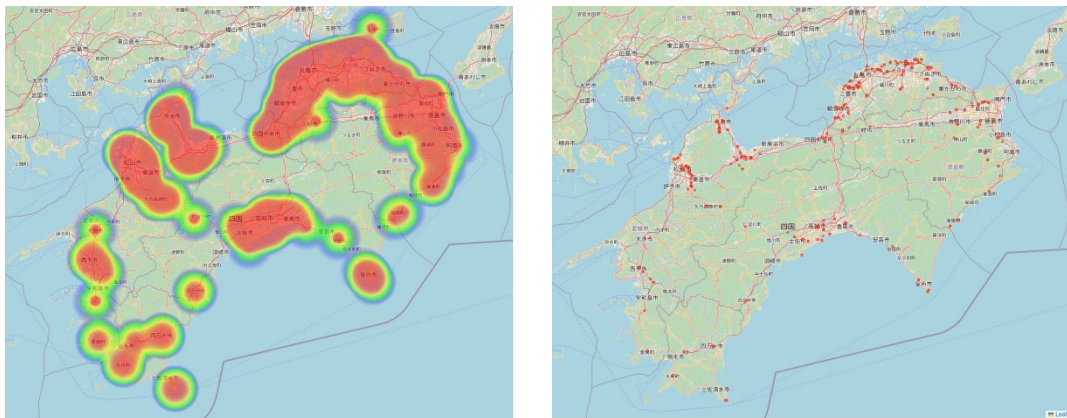
英語（閲覧者数 2,373 名、PV 数 6,809 件）；最も多く使われる言語であり四国一円での閲覧が確認されている。四国を離れてからも、情報端末に残された URL から再度閲覧しているケースも多い。

【図表 4-61】 英語のヒートマップと点表示



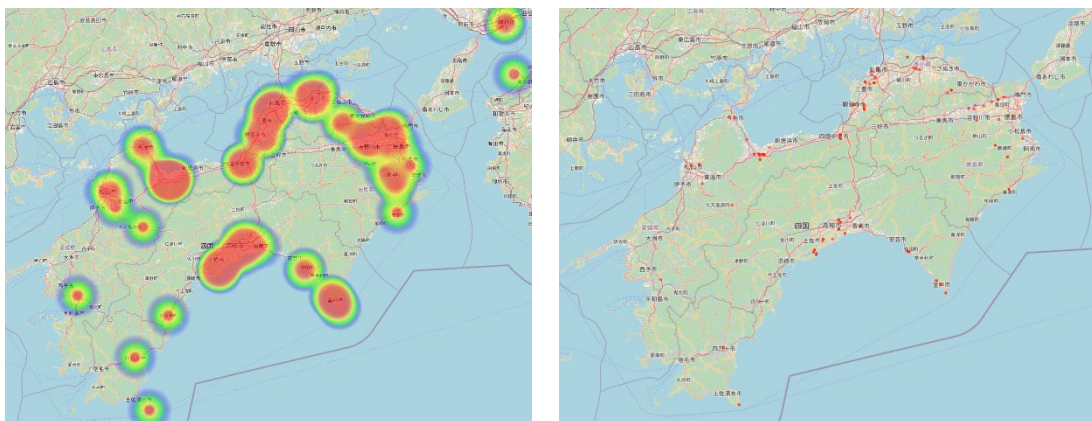
中国語（繁体字）（閲覧者数 335 名、PV 数 1,871 件）：中国語（繁体字）では英語に比べ閲覧者数、閲覧回数とも少ないが、台湾から多くの来訪者が四国一円を訪れていること推察される。

【図表 4-62】 中国語（繁体字）のヒートマップと点表示



中国語（簡体字）（閲覧者数 51 名、PV 数 427）：中国語（簡体字）の使用者は少なく、訪れる場所も有名観光地周辺に限られている。

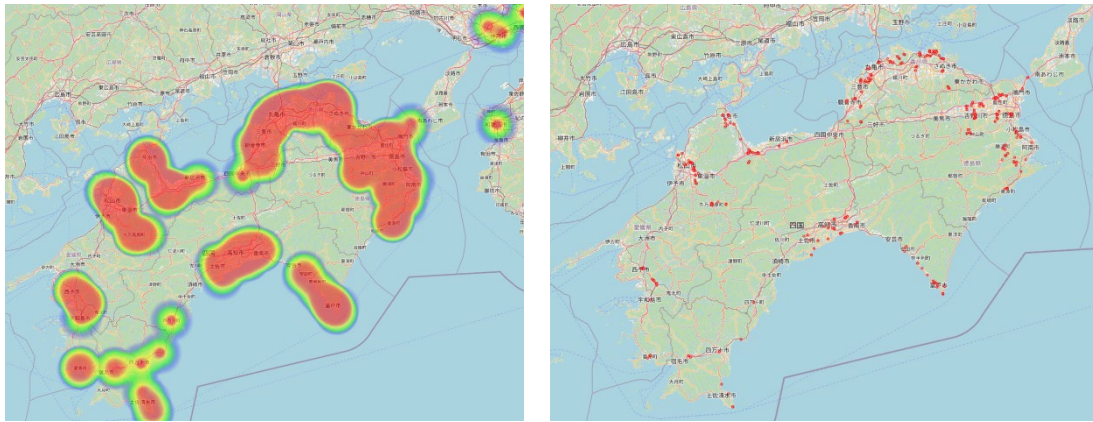
【図表 4-63】 中国語（簡体字）のヒートマップと点表示





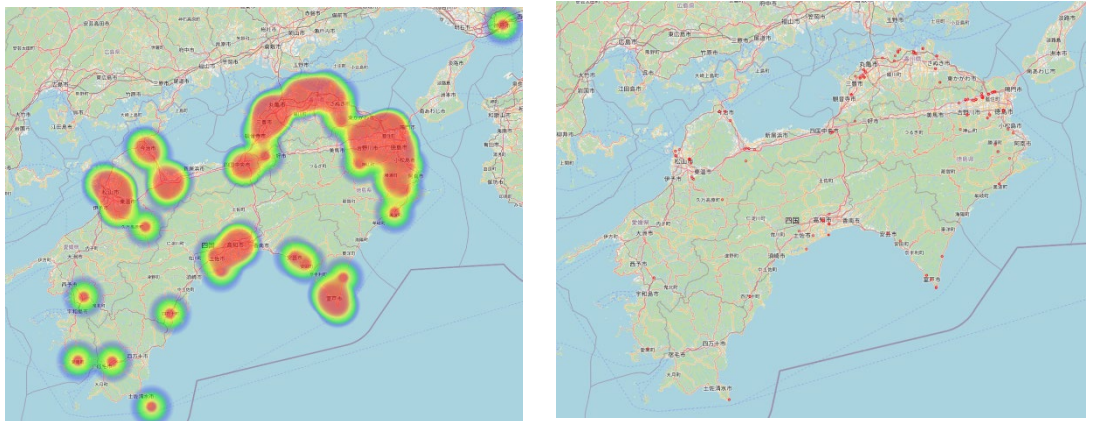
ドイツ語(閲覧者数 148 名、PV 数 1,481)：ドイツ語使用者は、少数ではあるが四国一円を訪れている。

【図表 4-64】ドイツ語のヒートマップと点表示



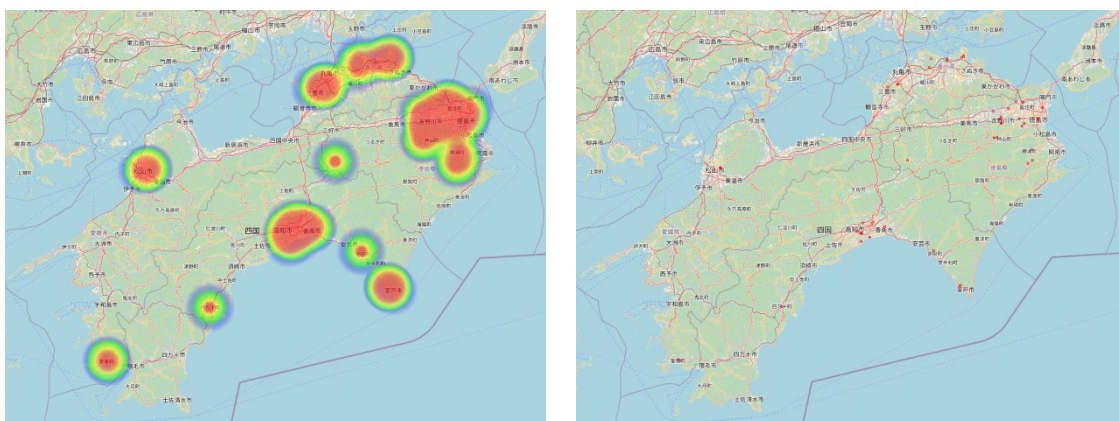
フランス語(閲覧者数 111 名、PV 数 803)；フランス語使用者は、少数ではあり、香川県、徳島県に偏在している。

【図表 4-65】フランス語のヒートマップと点表示



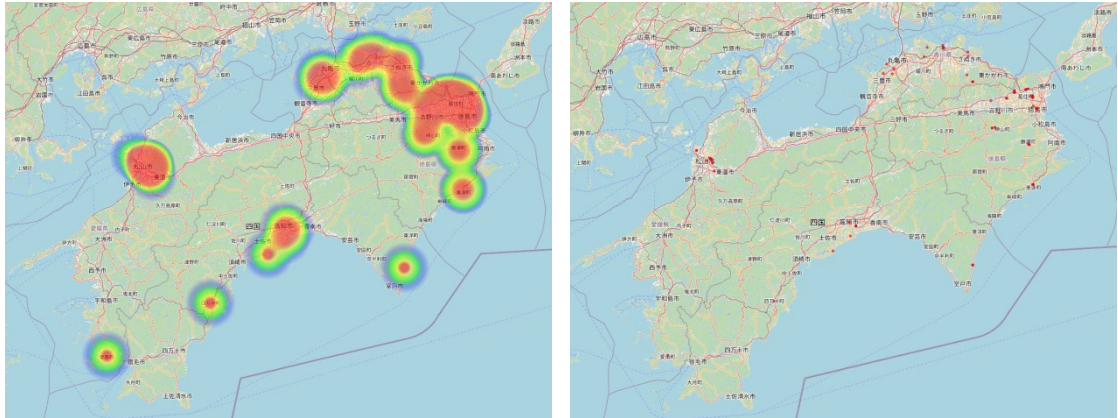
スペイン語(閲覧者数 37 名、PV 数 173)：スペイン語使用者は、少数であり、徳島県内を中心に訪れている。

【図表 4-66】スペイン語のヒートマップと点表示



韓国語（閲覧者数 65 名、PV 数 265）韓国語使用者は、訪問先が限定的であるように見受けられる。

【図表 4-67】 韓国語のヒートマップと点表示



UID 毎の位置データを時系列で直線連結表示

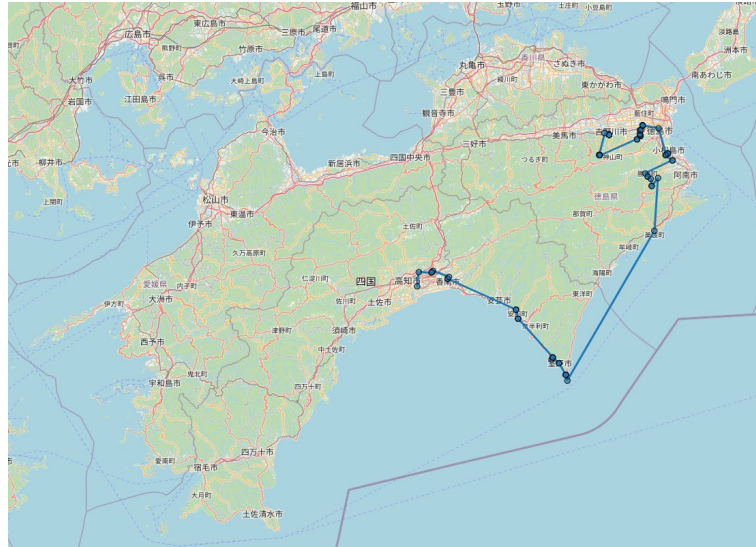
UID 毎の動態の詳細を把握することができた。以下に一例を示す。

【図表 4-68】 一つの UID を直線で連結した例①



- ・ アクセス期間：2023/10/6～2023/11/16
- ・ 使用言語：英語（アメリカ）
- ・ 徳島県 18 番恩山寺から閲覧開始、41 日間かけて順打ちで 88 番大窪寺へ到達、1 番に戻って終了
- ・ 位置データ取得が不可の区間が一部あるが、閲覧データからほとんど札所を飛ばさず訪問したことが確認できる
- ・ 1 つの札所情報を何度も閲覧しており、合計で 285 回のアクセスがあった

【図表 4-69】一つの UID を直線で連結した例②



<例 2 >

- ・ アクセス期間：2023/11/7～2023/11/21
- ・ 使用言語：英語（オーストラリア）
- ・ 徳島県 11 番藤井寺の門前へんろの里から閲覧開始、高知県 31 番竹林寺で終了
- ・ 14 日間で 74 回のアクセスがあった
- ・ 20 札所の情報を閲覧、位置データから 18 札所を実際に回ったことが確認できる

## 5. 専門家、有識者を交えた有用性の評価

### (1) 専門家・有識者の選定

QR 情報システム開発で連携した各分野の専門家、有識者と意見交換を行いデータ収集方法の適切性及び分析、可視化の有用性について評価した。

【図表 4-70】各分野の専門家、有識者

専門家	所属	役割・立場
十河 瑞澄 氏	(一社) 四国八十八ヶ所霊場会	QR コード掲示のとりまとめ
清水 啓司氏	(一社) 四国ツーリズム創造機構	観光 DMP との連携
山本 和由氏	徳島文理大学理工学部	QR 情報システム開発者

### (2) データ収集方法の適切性について

QR 情報システムによるデータ収集方法とその評価については以下のとおり。

#### ① QR コードの設置場所、方法

- ・札所毎に設置場所が異なり来訪者には見つけにくい場合がある。常に山門前に設置するなど、統一的な対応が望ましく、収集データの増加につながると考えられる。
- ・札所毎に規模、構成が異なる等の事情があり、各札所との個別相談が今後の課題。

#### ② QR コードの提供情報

- ・境内配置図は来訪者が最初に知りたい情報であり、外国人モニターにも高く評価されている。
- ・提供情報の品質向上（質、量）がデータ集積につながると考えられる。提供情報内容の充実や多言語情報の品質向上に取り組む必要がある。

### (3) 分析、可視化の有用性

- ・位置情報、UID を収集し動態分析を可能としたことは、観光 DMP 構築の観点から高く評価できる。観光 DMP に組み込むことで四国の観光振興へ向けた活用が想定される。
- ・学術的観点からも、QR 情報システムで収集した情報から観光振興に資する移動経路分析等の専門的な解析も可能になる、と評価されている（徳島文理大学山本教授より、統計数理研究所における共同研究を申請中。）

### (4) 今後の課題

専門家、有識者の意見を集約すると、分析、可視化の有用性については一定評価を得たが、収集データを確保するためには継続的なシステム運用及びメンテナンスが必要となり、そのリソースの確保が今後の課題である。

## 6. 観光 DMP へのデータ提供の検討

(一社) 四国ツーリズム創造機構では観光 DMP の構築を進めており、QR 情報システムのデータ提供の可能性と課題について確認した。

### (1) 観光 DMP について

観光 DMP (Data Management Platform) とは、観光関連のデータを一元的に収集・発信するプラットフォームであり、国のオープンデータや基礎自治体、観光事業者等が所有するデータなどを集積し、分析・可視化を図り、データに基づいた施策立案や効果検証を実現する。観光 DMP において、一元管理に適した情報種別として以下が挙げられる。

#### ①情報の集積

旅マエの情報閲覧状況

訪れる際の旅程や入国経路（空港、鉄道など）の位置情報と動態

観光地内での周遊、滞在、旅行消費額

#### ②集積情報の二次活用

一元的に収集した情報をビッグデータとして分析する。これにより、観光関係者や自治体が情報の二次活用による具体的な施策立案や効果検証が可能となる。

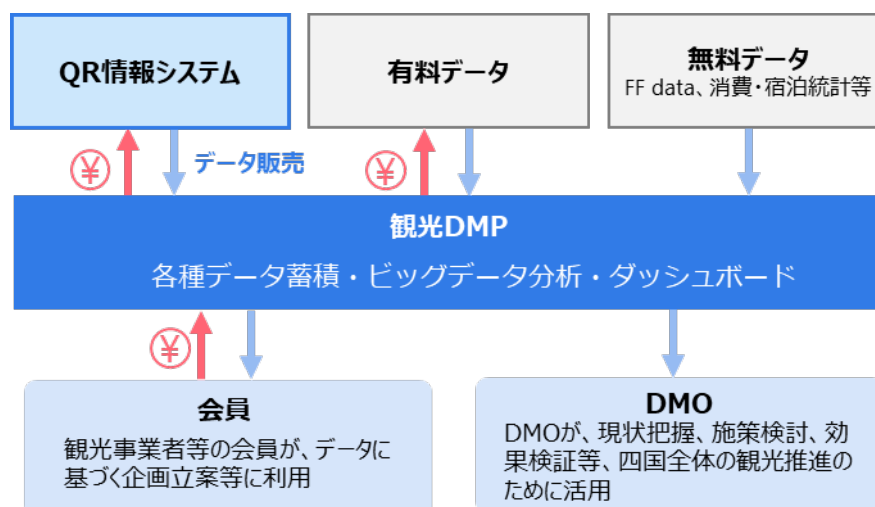
### (2) (一社) 四国ツーリズム創造機構の取組

(一社) 四国ツーリズム創造機構では、四国各県のオープンデータ等を収集しつつ、観光データを可視化するダッシュボードを組み込んで観光 DMP の構築を進めている。QR 情報システムで収集したデータを提供することで観光 DMP の活用範囲が広がる可能性は高く、データ収集費用などリソース面に課題はあるが実現へ向けた検討を進める方針。

(URL : [https://shikoku-tourism.com/feature/data\\_management\\_platform/page1](https://shikoku-tourism.com/feature/data_management_platform/page1))

(現在、会員限定で無料公開して活用を促している段階)

【図表 4-71】 観光 DMP へのデータ提供と活用イメージ



## 第5章 本事業の総括

本事業では、海外潜在層の誘客を促進する体制整備をはじめ、国内での情報提供などのワンストップサービス環境を構築すると同時に、DXを活用した独自のQR情報システムを用いて多言語案内表示、旅行者の位置情報や属性情報集積体制を整備した。

その効果を検証するために、26名の海外潜在層をモニターとして採用し、アンケート等で整備した受入環境の効果を検証した。また、QR情報システムで集積したデータの分析、可視化による有用性についても検証を行った。

### 1. 本事業の成果

#### (1) 実施項目・実施状況

過年度事業を通じて構築した「遍路道情報センター」の機能を強化・拡充してワンストップサービス環境を整備した。実施状況は以下のとおり。

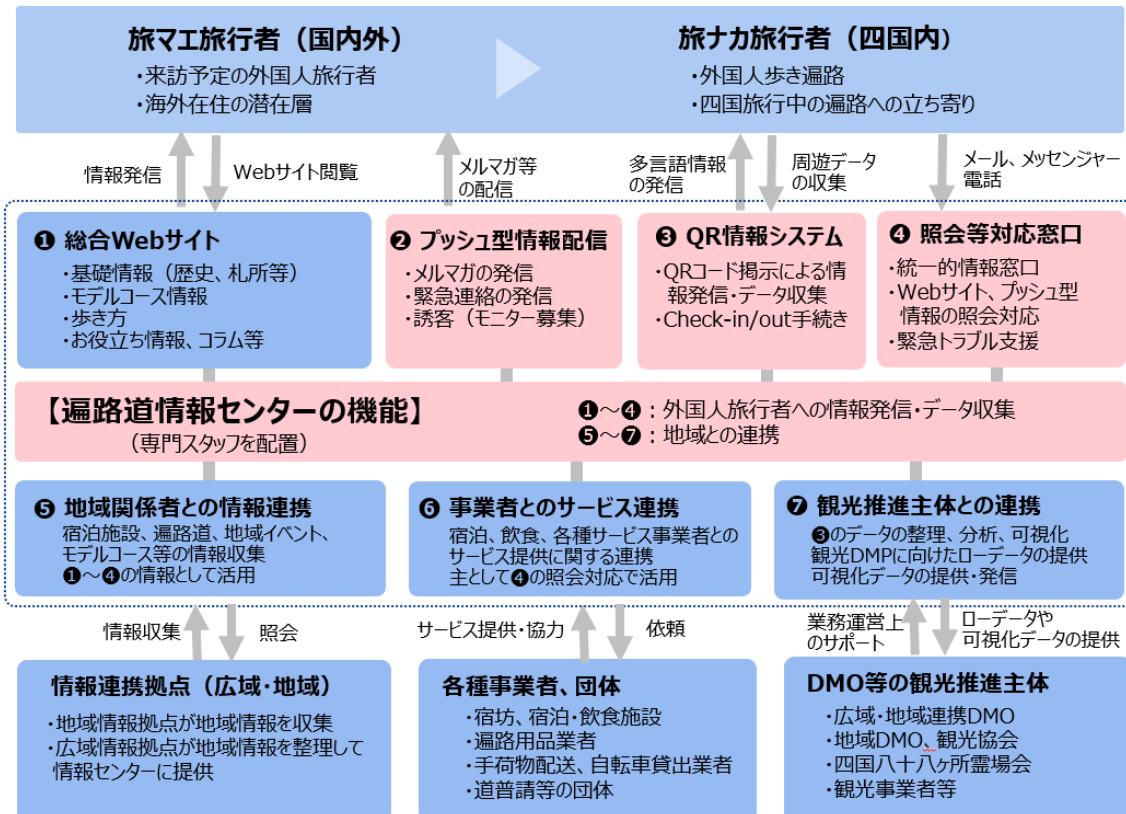
項目	内容	実施状況
<b>【強化事項】</b> プッシュ型情報発信体制の構築 (Webサイト運営も含む)	海外在住外国人へ向け四国遍路の旅マエ情報を発信 (旅マエ情報発信を通じて誘客に結び付ける) 外国人歩き遍路へ向け四国遍路の旅ナカ情報を発信 (旅ナカで発生した緊急対応、支援に取り組む)	四国遍路等をテーマとするFBグループへの募集投稿を通じるなどしてメールマガジン配信先507件を確保した。 ・ メールマガジン配信を10回実施した。(旅マエ・旅ナカ情報の発信) ・ メールマガジン配信先の海外潜在層を対象に外国人モニターを募集し、26名を採用した。(誘客)外国人モニターへ向けて旅ナカ緊急情報発信を実施(山火事等)
独自のQR情報システムの構築	低コスト開発、運用が可能な独自のシステムを構築 UID(ユニークキー)を取得して動態を可視化 札所88ヶ所にQRコードを掲示して札所情報を8言語で提供 (日・英・繁体・簡体・韓・仏・独・西) 遍路道沿線の宿泊施設、観光案内所等50カ所以上にQRコー	徳島文理大学理工学部の協力を得てQR情報システムを開発 ・ UID、位置情報等の収集による動態分析、可視化を可能とした ・ 札所88ヶ所にQRコード掲示して、外国人歩き遍路に有用と思われる境内配置図等の情報提供を開始

	ドを掲示して先行き道情報を提供（日・英）	<ul style="list-style-type: none"> <li>多言語提供 8 言語のうち韓国語、スペイン語を除く言語の表現をブラッシュアップした。</li> <li>遍路道沿線の宿泊施設 39 軒、観光案内所等 17 軒に QR コードを掲示して外国人歩き遍路に先行き道情報の提供を開始（日・英）</li> </ul>
【拡充】登録制度（Check-In/Out）の構築	起点付近に設置した登録（Check-In）用の QR コードを通じて氏名、連絡先メールアドレス等を登録した外国人歩き遍路に対し、旅ナカ Web サポートを実施	起点付近 4 カ所に登録（Check-In）用の QR コードを掲示 <ul style="list-style-type: none"> <li>来日した外国人モニター 26 名が順次 Check-In 手続きしてモニタリングを開始。Web サポートを実施した。</li> </ul>

(2) 遍路道情報センター機能の全体像

本事業で強化・拡充した結果、「遍路道情報センター」の機能は【図表 4-70】のように整理される。本事業で強化、拡充した機能を赤色で表示する。

【図表 4-70】 遍路道情報センター機能の全体像



(3) 遍路道情報センターの機能（機能の強化・拡充後）

機能	現状と課題
<p>①総合 Web サイト</p>	<p>トピックス、四国遍路の基礎知識、歩き方、お役立ち情報、モデルコース等を掲載し、旅マエ及び旅ナカ情報を提供する。</p> <p>〈課題〉 更新頻度が限定的で、旅ナカ情報としての有用性が低い Web サイト管理者のリソース確保</p>
<p>②プッシュ型情報発信</p>	<p>定期的なメールマガジン発信による旅マエ情報提供、誘客を行う。旅ナカでの緊急情報発信も実施する。</p> <p>メールマガジン配信先に、Web サイトの閲覧を促す。</p> <p>〈課題〉 メールマガジン記事のライターの確保や記事の品質確保</p>
<p>③QR 情報システム</p>	<p>四国八十八ヶ所霊場の各札所 88 ヶ所、宿泊施設 39 軒、観光案内所等 17 軒（Check-In/Out 拠点 4 軒含む）に QR コードを掲示して多言語情報発信を行う。</p> <p>QR コードを通じて UID 等の情報端末情報を収集しデータベースに蓄積して動態分析、可視化を行う。</p> <p>〈課題〉 システム運用、メンテナンスのリソース確保 観光 DMP との連携</p>
<p>④照会等窓口対応</p>	<p>登録制度（Check-In/Out）利用者に対する Web サポート</p> <p>〈課題〉 英会話力、コミュニケーション力、四国遍路に関する知識、交渉力に長けた人材が必要</p>
<p>⑤地域関係者との情報連携</p>	<p>Web サポートの実効性を確保するために四国一円の事業者や地域のボランティアとの連携を強化して地域の情報収集や緊急時対応の支援に協力を得ている。</p> <p>〈課題〉 継続的な信頼関係維持のための施策、インセンティブが必要 現時点では実質的にボランティアとしての協力</p>
<p>⑥事業者とのサービス連携</p>	<p>Web サポートの実効性を確保するために主として宿泊施設経営者と連携</p> <p>〈課題〉 Web サポートで宿泊施設の予約を支援する場合には個別対応となる。</p>



⑦観光推進の連携	広域連携 DMO、地域連携 DMO の他、各地の観光案内所等と連携し情報収集 〈課題〉 観光 DMP 構築にむけた連携強化が課題
----------	--

## 2. 遍路道情報センターの持続的自走化へ向けた課題

### (1) 遍路道情報センターの自走化へ向けたロードマップの進捗状況

令和 4 年度事業では、遍路道情報センターの自走化へ向けたロードマップが示されており、その進捗を確認する。

実施年度	実施計画	進捗状況・方針
令和 5 年度	遍路道情報センターのあり方について、関係団体・組織、地域住民等との認識共有の促進（シンポジウム等の開催）	左記主旨に則った「四国遍路シンポジウム」を開催した。（令和 6 年 2 月 13 日）
	遍路道情報センター構築に向けて、四国遍路の受入環境整備に関わる団体・組織等との協力体制を強化する。	本事業を通じ四国八十八ヶ所霊場会、広域連携 DMO、主要 NPO 法人の代表者と認識共有を図るなどして協力体制を強化した。
	現在構築中の Web サイト、QR 情報システム、宿泊施設 DB、プッシュ型情報発信体制、紹介窓口の機能の強化	これまで主として国内在住の外国人へ向けた対応を行ってきたが本事業では海外潜在層を対象としたワンストップサービスの提供を実施した。
令和 6 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係団体・組織等による情報センター運営主体、費用負担等に関する検討</li> <li>・ 遍路道情報センターが行う収益事業の選定・試行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本事業を通じて認識共有が図れた組織、団体等と協議を続ける方針。</li> <li>・ シンポジウム等の定期的開催を行い関係者間での認識共有や自走可能な組織づくりの機運醸成を図る方針。</li> </ul>
令和 7 年	情報センターの試行開始	

## (2) 今後の課題

本事業を進める過程で、四国遍路に関わる主要団体の代表者等との意見交換が実現し、四国遍路の世界遺産登録を見据え、外国人歩き遍路の受入環境整備へ向けた「遍路道情報センター」の機能は重要との認識共有が図られた。

しかし、具体的な遍路道情報センターの経営主体や持続的自走可能な運営方法については、具体的な収益確保を見通すに至らず、次年度へ向けた課題として残された。

## (3) 新組織 DMC の構想

### ① DMC 構想について

遍路道情報センターの持続的自走体制の理想像として、一部の関係者から民間主導による新 DMC 設立について提案された。新 DMC 設立については四国遍路シンポジウムの第 3 部パネルディスカッションでも意見交換が行われ、多くの来場者からも賛意が示された。

DMC の先進事例として世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」における熊野トラベル((一社) 田辺市熊野ツーリズムビューロー) や株式会社 DMC 高野山があり、それらを参考に四国における DMC を構想する。

### ② 四国遍路の受入環境整備を担う新 DMC の理想像について

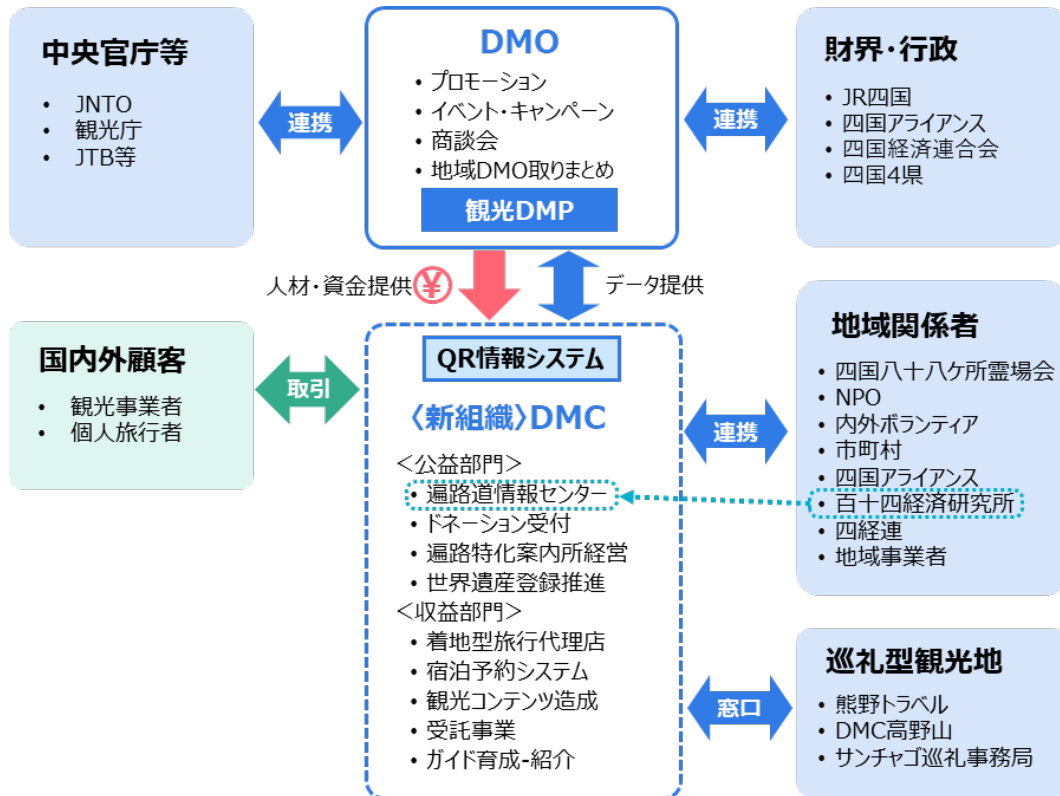
四国遍路の受入環境整備を担い、四国遍路の維持継承とともに四国各地の地方創生に寄与しつつ、知的富裕層、FIT 向けの高付加価値の旅行商品を販売して収益確保する。四国各地の観光コンテンツ開発とガイド養成事業を併せて行い、大手旅行会社が模倣できない四国ならではの組織(着地型旅行会社)とする。

設立時には、関係者の合意形成に時間を要することが想定され、実行可能な分野からスモールスタートすることが現実的である。

#### 新 DMC の機能

- ・ 公益部門・・・主に四国遍路の受入環境整備を担う。(遍路道情報センター機能を内包)
- ・ 収益部門・・・着地型旅行代理店、宿泊予約システム等を担う。(公益部門の運営資金確保)、旅ナカサポート、集積データ提供

【図表 5-1】新 DMC のイメージ



### 3. 四国遍路シンポジウムの開催

本事業の成果を関係者が共有し連携して四国遍路の受入環境整備を進める機運を醸成するために、四国各地遍路道沿道に位置する自治体をはじめ、各地の DMO、観光案内所、観光関連事業者、ボランティア等地域住民を対象としたシンポジウムを開催した。

第 3 部パネルディスカッションでは、パネリストから遍路道情報センターをベースとした DMC 設立についての前向きな発言があった。それに対し、確たる収益源を持たないまま設立することに慎重な発言もあったが、結論として、そのような組織の設立が必要かつ急がれること、今後このような会議を継続的に開催し、この問題について話し合うべきだとの認識を共有し、閉会した。

#### (1) シンポジウムの概要

会議名：四国遍路シンポジウム～四国遍路の受入環境整備を考える～

日時：2024 年 2 月 13 日(火) 14:30～17:30

場所：かがわ国際会議場（高松シンボルタワー6階）

来場者：230 名

#### (2) プログラム

項目	登壇者
開会挨拶	国土交通省 四国運輸局 局長 石原典雄

第1部：事業報告 「DXを活用した四国遍路の受入環境整備に向けた調査事業」について	一般財団法人 百十四経済研究所 理事地域振興部長 村尾 耕太
第2部：基調講演 「世界遺産高野山における文化観光地域づくりについて」	株式会社 DMC 高野山 代表取締役社長 大田原 博亮 氏
第3部：パネルディスカッション 「四国遍路の受入環境整備について考える」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四国旅客鉄道(株)取締役会長 半井真司 氏</li> <li>・ 元徳島文理大学英語講師・語学センター長、トクシマウェルカムセンター スタッフ ランス キタ 氏</li> <li>・ 英語地図ガイド「Shikoku Japan 88 Route Guide」著者 松下直行 氏</li> <li>・ インバウンドガイド、ライター、元朝日新聞社記者 細川治子 氏</li> <li>・ 国土交通省四国運輸局観光部次長 上戸康弘</li> <li>・ (一財)百十四経済研究所 専務理事所長 澁江政興</li> </ul>

### (3) 会議内容

#### 第1部：事業報告

「DXを活用した四国遍路の受入環境整備に向けた調査事業」について 一般財団法人 百十四経済研究所 理事地域振興部長 村尾 耕太  
四国遍路の受入環境整備に対する「遍路道情報センター」を中心としたこれまでの取組みについて報告した後、「遍路道情報センター」の持続的自走化に向けた機能強化等の課題について問題提起した。



#### 第2部：基調講演

「世界遺産高野山における文化観光地域づくりについて」  
株式会社 DMC 高野山代表取締役社長 大田原博亮氏  
DMC 高野山を核とした主要組織体の関係性の強化について講演した。個々の課題解決のため地域内組織内連携の必要性を指摘した。



#### 第3部：パネルディスカッション

百十四経済研究所 澁江がファシリテーターを務め、四国遍路や観光に知見の深い専門家5名が登壇し、それぞれの立場から四国遍路の課題と将来展望について討論した。

〈討論内容〉

■ランスキタ氏

徳島ウェルカムセンターでは、多くの外国人歩き遍路が来訪しており宿泊施設や交通機関に関する問い合わせが多い。遍路道情報センターのような情報提供を行う統括組織の重要性を伝えた。



■松下直行氏

外国人歩き遍路にとって寺も大切であるが、宿泊施設が最も重要である。また、外国人歩き遍路の嗜好は様々ではあるが、遍路道情報センターのような包括的なサポートの仕組みは有意義だ。



■細川治子氏

DMCのようなワンストップサポートや、情報一元化を行う組織があれば有難い。いきなり利害関係者をまとめ組織作りを急ぐよりも「遍路道情報センター」を活用しながら徐々に収益化を図る仕組みを作ればいいのではないか。



■半井真司氏

多くの外国人遍路が訪日すると見込まれ、受入環境整備は喫緊の課題である。「遍路道情報センター」を軸に新しい組織（DMC）を作ることは重要だが収益源がなければ運営は難しいだろう。今後も継続してシンポジウムのような場を設け、受入環境整備やワンストップサービスを実現化していく取組を続けたい。



■上戸康弘

四国固有の資源である四国遍路への誘客に向けて、その受入体制の整備は最優先課題であり、地域が一体となって受入組織の形成を前向きに検討していただきたい、四国運輸局としてもどのような支援ができるか考えていきたい。



#### ■ファシリテーター（澁江）

これまで試行してきた「遍路道情報センター」を活用しながら、遍路の受入体制整備やワンストップサービスに対する取組みについて、スピード感も持ちながらスモールスタートで行えばいいのではないか。但し、課題も多く残っているので今回のようなシンポジウムを今後も継続的にを行い、議論を深めていきたいと締めくくった。



#### 〈質疑応答〉

会場からは、31 番札所竹林寺の海老塚住職をはじめ、活発な質疑応答が行なわれた。

#### (4) 来場者アンケート結果

来場者に対して意見・要望等を調査するため、Web アンケートを実施した。来場者 230 名のうち、101 名から回答を得られた。

自由意見欄（図表 5-3 ④⑤）には、DMC 設立に関することや、シンポジウムの継続的な開催について前向きな意見が確認された。自由意見の内容を類型化すると、DMC 設立、シンポジウムの定期的開催については前向きな意見が多く、慎重な意見は少数であった。また、四国遍路の観光化については前向き意見が 14 名で、慎重な意見は 3 名で、僧侶からの意見だと推定される（図表 5-2）。

また、本シンポジウムで宿泊施設不足の問題を知り、重要な問題と分かったとの意見が 25 人から寄せられた。

【図表 5-2】 自由意見の類型

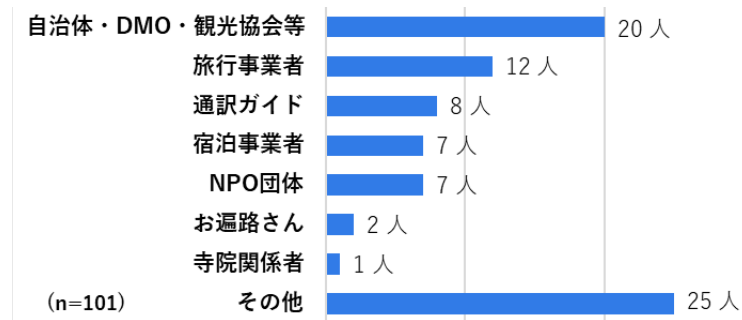
	DMC 設立 について	シンポジウム の定期的開催	四国遍路の観 光化について	宿泊施設不足 は重要
前向きな意見	22 名	28 名	14 名	25 名
慎重な意見	2 名	0 名	3 名	0 名

【図表 5-3】 来場者に対するアンケート内容

質問項目
①職種
②全体についての感想
③第 1 部～第 3 部の各プログラムについての感想
④参考になったこと、印象に残ったこと
⑤四国遍路シンポジウムについての意見、感想、要望
⑥今後、四国遍路やインバウンドに関するセミナーに参加したいか

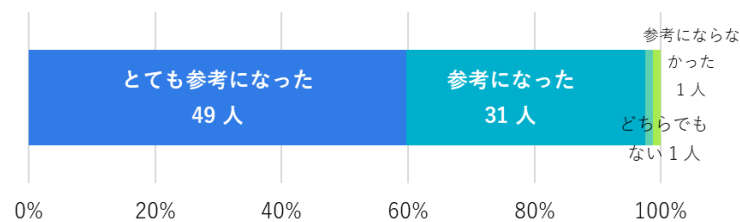
①参加者の職種

【図表 5-4】参加者の職種 (n=101 以下同)



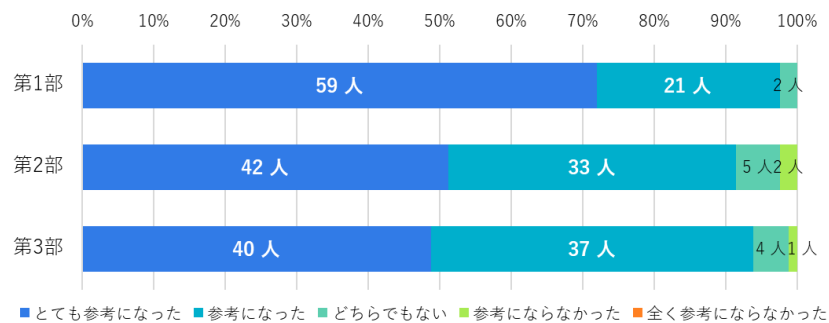
②全体についての感想：全体的に高い評価が得られた。

【図表 5-5】全体についての感想



③第1部～第3部の各プログラムについての感想：各部とも高い評価が得られた。

【図表 5-6】第1部～第3部の各プログラムについての感想



④参考になったこと、印象に残ったこと（一部抜粋要約）

- ・ 四国遍路も集約して情報を繋いでいくシステム構築の必要性を感じた。
- ・ 実際に遍路を回った外国人の方の声からの宿不足、フィーリング、交通機関費を含むお金の落とし方など。観光産業の特異性は考えが及んでおらずためになった。
- ・ これまで把握ができていなかった宿泊施設がどれだけ減っているのか、課題が何なのかを数値として知ることができた。
- ・ 受け入れ体制を自走化・持続可能化するための仕組みづくりが重要。
- ・ 受入側が横のつながりを作っていくことが大切だと感じた。

- ・ これからの展開は、高野山のように組織化して権限と責任を明確化させることが避けて通れないと思った。収益化としては、宿の手配料、寄付、プロボノワーカーの受入れ拡大が検討できないか。また高野山の事例のように、お寺との意思疎通が最も重要。お寺は経済力の格差が激しいため、四国遍路全体で得た収益を各札所に配分する仕組みが必要ではないか。
- ・ データに基づく分析は説得力があり、幅広く活用出来ると感じた。
- ・ 外国人歩き遍路は「宿泊施設探し」が大きなストレスになっているということがよく理解できた。その一方で、宿泊施設側からみるとドタキャンやマナー等で必ずしも歓迎される宿泊客ではないということも気づかされた。
- ・ 外国人遍路の受け入れの難しさ。特に宿泊先を探すのが面倒で本来の札所を巡る旅が台無しになっている点。
- ・ 観光産業は「経済合理性では動かずまとまらない」が、まとまるために「ファンドを通じた資金供給や専門家派遣」を行い、「DMCの安定的な収益事業」を育成しつつ、様々なステークホルダーとの「契約・資本関係を取りながら」関係性を強化していくことが肝要である、という講演内容が印象に残った。
- ・ 窓口のワンストップ化と多言語によるサービスは必須だと感じた。外国人お遍路が増えると文化の違いからトラブルの発生が考えられるが、許容と準備が重要。

#### ⑤四国遍路シンポジウムについての意見、感想、要望（一部抜粋要約）

- ・ 課題における対応策の進捗状況の報告も兼ねて、シンポジウムを定期的で開催し、気運を高めていくことが重要と感じた。
- ・ 四国遍路は4県にまたがっていて、高野山のケースよりもさらに複雑で困難だと思うが、一つの県からでもスタートして課題に取り組むことが大切ではないか。またパネリストの細川さんが言われていたように「見守りネットワーク」等、5GやIOTを活用したサービス体制があればリモート対応でき、年齢、体力等に関係なく語学力のある人の活躍の場が増え、外国人お遍路さんへのサービス向上や地域の人材活用、収益化に繋がるのではないか。
- ・ DMO、DMCの必要性はかなり前から意見が出ていたと思うが、ワンストップの窓口として、今や「待ったなし」と痛感した。半井様も言われていたように、ぜひスピード感を持って次に進めてほしい。
- ・ 本日の会議の目的が時間とお金のある富裕層の受入対応ならば、官民共同で、有料の営利団体としてサービス機能を整備充実するのも良いのでは。
- ・ 事業報告→基調講演→パネルディスカッションの流れが、問題点の理解促進やシンポジウムの目的に外れない議論を行うことに非常に有益だった。
- ・ 多くの外国人遍路にとって宿泊問題があることは、我々宿屋では日々感じていることと100%合致する。自分の宿以降の宿屋を予約したり、サポートのために接客

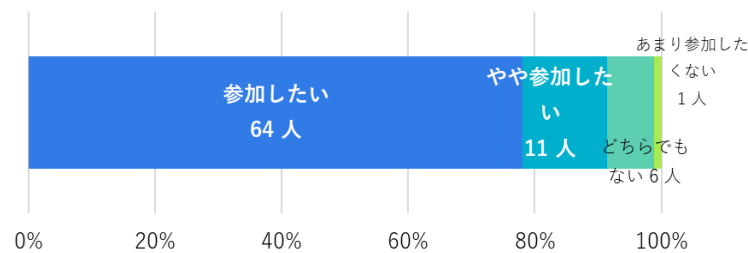


の時間を要している。解決策として、オンライン予約サイトを作ってほしい。現状「遍路ハウス」「ブッキングドットコム」があるがどちらも一長一短。

- ・ 四国遍路を世界遺産にしようとするのであれば、各自治体、銀行が同じ思いに立つことが必要。関係者それぞれが分野内で個々に動いており、一元的に運営できる組織体が必要と思う。資金が継続的に必要なことから、4県の自治体、地銀が本腰をあげないと民間ベースだけの連携では無理。
- ・ 遍路宿は季節商売とされビジネスモデルとしては長年成立しにくかった。ボランティアの要素が大きいため廃業していく。しかし四国遍路は現在世界最高峰のネイチャーツーリズムであり、宿泊施設は世界水準並みの清潔な環境を整え、値上げをする事が重要。世界ではサービスやおもてなしはお金で買うのが原則。お遍路さんといえど、お接待精神で誰でも受け入れるのではなく、受け入れ側の思想哲学にマッチするお遍路さんを選定する時代に入っていると感じる。

⑥今後のセミナー参加意向：「参加したい」と「やや参加したい」を合わせると、9割以上が参加意向を示した。

【図表 5-7】 今後、四国遍路やインバウンドに関するセミナーに参加したいか



DX を活用した四国遍路の受入環境整備に向けた調査事業  
業務実施報告書

発行日 令和6年3月

発注者 国土交通省 四国運輸局

受託者 一般財団法人 百十四経済研究所

〒760-0050 香川県高松市亀井町5番地1

TEL:087-836-2492 FAX:087-836-3649